

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
500 栽培			
510 形態・生理・生態			
森 元幸	2012	“Ⅱ章 ジャガイモの特性 [章の概説], 1節 形態・生理・生態 [節の概説]”, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.67-68.

511 植物分類・形態

浅間和夫	1992	ジャガイモの花の観賞 (Ⅰ) 花の咲き方.	いも類振興情報 33: 24.
浅間和夫	1993	ジャガイモの花の観賞 (Ⅱ) 花の色.	いも類振興情報 34: 19.
畠山 恒	1943	第十七章 じゃがたらいも. (「植物の研究」)	三省堂出版, 東京, pp.60-
牧野富太郎	1998	“馬鈴薯とジャガイモ”, 「植物一日一題」(復刻版).	備品社, 東京, pp.3-9.
松村任三	1893	七 ジャガタライモ. (「簡易実験 植物学」)	金港堂, 東京, pp.48-53.
中村陽一	2002	作物の起源を探索 (11) サツマイモ, ジャガイモ.	食の科学 295: 54-57.
西中未央	2012	“1節-(1)-1) 地下部”, Ⅱ章 ジャガイモの特性, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.68-71.
岡沢養三	1977	“形態・生理”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.73-102.
三省堂編輯所(編)	1931	第二篇第十七章 じゃがたらいも(馬鈴薯). (「分り易く・覚え易い植物の研究」)	三省堂, 東京, pp.81-83.
渋谷紀起	1953	ジャガイモにおける塊茎配列の規則性とその遺伝について.	日作紀 22(1・2): 109.
Tabuchi, T.	1998	Development of the abscission zone in the pedicels of potato plants.	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 67(5): 693-695.
田淵俊人・遠藤 浩・田中 宏	1992	ジャガイモ花柄の離層形成・発達に関する解剖学的研究.	園学雑 61(別1): 346-347.
田口啓作・金子一郎・栗原 浩	1954	馬鈴薯の花器に関する研究.	日作紀 23(2): 136.(講要)
津田昌吾	2012	“1節-(1)-2) 地上部”, Ⅱ章 ジャガイモの特性, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.71-74.

512 生理・生態

阿部亥三・高橋昌一	1958	馬鈴薯の日長反応の品種間差異.	東北農試研報 14: 45-51.
Akemine, T., Kikuta, Y. and Tagawa, T.	1975	Effect of kinetin and naphthaleneacetic acid application on the respiratory metabolism during callus development in potato tuber tissue culture <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 58(2): 247-261.
秋山昌弘	1963	馬鈴薯に対するジベレリンの影響.	農及園 38(3): 519-520.
青葉 高	1951	二三の処理が馬鈴薯塊茎の癒傷に及ぼす影響.	農及園26(8): 891.
青木常盤	1927	ボルドウ合剤が爪哇薯に及ぼす生理的影響に就て (一).	農及園 2(6): 597.
青木常盤	1927	ボルドウ合剤が爪哇薯に及ぼす生理的影響に就て (二).	農及園 2(7): 715.
荒井恒重郎	1952	馬鈴薯催芽の基礎的研究 (1) - 催芽時における炭水化物の消長について -.	宇都宮大学学芸学部研究論集 (第2部) 2: 211-220.
荒井恒重郎	1952	馬鈴薯催芽の基礎的研究 第1報 催芽時における炭水化物の影響.	日作紀 21(1・2): 41-42.
荒井恒重郎	1954	馬鈴薯催芽の基礎的研究 第2報 催芽時に於ける Amylase の消長について.	日作紀 22(3・4): 74-76.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
荒井恒重郎	1955	馬鈴薯催芽の基礎的研究 (2) 催芽時における Amylase の消長について.	宇都宮大学学芸学部研究論集 (第2部) 4:
荒井恒重郎	1964	馬鈴薯催芽の基礎的研究 (3) 催芽促進におよぼす剥皮の影響.	宇都宮大学学芸学部研究論集 (第2部) 13: 147-151.
浅間和夫・伊藤平一・村上紀夫・伊藤 茂	1971	馬鈴しょの萌芽抑制剤に関する試験 第4報 RH-315 による萌芽抑制について.	北農 38(4): 8-12.
浅見与七	1944	馬鈴しょ増収に対するナフタリン醋酸処理の効果.	園学雑 15(2,4).90.
江口義弘	1985	ジャガイモの花芽の分化と発育に関する研究 (第1報).	園学要旨. 昭60秋: 246-247. (講要)
遠藤沖吉	1949	作物の発芽時に於ける電位変化に就いて (馬鈴薯).	日作紀 18(2・4): 127-130.
遠藤沖吉	1954	芽の生長抑制について.	日作紀 22(3・4):121-122.
Fonseka Hemal Dhammike・浅沼興一郎・一井眞比古	1997	バレイショの生育に伴う葉の硝酸還元酵素と窒素分布の変化.	日作紀 66(4): 669-674.
藤田太郎・安部英里香・幸田泰則・藤野介延	2014	バレイショの側芽伸長阻害物質の単離.	作物学会講要集 237: 424-425. (講要)
Ghosh, S.C., Asanuma, K., Kusutani, A. and Toyota, M.	2000	Effects of temperature at different growth stages on nonstructural carbohydrate, nitrate reductase activity and yield of potato.	Environ. Control in Biol. 38(4): 197-206.
Ghosh, S.C., Asanuma, K., Kusutani, A. and Toyota, M.	2000	Leaf gas exchange properties of potato under different temperature and soil moisture at different growth stages.	Environ. Control in Biol. 38(4): 229-239.
Harada, T. and Kikuta, Y.	1978	Partial purification and characterization of NAD kinase from potato tuber.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 58:(4): 575-582.
林 秀剛・翠川文次郎・宝月欣二	1967	ジャガイモおよびイネの初期生長期における貯蔵物質の植物体への転化の効率 (economic ratio) について.	日生態会誌 17(1): 13-20.
堀江格郎	1950	原形質分離形及び生体染色による馬鈴薯塊莖細胞の生理的性質に関する研究.	植雑 63(747,748): 183-188.
Ibaraki, Y., Iwabuchi, K and Kurata, K.	1999	Short-term exposure to super-elevated CO ₂ causes stomatal opening of potato.	Environ. Control in Biol. 37(3): 219-223.
井上重陽・山崎 力・松浦正視	1952	爪哇薯苗の耐凍性.	日作紀 21(2): 140-141.
井上晴喜・田中 明	1984	バレイショの生育にともなう炭水化物・タンパク質の茎葉・塊茎における集積・転流.	土肥誌 55(1): 43-49.
入倉幸雄・高瀬 昇	1968	馬鈴薯における匍枝発生と塊茎形成の推移 予報.	育種・作物学会北海道談話会報 8: 15. (講要)
Iriuda, N., Kikuta, Y. and Okazawa, Y.	1983	Significance of phosphorylase on starch synthesis of potato tuberization.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 61(2): 233-243.
入宇田尚樹・喜久田嘉郎・岡沢養三	1987	馬鈴薯塊茎片培養系の塊茎形成過程における細胞壁構成成分の変化.	北大農邦文紀要 15(3): 235-241.
Ito, H. and Kato, T.	1951	The physiological foundation of the tuber formation of potato.	Tohoku J. Agr. Res. 2(1): 1-14.
泉 秀実・辰巳保夫・邨田卓夫	1982	サツマイモ・ジャガイモの低温耐性についての生理学的研究.	園学要旨(昭57秋): 442-443. (講要)
金子一郎・浅間和夫・上野賢司	1960	馬鈴薯の萌芽抑制剤に関する試験 第2報 メデン-Nによる萌芽抑制.	北農 27(7): 1-5.
金子一郎・斉藤久幸	1964	馬鈴薯の萌芽抑制剤に関する試験 第1報 CI-IPCによる萌芽抑制.	北海道立農試集報 13: 42-54.
金子一郎・浅間和夫・上野賢司	1965	馬鈴薯の萌芽抑制剤に関する試験 第3報 DBN-133による萌芽抑制.	北農 32(9): 5-11.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Ito, H. and Kato, T.	1951	The physiological foundation of the tuber formation of potato.	Tohoku jour. Agric. Res. 2(1): 1-14.
柏木純一	2012	“1節-(2) 生理・生態”, II 章 ジャガイモの特性, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会編).	いも類振興会, 東京, pp.74-79.
加藤久晴	2003	ジャガイモ塊茎における傷誘導性シトクロムP450遺伝子 (CYP72A29)の発現解析.	日本植物生理学会講要集 43回(2003): 670.(講要)
Kato, T. and Ito, H.	1961	Interrelations between gibberellin and dormancy of potato tuber.	Tohoku J. Agr. Res. 12(1): 1-8.
加藤 徹	1963	肥大中の馬鈴薯塊茎の曝光による萌芽に関する生理学的研究.	高知大研報 12 (自然科学 II): 21-32.
川上幸治郎	1937	薬品に依る馬鈴薯の休眠期間短縮 第一報 二, 三薬品の休眠期間短縮効果.	日作紀 9(2): 235-251.
川上幸治郎	1937	エチレンクロールハイドリンに依る馬鈴薯の休眠期短縮 特に液沾法に就いて [1].	農及園 12(5): 1365-1373.
川上幸治郎	1937	エチレンクロールハイドリンに依る馬鈴薯の休眠期短縮 特に液沾法に就いて [2].	農及園 12(6): 1630-1639.
川上幸治郎	1937	エチレンクロールハイドリンに依る馬鈴薯の休眠期短縮 特に液沾法に就いて [3].	農及園 12(8): 2105-2116.
川上幸治郎	1950	生理学的領域における種バレイショの退化現象.	農及園 25(11): 979-984.
川上幸治郎	1950	バレイショ栽培の進歩と薬品の研究.	農学 4(3): 180-190.
川上幸治郎・高山昭康	1954	バレイショの休眠に関する研究 (V) 栽培時期を異にして生産された薯の芽の発達比較.	日作紀 23(1): 74.(講要)
川上幸治郎	1954	馬鈴薯の休眠に関する研究 第1報 休眠終了期の品種間差.	日本農業研究所報告 4: 71-75.
川上幸治郎・高山昭康	1955	馬鈴薯暖地採種の研究 (IV) 田作地方における地種の休眠経過と生育.	日作紀 24(1): 68.(講要)
川上幸治郎	1956	<i>Solanum demissum</i> のイモの肥大と日長.	日作紀 24(2): 132-133.(講要)
川上幸治郎・高山昭康・米田正好	1959	適令種薯による馬鈴薯作の改善に関する研究 I. 春作に於ける種薯の月令と生育及び生産力.	日作紀 28(1): 138-139.
川上幸治郎・高山昭康	1959	適令種薯による馬鈴薯作の改善に関する研究 II. 秋作に於ける種薯の月令と生育及び生産力.	日作紀 28(1): 140-141.
川上幸治郎・高山昭康	1959	適令種薯による馬鈴薯作の改善に関する研究 III. 種薯の適令決定の要因.	日作紀 28(2): 233-235.
川上幸治郎・高山昭康・前川 進	1961	適令種薯によるバレイショ作の改善に関する研究 5 月令の立場からみた夏種の採種方法と種苗価値.	兵庫農大研報(農学) 5(1): 20-24.
川上幸治郎・高山昭康	1961	適令種イモによるバレイショ作の改善に関する研究 VII 秋作における男爵の導入.	日作紀 29(4): 412-414.
川上幸治郎・高山昭康	1963	適令種イモによるバレイショ作の改善に関する研究 11 春作における秋種の生育促進.	兵庫農大研報(農学) 6(1): 16-20.
川上幸治郎	1964	バレイショ品種の特性としての萌芽習性.	育雑 14(1): 59.(講要)
川又是好	1941	馬鈴薯の萌芽抑制に及ぼす苹果・硼酸・ナフタレンの影響.	農及園 16(6): 989.
川又是好	1942	休眠中の馬鈴薯の萌芽促進に及ぼす過塩素酸加里の効果(豫報).	農及園 17(3): 293.
川延謹造・土屋敏夫	1952	馬鈴薯種薯の老化に伴う二三の現象について.	園学雑 21(2): 76-80.
河原田政太郎・松原茂樹・桜井宗一郎・惣田正栄	1947	馬鈴薯の電気処理法による休眠打破.	農及園 22(2): 73-74.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
川嶋浩樹・岩間和人・金子 正・正木庸子・中世古公男	1997	バレイショにおける葉の拡散抵抗の日変化, 生育に伴う推移ならびに葉の表裏面間および葉位間の差異.	日作紀 66(2): 235-241.
川田信一郎	1950	馬鈴薯種薯に於ける「齡」の進行と合成生長物質処理の関係.	園学雑 19(3・4): 209-220.
萱村善彦	1982	ジャガイモの吸水をしらべる 一簡単な現象から始まる探究実験.	遺伝 36(4): 100-105.
Kikuta, Y., Harada, T. and Okazawa, Y.	1979	Changes in cellular constituents during callus formation in potato tuber tissue cultured <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 59:(4): 364-379.
君島 崇・田中 明	1981	バレイショにおける塊茎のsink能.	土肥誌 52(5): 408-412.
木村吉郎	1951	馬鈴薯の比較測定(特に少量の試料による)法について.	日作紀 19(3・4): 327-330.
清野平三・岡松正泰	1948	紫外線照射による馬鈴薯の休眠打破.	農学 2(2): 122-125.
木場三朗	1958	負傷植物の治癒反応に関する研究 I. 馬鈴薯の負傷よりの経過時間と病原細菌の侵入.	九大農学芸雑誌 16 (3): 397-401.
木場三朗	1958	負傷植物の治癒反応に関する研究 II. 馬鈴薯の癒傷反応にみられる油滴状物.	九大農学芸雑誌 16 (4): 403-410.
木場三朗	1958	負傷植物の治癒反応に関する研究 III. 負傷馬鈴薯に於ける Peroxidase, Cytochrome oxidase および Tylosinase (Polyphenol oxidase) の活性の変動.	九大農学芸雑誌 16 (4): 465-472.
幸田泰則・岡澤養三	1976	馬鈴薯のサイトカイニン.	育種・作物学会北海道談話会報 16: 32.(講要)
Koda, Y. and Okazawa, Y.	1977	Cytokinins in growing potato tubers.	Jpn. J. Crop. Sci. 46(4): 492-498.
Koda, Y. and Okazawa, Y.	1983	Influences of environmental, hormonal and nutritional factors on potato tuberization <i>in vitro</i> .	Jpn. J. Crop. Sci. 52(4): 582-591.
Koda, Y. and Okazawa, Y.	1983	Characteristic changes in the levels of endogenous plant hormones in relation to the onset of potato tuberization.	Jpn. J. Crop. Sci. 52(4): 592-597.
幸田泰則	1988	バレイショの塊茎形成因子について.	北大農邦文紀要 16(1): 82-
幸田泰則	2001	バレイショの塊茎形成誘導物質, ジャスモン酸類似物質の発見.	日作紀 70(別1): 304-309.
幸田泰則	2002	作物の形態形成におけるジャスモン酸類の役割 ーバレイショ塊茎形成を中心としてー.	日作紀 71(1): 1-10.
久保重夫・示野邦郎	1961	作物体内におけるジベレリンとその生理作用(第1報) 馬鈴薯種いも体内に於けるジベレリン様物質と萌芽, 生育の関係について.	日作紀 29(3): 383.(講要)
草薙得一・尾崎元扶	1964	暖地馬鈴薯の萌芽性に関する研究(第2報) 種薯の芽と塊茎の機能の違いとその品種間差異ならびに萌芽促進剤の影響.	中国農試報告 A10: 21-50.
草薙得一・尾崎元扶	1965	暖地馬鈴薯の萌芽性に関する研究(第3報) 芽薯性萌芽の発生生態とその機構.	中国農試報告 A11: 35-54.
草薙得一	1973	暖地馬鈴薯の塊茎萌芽の生理生態的特性に関する研究.	中国農試報告 A22: 21-60.
串崎光男	1957	馬鈴薯の栄養生理学的研究 第1報 馬鈴薯の生育過程における無機要素の推移.	北海道農試彙報 72: 72-81.
串崎光男	1957	馬鈴薯の栄養生理学的研究 第2報 生育過程に伴う窒素化合物並びに炭水化物の消長.	北海道農試彙報 73: 48-59.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
串崎光男・星 忍	1961	馬鈴薯の生育に及ぼすジベレリン処理の影響.	日作紀 30(1): 1-4.
桑原武司・伊藤正輔・高橋総夫・山口辰一郎・和田順行	1955	馬鈴薯の萌芽抑制.	北農 22(9): 292-300.
桑原義晴	1955	北海道後志地方の馬鈴薯畑の雑草群落.	日本生態学会誌 4(4): 157-161.
Matli, P.I, Aoki, M., Ozawa, Y., Hideshima, Y., Nakayama, H. and Maruya, S.	2002	Characterization of canopy photosynthetic CO ₂ flux and leaf stomatal conductance responses of potato crop to changing field meteorological conditions in Hokkaido.	J. Agric. Meteorol. 58(3): 115-122.
松原茂樹・山之口末吉	1930	エチレンクロールハイドリン及びチオユレアが馬鈴薯の発芽生育および収量に及ぼす影響について.	日作紀 2(3): 201-203.
松原茂樹・杉浦 迅	1940	馬鈴薯塊茎の形成に関する知見.	農及園 15(10): 2095-2100.
松田史生・宮川 恒	2003	ジャガイモ塊茎組織中フェニルプロパノイド経路の代謝フラックスの測定.	日本植物生理学会講要集 43回(2003): 671.(講要)
Matsuda, F., Morino, K., Miyashita, M. and Miyagawa H.	2003	Metabolic flux analysis of the phenylpropanoid pathway in wound-healing potato tuber tissue using stable isotope-labeled tracer and LC-MS spectroscopy.	Plant Cell Physiol. 44(5): 510-517.
松浦英幸・奥村幸広・吉原照彦・坂村貞雄・幸田泰則・喜久田嘉郎	1989	馬鈴薯, キクイモの塊茎形成物質の化学的研究.	農化 63(3): 543.(講要)
湊 和興・岡沢養三	1975	馬鈴薯塊茎の萌芽におよぼすエチレンの効果.	育種・作物学会北海道談話会報 15: 8.(講要)
湊 和興・岡沢養三	1976	馬鈴薯塊茎の萌芽におよぼすエチレンの影響.	育種・作物学会北海道談話会報 16: 31.(講要)
湊 和興・岡沢養三	1977	馬鈴薯休眠塊茎組織におけるCEPA処理のオーキシン代謝におよぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 17: 33.(講要)
湊 和興・岡沢養三	1978	馬鈴薯塊茎のIAAオキシダーゼにおよぼすCEPA処理の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 18: 4.(講要)
Minato, T. and Okazawa, Y.	1978	Effect of ethylene treatment on auxin metabolism of potato tubers.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 58(4): 535-547.
湊 知興・喜久田嘉郎・岡沢養三	1980	CEPAおよびカイネチンによる馬鈴薯のオーキシン活性の変動.	日作紀 49(3): 461-466.
Mine, T., Hiyoshi, T., Kasaoka, K. and Ohyama, A.	2003	CIP353 encodes an AP2/ERF-domain protein in potato (<i>Solanum tuberosum</i> L.) and responds slowly to cold stress.	Plant Cell Physiol. 44(1): 10-15
宮本健太郎	1959	種馬鈴薯の予措と萌芽性に関する研究第1報 春いもの高温処理と萌芽性.	日作九支報 14: 49-51.
宮本健太郎	1959	種馬鈴薯の予措と萌芽性に関する研究第2報 春いもの低温処理と萌芽性.	日作九支報 15: 68-70.
宮本健太郎・中村盛三	1959	CLIPCの馬鈴薯萌芽抑制効果に関する試験.	日作九支報 15: 71-73.
宮本健太郎	1959	暖地における秋作馬鈴薯に関する研究第1報 変温と萌芽性 (予報).	九州農業研究 21: 55-58.
宮本健太郎・相川英雄・松下研二郎	1959	暖地における秋作馬鈴薯に関する研究第2報 塩害と萌芽性.	九州農業研究 21: 58-60.
宮本健太郎	1960	暖地における秋作馬鈴薯に関する研究第3報 紫外線と萌芽性.	九州農業研究 22: 57-60.
宮本健太郎	1961	暖地における秋作馬鈴薯に関する研究第4報 積算温度と萌芽性.	九州農業研究 23: 140-143.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
宮本健太郎	1962	暖地における秋作馬鈴薯に関する研究 第5報 種薯の切断と萌芽性.	九州農業研究 24: 70-71.
宮本健太郎	1962	暖地における種馬鈴薯の萌芽に関する 研究.	長崎総農セ彙報 1: 1-203.
向島信洋・中尾 敬・森 一幸	2005	バレイショ「アイユタカ」等の休眠特性.	九州農業研究 67: 25.
村上紀夫・浅間和夫	1969	ばれいしょにおける葉の特性と地下部形 質との関係について.	北農 36(7): 14-20.
永田利男・田川 隆	1963	いも類“3 馬鈴薯の生育, 4 馬鈴薯の生 理”, 作物大系(戸川義次 監修)第5編.	養賢堂, 東京, 53p.
永田利男	1977	“生育”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.103-118.
中 潤三郎	1950	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 第1 報 芽薯の発生機構に就いて.	香川農専研報 1(3): 36-41.
中 潤三郎	1950	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 II. 二次生長の成因, 特に土壤湿度との関係 に就いて.	香川農大報告 2(1): 1-8.
中 潤三郎	1950	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 III. 二次生長の成因, 特に土壤内空気組成 分との関係に就いて.	香川農大報告 2(1): 9-12.
中 潤三郎	1951	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 IV. 浴光催芽に依る早熟増収の機構に就い て.	香川農大報告 2(3): 139-143.
中 潤三郎・大森 浩	1952	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 V. 早熟春薯が秋作に及ぼす影響に就い て.	香川農大報告 3(3): 126-129.
中 潤三郎	1952	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 VI. 生育に伴う炭酸同化, 蒸散並びに呼吸作 用の消長に就いて.	香川農大報告 4(1): 61-64.
中 潤三郎・玉置 秩	1956	馬鈴薯に関する生理・生態学的研究 VII. 生育期間中に於ける地上茎の生理的役 割について.	香川農大報告 7(3): 225-230.
中市後祐司・幸田泰 則・藤野介延	2005	塊茎形成時におけるジベレリン関連遺伝 子の発現解析.	育種・作物学会北海道談話会 報 46: 83-84.(講要)
中村 浩	1944	馬鈴薯の一芽植栽培に於ける春化処理 の効果.	農及園 19(4): 411-412.
中村 浩	1944	馬鈴薯塊根の休眠除去法.	農及園 19(7): 657-658.
中世古公男	1965	相反接木処理による馬鈴薯の休眠性の 変異.	育種・作物学会北海道談話会 報 5: 12.(講要)
中世古公男・田口啓作	1968	馬鈴薯の乾物生産における地上部の特 性と受容体(塊茎)との関係について.	育種・作物学会北海道談話会 報 8: 14-15.(講要)
中世古公男・由田宏 一・古田 稔	1970	ばれいしょの生理生態学的研究 第4報 生育・収量に及ぼす地温の影響.	北大農邦文紀要 7(2): 287- 293.
中世古公男・由田宏 一・吉田 稔	1972	ばれいしょの生理生態学的研究 第9報 栽植密度を異にする個体群における生産 構造の品種間差異.	北大農邦文紀要 8(3): 182- 187.
中世古公男・高田 修	1991	根量を異にするバレイショ品種の相反接 木植物における地上および地下部器官 の相互作用と蒸散速度との関係.	日作紀 60(別1): 140-141.(講 要)
中谷真也・村松 実	1952	ウスプルン処理が馬鈴薯の萌芽に及ぼす 影響について.	東北農業 5(5・6): 114-118.
中谷 誠・幸田泰則	1991	数種地下作物の抽出物がバレイショ塊茎 形成に及ぼす影響.	日作紀 60(別1): 165-166.(講 要)
西内義男・岡沢養三	1967	馬鈴薯の遊離アミノ酸に関する研究 第1 報 成育中における馬鈴薯植物体の遊離 アミノ酸の消長.	北大農邦文紀要 6(2): 275- 283.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
西山保直・吉村フジ・田川 隆	1957	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第22報 貯蔵期間中に於ける馬鈴薯塊茎の生長抑制物質の消長.	日作紀 25(4): 239-240. (講要)
西山保直・田川 隆	1959	馬鈴薯塊茎の末端酸化酵素系の変動について.	日作紀 28(1): 134-137.
西山保直・田川 隆	1960	馬鈴薯塊茎の呼吸系の変動と休眠との関連性について.	日作紀 28(4): 387. (講要)
西山保直・田川 隆	1960	馬鈴薯塊茎の呼吸系の変動と休眠との関連性について.	日作紀 29(1): 182-186.
西山保直・田川 隆	1961	馬鈴薯塊茎の休眠と燐酸組成について.	日作紀 30(2): 146-149.
西山保直・田川 隆	1963	馬鈴薯植物の葉の呼吸と光合成.	育種・作物学会北海道談話会報 3: 23-24. (講要)
西山保直	1963	馬鈴薯塊茎の休眠機構についての一考察.	育種・作物学会北海道談話会報 3: 43-44. (講要)
野田健児	1945	馬鈴薯種薯切断の萌芽並に幼芽伸長に及ぼす影響.	農及園 20(5): 227.
野田健児・山本健吾	1949	馬鈴薯の塊茎形成に関する研究 第3報 花芽の分化発達過程と塊茎の形成過程との関係.	東北農業 3(2): 1-3.
野田健児	1949	馬鈴薯の生長曲線.	日作紀 18(2,4): 40-43.
野田健児・山本健吾	1950	馬鈴薯の塊茎形成に関する研究 (第2報) 塊茎形成過程の内部細胞組織的観察.	日作紀 19(1・2): 177-182.
野田健児	1950	馬鈴薯の塊茎形成に関する研究 第4報 大小塊茎の肥大過程に於ける差異に就いて.	東北大農研彙報 2(1): 39-52.
野田健児	1950	馬鈴薯の塊茎形成と生育に伴う親薯の変化との関係に就いて.	東北大農研彙報 2(2): 135-150.
野田健児	1950	馬鈴薯塊根の休眠終了時について.	農及園 25(9): 791-792.
野田健児	1951	馬鈴薯の塊茎形成に関する研究 第5報 塊茎形成と生育に伴う親薯の変化との関係に就いて.	日作紀 20(1・2): 185-188.
野田健児	1952	馬鈴薯の塊茎形成に関する研究 第6報 塊茎形成肥大機構に関する細胞学的一考察.	日作紀 21(1・2): 138-139.
Noda, K. and Yamamoto, K.	1952	On the effect of environmental conditions on the tuberization of the potato plant.	Sci. Rep. Res. Inst. Tohoku Univ. D, Agr. 4: 15-65
野田健児	1958	馬鈴薯の塊茎形成肥大に関する研究 第1報 塊茎の発達相に関する研究.	東北大農研彙報 10(4): 225-327.
野田健児	1959	馬鈴薯の塊茎形成肥大に関する研究 (第2報) 塊茎の形成肥大条件に関する研究.	東北大学農学研究所周報 11(1): 19-70.
野田高弘・津田昌吾・森 元幸・鈴木達郎・瀧川重信・遠藤千絵・山内 宏	2014	ばれいしょ塊茎生育時における気温の年次変動がでん粉特性に与える影響.	北農 81(3): 231-235.
野口彌吉・菅原友太	1941	馬鈴薯の増収に対する植物生長ホルモン処理の影響.	農及園 16(1): 1-6.
野口彌吉・菅原友太	1942	馬鈴薯の増収に対する植物生長ホルモン処理の影響 (続報).	農及園 17(12): 1497-1501.
Oba, K., Fukui, M., Imai, Y., Iriyama, S. and Nogami, K.	1994	L- galactono- γ - lactone dehydrogenase. Partial characterization, induction of activity and role in the synthesis of ascorbic acid in wounded white potato tuber tissue.	Plant Cell Physiol. 35(3): 473-478.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
小笠原秀雄	1943	馬鈴薯の発芽抑制に及ぼす苹果の効果.	日本園藝雑誌 55(11).
小笠原秀雄	1946	馬鈴薯の剥皮による休眠除去法.	農及園 21(11): 590.
緒方邦安・井上 隆・水方 昭	1956	球根茎類作物並びに種実に対するMHの生理機構に関する研究 (第1報) 馬鈴薯塊茎に対する生理機構, 特にアスコルビン酸及び炭水化物の変動に対するMHの影響.	園学雑 25(3): 181-186.
緒方邦安・井上 隆・邨田卓夫	1957	球根茎類作物並びに種実に対するMHの生理機構に関する研究 (第2報) 葱頭鱗茎及び馬鈴薯塊茎の呼吸機構に対するMHの影響.	園学雑 25(4): 232-236.
尾形昭逸・石塚喜明	1967	育種過程における作物の栄養生理的特性の推移 (第1報) 普通栽培種, 野生種およびこれらの交雑馬鈴薯等の窒素栄養環境に対する反応.	土肥誌 38(2・3): 79-84.
尾形昭逸・石塚喜明	1967	育種過程における作物の栄養生理的特性の推移 (第2報) 普通栽培種, 野生種およびこれらの交雑馬鈴薯の炭水化物代謝の特性.	土肥誌 38(4): 131-134.
尾形昭逸・石塚喜明	1967	育種過程における作物の栄養生理的特性の推移 (第3報) 普通栽培種, 野生種とこれら交雑馬鈴薯の炭素代謝.	土肥誌 38(12): 466-468.
尾形昭逸・石塚喜明	1968	育種過程における作物の栄養生理的特性の推移 (第4報) 普通栽培種, 野生種とこれら交雑馬鈴薯の塊茎デンプンの性質.	土肥誌 39(5): 247-250..
大泉久一・西入恵二・桂 勇	1958	ノナノールによる馬鈴薯萌芽抑制効果.	農及園 33(10): 1557-1558.
大泉久一・西入恵二・桂 勇	1959	馬鈴薯萌芽抑制剤Belvitan K に関する試験.	東北農試研報 16: 55-61.
Oizumi, T.	1954	Ecological studies on seed-potato.	岩手大学芸研究年報 6-2: 50-54.
大矢恒彦・岡沢養三・田川 隆	1967	馬鈴薯塊茎中の発根促進物質について.	育種・作物学会北海道談話会報 7: 19.(講要)
尾崎元扶	1960	ジャガイモの萌芽調査.	植防 14(5): 211-212.
尾崎元扶・草薙得一	1963	暖地馬鈴薯の萌芽性に関する研究 (第1報) 二季作を通じての塊茎萌芽の生態型と主要品種・系統の類型化.	中国農試報告 A9: 89-112.
斎藤 隆・渡辺尚美	1993	ジャガイモの塊茎形成に対する日長の長さと処理期間及び種いもの大きさの相互作用.	園学雑 62(別2): 322-323.(講要)
佐々木久視・岡沢養三	1970	ジャガイモの塊茎形成過程におけるRNAの合成について.	北大農邦文紀要 7(3): 412-415.
佐藤孝夫・井出五六	1959	夏作における種薯の月令と生産力 (1) .	日作紀 27(4): 474.(講要)
瀬古竜雄・黒井伊作	1959	石灰窒素のジャガイモ休眠打破剤としての利用 (第1報) 二・三休眠打破剤との比較.	農及園 34(6): 979-980.
柴田昌英・菅野 正	1947	馬鈴薯の剥皮によるの休眠除去法と催芽床.	農及園 22(7): 363-364.
渋谷紀起	1950	馬鈴薯気中塊茎の人為的作成と其の意義に就て (1).	山形大紀要(農学) 1(1): 13-14.
渋谷紀起	1951	馬鈴薯気中塊茎の人為的作成と其の意義に就て (第2報及び第3報).	山形農専研報 4: 47-50.
渋谷紀起	1952	馬鈴薯気中塊茎の人為的作成と其の意義に就て (第4報).	山形大紀要(農学) 1(2): 129-134.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
渋谷紀起	1953	馬鈴薯気中塊茎の人為的作成と其の意義に就て(第5報).	山形大紀要(農学) 1(3): 211-213.
島田涼子・幸田泰則・藤野介延	2006	バレイショ植物体中におけるPINタンパク質の局在.	作物学会講要集 221: 176-177.(講要)
菅原友太	1941	馬鈴薯塊茎の呼吸作用酵素力及びアスコルビン酸含有量に対する加里の影響に就て.	土肥雑 15(3): 153-164.
杉 穎夫	1950	暖地二期作馬鈴薯栽培に対するエチクロリン処理の実用性.	農業技術 5(10): 34-38.
杉 穎夫・清水口強・安藤隆夫	1952	馬鈴薯の塊茎形成と環境条件に関する研究 第1報 春作及び秋作に於ける一般的生育相の追跡.	中国農試報告(分冊A) 1(1): 1-14.
杉 穎夫・高橋 長	1952	馬鈴薯の塊茎形成と環境条件に関する研究 第2報 生育並びに塊茎形成に及ぼす日長時間の影響.	中国農試報告(分冊A) 1(1): 15-25.
杉 穎夫・高橋 長	1953	馬鈴薯の塊茎形成と環境条件に関する研究 第3報 生育時期を異にする土壤の過湿が生育並びに塊茎の形成肥大に及ぼす影響.	中国農試報告(分冊A) 2(1): 33-42.
杉 穎夫・安藤隆夫	1953	馬鈴薯の塊茎肥大に及ぼす気温並びに地温の影響(予報).	日作紀 22(1・2): 123-124.
杉 穎夫・池田定男・横畑 磐	1953	MH-30の葉面散布が収穫後の馬鈴薯の萌芽抑制に及ぼす影響.	農及園 28(11): 1333-1334.
Suzuki, Y. and Saito, T.	1970	Photo-, thermo- and GA-sensitivity in seed germination of <i>Solanum tuberosum</i> .	Environ. Control in Biol. 8(1): 51-55.
田川 隆・岡沢養三・酒井隆太郎	1948	馬鈴薯の生理形態学的研究 第1報 貯蔵期間中に於ける貯蔵炭水化物の消長並びに塊茎組織の生理的变化に就て.	寒地農学 2(1): 39-55.
田川 隆・岡沢養三・酒井隆太郎	1949	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第1報 貯蔵期間中に於ける貯蔵炭水化物の消長並びに塊茎組織の生理的变化に就て.	北薯連資料 No.4: 1-17.
田川 隆・岡沢養三	1949	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第2報 生育期間中に於ける塊茎内貯蔵炭水化物の消長並びに塊茎組織の生理的变化に就いて.	北薯連資料 No.5: 1-13.
田川 隆	1949	馬鈴薯の二次生長に関する研究 V. 二次生長馬鈴薯の炭水化物.	北薯連資料 No.10: 25-28.
田川 隆・大森 浩	1951	馬鈴薯の生理形態学的研究 第6報 生育期間中の各期間の滲透圧の消長に就いて.	香川農大報告 2(3): 144-148.
田川 隆・瀬尾尚雄	1951	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第3報 馬鈴薯の生長に及ぼすインドール醋酸の影響.	北大農邦文紀要 1(1): 17-21.
田川 隆・酒井隆太郎	1951	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第7報 特に生育中に於ける地上部窒素化合物の消長に就て.	北大農邦文紀要 1(1): 22-28.
田川 隆・岡沢養三	1952	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第8報 馬鈴薯塊茎の変化, 並びに異常萌芽現象に就いて.	北大農邦文紀要 1(2): 185-193.
田川 隆・岡沢養三	1952	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第10報 馬鈴薯塊茎形成時におけるアスコルビン酸の生理作用に就いて.	北大農邦文紀要 1(3): 240-245.
田川 隆・岡沢養三	1952	馬鈴薯の生理, 形態学的研究 第11報 馬鈴薯の異常塊茎形成の際のアスコルビン酸含量の変化に就いて.	北大農邦文紀要 1(3): 246-250.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
田川 隆・岡沢養三	1952	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第12報 生育期間中に於ける葉部のアスコルビン酸含量の消長と塊茎の形成に就いて.	北大農邦文紀要 1(3): 251-255.
田川 隆・岡沢養三	1953	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第10報 馬鈴薯塊莖形成時に於けるアスコルビン酸の生理作用に就いて (抄報).	日作紀 21(3・4): 291-292.
田川 隆・岡沢養三	1953	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第11報 馬鈴薯の異常塊莖形成の際のアスコルビン酸含量の変化に就いて.	日作紀 21(3・4): 293-294.
田川 隆・岡沢養三	1953	馬鈴薯の生理形態學的研究 第12報 生育期間中に於ける葉部のアスコルビン酸含量の消長と塊茎の形成に就いて.	日作紀 22(1・2): 113-114.
田川 隆・酒井隆太郎	1953	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第14報 馬鈴薯の炭水化物代謝に対する窒素と加里の相關々係に就いて.	日作紀 22(1・2): 115-116.
田川 隆・岡沢養三	1953	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第13報 馬鈴薯塊莖形成に際しての呼吸の消長に就いて.	北大農邦文紀要 1(4): 403-409.
田川 隆・酒井隆太郎	1953	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第14報 馬鈴薯の炭水化物代謝に對する窒素と加里の相關々係に就いて.	北大農邦文紀要 1(4): 410-419.
田川 隆・酒井隆太郎	1953	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第15報 生育期間中に於ける窒素化合物並びに炭水化物代謝に及ぼす加里施與量の影響.	北大農邦文紀要 1(4): 420-426.
田川 隆・岡沢養三	1954	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第16報 馬鈴薯塊莖の休眠と Phosphorylase, Phosphatase, 並にアスコルビン酸との相互關係に就いて.	日作紀 23(1): 1-5.
田川 隆・岡沢養三	1955	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第18報 発芽に際しての二, 三生理作用と種薯の性状並に年令との關係.	日作紀 23(4): 249-250.
Tagawa, T. and Okazawa, Y.	1955	Physiological and morphological studies on potato plants. Part 9. Studies on nitrogen metabolism in potato tubers during the storage period.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 50(2): 65-73.
田川 隆・岡沢養三	1955	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 XVII 馬鈴薯植物の生育環を通じてのフォスホリラーゼの消長に就いて. (栃内吉彦・福士貞吉両教授還暦記念論文集)	栃内・福士両教授還暦記念論文集刊行会, 札幌, pp.211-
田川 隆・岡沢養三	1956	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第19報 馬鈴薯塊莖の呼吸の組織別分布に就いて.	日作紀 24(3): 193-194.
田川 隆・西山保直	1956	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第20報 貯蔵馬鈴薯の glutathione の消長に就いて.	日作紀 25(2): 99.
田川 隆・岡沢養三	1956	馬鈴薯の生理, 形態學的研究 第21報 馬鈴薯塊莖に含まれる萌芽抑制物質について.	日作紀 25(2): 100-101.
田川 隆・西山保直	1958	馬鈴薯塊莖の休眠と銅酵素活性との關係.	日作紀 27(1): 91-92.
田川 隆・赤塚雅子	1964	乾・湿両条件下における馬鈴薯塊莖内生抑制物質の消長.	育種・作物学会北海道談話会報 4: 15-16.(講要)
田川 隆・岡沢養三・西由保直・西内義男	1965	馬鈴薯の生育中における遊離アミノ酸について.	育種・作物学会北海道談話会報 5: 11.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
田川 隆・岡沢養三・大矢恒彦	1966	馬鈴薯塊茎のnatural growth substancesについて 特にroot forming factorsについて.	育種・作物学会北海道談話会報 6: 13.(講要)
田川 隆	1968	馬鈴薯塊茎の休眠機構について.	植物の化学調節 13(2): 111-118.
田口啓作	1941	馬鈴薯の就眠運動と育種 (1).	農及園 16(4): 617.
田口啓作	1941	馬鈴薯の就眠運動と育種 (2).	農及園 16(5): 794.
田口啓作・金子一郎	1949	馬鈴薯塊茎の萌芽性に関する研究 (予報).	東北農業 3(2): 40-41.
田口啓作・西入恵二	1952	馬鈴薯萌芽抑制粉剤"Sprout Inhibitor DUST"の効果に就いて.	東北農業 5(5・6): 118-120.
田口啓作・西入恵二	1952	2・4-D 処理が馬鈴薯の結果に及ぼす影響に就いて(予報).	東北農業 5(5・6): 124-125.
田口啓作・吉田 稔	1966	馬鈴薯の生理生態学的解析 (1) 生育にともなう体内成分の推移.	育種・作物学会北海道談話会報 6: 13.(講要)
田口啓作・中世古公男	1966	馬鈴薯の生理生態学的解析 (2) 塊茎肥大と澱粉蓄積との関係.	育種・作物学会北海道談話会報 6: 14.(講要)
田口啓作・吉田 稔・中世古公男・由田宏一	1967	馬鈴薯における体内成分の日変化.	育種・作物学会北海道談話会報 7: 22-23.(講要)
田口啓作・吉田 稔	1969	ばれいしょの生理生態学的研究 第1報 生育にともなう体内成分の推移.	北大農邦文紀要 6(6): 412-421.
田口啓作・吉田 稔・中世古公男・由田宏一	1969	ばれいしょの生理生態学的研究 第2報 乾物生産について.	北大農場報告 17: 33-41
田口啓作・吉田 稔・中世古公男・由田宏一	1969	ばれいしょの生理生態学的研究 第3報 茎葉部における同化成分の日変化について.	北大農場報告 17: 42-51.
高橋宣光・幸田泰則・喜久田嘉郎・岡沢養三	1982	バレイショ塊茎内 RNA 結合型サイトカイニンの変動について.	北大農邦文紀要 13(3): 455-459.
高山昭康	1957	馬鈴薯暖地採種の研究 (V) 春植休眠直後の幼芽伸長の差.	日作紀 25(4): 240.(講要)
高山昭康	1960	適令種薯による馬鈴薯作の改善に関する研究 IV 春作用種薯の休眠経過.	日作紀 28(4): 394.(講要)
高山昭康	1960	適令種薯による馬鈴薯作の改善に関する研究 IV 春作に関係ある種薯の休眠経過.	日作紀 29(1): 125-126.
高山昭康	1962	適令種薯によるバレイショ作の改善に関する研究 12 初夏作に関係ある種薯の休眠経過.	兵庫農大研報(農学) 5(2): 87-90.
玉置 秩・中 潤三郎	1957	2,4,5-Tの葉面撒布が馬鈴薯体内成分の消長に及ぼす影響について.	日作紀 26(2): 128-129.
玉置 秩・中 潤三郎・藤田 勲	1958	MHの早期葉面撒布が馬鈴薯の生育経過並びに体内成分の消長に及ぼす影響について.	香川大農報告 9(3): 119-125.
玉置 秩・中 潤三郎	1959	MHと2,4-Dの同時葉面撒布が馬鈴薯体内成分の消長におよぼす影響について.	日作紀 27(4): 474.(講要)
玉置 秩・中 潤三郎	1961	2,4-DとMHの同時葉面撒布が馬鈴薯の生育,体内成分の消長ならびに塊茎萌芽に及ぼす影響について.	香川大農報告 12(2): 118-126.
田中秀幸・幸田泰則・藤野介延	2012	バレイショ塊茎の二次成長における植物ホルモンの役割.	作物学会講要集 233: 158-159.(講要)
田中克朋・土田広信・水野雅史・寺井弘文・保坂和良	1993	ジャガイモ中の活性酸素除去関連酵素比活性の品種間差及び貯蔵中における変動パターンについて.	園学雑 62(別1): 486-487.(講要)
田中克朋・土田広信・水野雅史・保坂和良	1994	ジャガイモ中の遊離型及び結合型アスコルビン酸含量の分布.	園学雑 63(別1): 540-541.(講要)
田中論一郎	1945	アセチレン瓦斯処理が馬鈴薯休眠打破に及ぼす効果.	農及園 20(8): 339-340.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
田野寛一・小林倫夫	1955	馬鈴薯の人工異常発芽生成に関する研究.	園学雑 24(3): 181-188.
手島寅雄・高橋直徳	1949	植物ホルモンの増収剤としての利用に関する研究 (其の二) 馬鈴薯に関する研究.	日作紀 18(2-4): 102-105.
寺井弘文	1989	エチレン処理によるジャガイモの解糖系の活性化について.	園学雑 58(別2): 650-651.(講要)
戸苅義次	1946	剥皮による馬鈴薯の休眠除去に就て.	農及園 21(2): 79-80.
土屋哲郎・長南信雄・松田智明	1989	ジャガイモ塊茎の肥大にともなうプラスチドの構造変化.	日作紀 58(別1): 230-231.(講要)
土屋哲郎・松田智明・長南信雄	1991	ジャガイモ塊茎における維管束走向.	日作紀 60(別1): 250-251.(講要)
土屋哲郎・松田智明・長南信雄	1991	ジャガイモ肥大塊茎におけるATOaseの組織化学的局在.	日作紀 60(別1): 275-276.(講要)
土屋哲郎・高坂哲也・松田智明・長南信雄	1992	ジャガイモ肥大塊茎におけるグルコース-6-リン酸デヒドロゲナーゼ活性の組織化学的局在.	日作紀 62(別2): 247-248.(講要)
土屋哲郎・高坂哲也・松田智明・長南信雄	1993	ジャガイモ肥大塊茎におけるリンゴ酸デヒドロゲナーゼ活性の組織化学的局在.	日作紀 62(別2): 249-250.(講要)
土屋哲郎・松田智明・長南信雄	1993	ジャガイモ塊茎における維管束の分布と連絡およびその組織内デンプン蓄積との関係.	日作紀 62(2): 172-182.
塚本洋太郎・狩野邦雄・並木隆和	1957	ジャガイモ休眠打破に及ぼすジベレリンの影響.	農及園 32(11): 1645-1647.
塚本洋太郎・佐野 泰	1958	ジャガイモの休眠に関する研究 (第1報) ジベレリン処理と生長調整物質の消長.	京大食研報 21:
塚本洋太郎・他	1960	ジャガイモの休眠に関する研究 (第3報).	京大食研報 23:
津野幸人	1977	馬鈴薯の光合成作用に関する二,三の特性.	鳥取大農研報 29: 89-95.
津野幸人	1977	光合成作用と呼吸作用からみた馬鈴薯の乾物生産.	鳥取大農研報 29: 96-102.
Vinterhalter, D., Savić, J., Stanišić, M., Jovanović, Ž. and Vinterhalter, B.	2016	Interaction with gravitropism, reversibility and lateral movements of phototropically stimulated potato shoots.	J. Plant Res. 129(4): 759-770.
渡辺尚美・斎藤 隆	1995	ジャガイモの塊茎形成におけるスロトンに対する光照射の影響.	園学雑 64(別1): 639.(講要)
Xu Zheng, Jitsuyama, Y., Terauchi, T. and Iwama, K.	2009	Effects of drought and shading on non-structural carbohydrate stored in the stem of potato (<i>Solanum tuberosum</i> L.).	Plant Produc. Sci. 12(4): 449-452.
Yamaki, T.	1941	Einfluss der Schwerkraft auf den Wuchsstofftransport im Stengel von <i>Solanum tuberosum</i> L.	Bot. Mag. 55(658): 462-476.
山岸和敏・喜久田嘉郎	1991	バレイショ22KDタンパク質遺伝子のcDNAクローニングとその塊茎特異的発現.	日作紀 60(別1): 287-288.(講要)
山岸和敏・深瀬孝子・永谷 工・三森クリスチーナ・喜久田嘉郎	1994	バレイショ Kunitz型プロテアーゼインヒビター遺伝子の形質転換タバコにおける発現.	日作紀 63(別1): 248.(講要)
山岸和敏・永谷 工・深瀬孝子・三森クリスチーナ・伊勢島エリザ美智子・喜久田嘉郎	1994	バレイショ塊茎の貯蔵温度に応答した Kunitz型プロテイナーゼインヒビターおよびパタチンの遺伝子発現.	日作紀 63(2): 368-369.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Yamagishi, K., Nagatani, K., Fukase, T., Mitsumori, C. and Kikuta, Y.	1994	Molecular characterization of a Kuniz-type proteinnase inhibitor expressing spesifically in potato tubers.	J. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 66(1): 1-12.
Yamagishi, K., Nagatani, K., Fukase, T., Mitsumori, C., Isejima, E.M. and Kikuta, Y.	1994	Gene expression of a Kunitz-type proteinase inhibitor and patatin in response to storage temperature of potato tuber.	Jan. J. Crop. Sci. 63(2): 368- 369.
山本健吾・野田健兒	1947	馬鈴薯塊莖形成に関する研究 (予報).	生物 2(2): 37-47.
山本健吾・野田健兒	1948	馬鈴薯の生育時期に依る葉部並に生長 點の芟除 (人工霜害) がその塊莖形成肥 大及ぼす影響.	農業気象 4: 15-19.
山本健吾・野田健兒	1949	馬鈴薯の塊莖形成に関する研究 1. 塊 莖形成過程と地上部生育との關係.	日作紀 17(2): 16.
山本健吾・野田健兒	1949	馬鈴薯の塊莖形成に関する研究 (第1報) 塊莖形成過程の外部的觀察並地上部生 育との關係.	東北大農研彙報 1(2): 55-64.
山本健吾・野田健兒	1950	馬鈴薯塊莖形成に関する研究 第二報 塊莖形成過程の内部細胞組織的觀察.	日作紀 19(1・2): 177-182.
Yamamoto, K. and Noda, K.	1951	A study of tuberization in the potato plant. Morphological and anatomical observations on the general process of tuberization.	Sci. Rep. Res. Inst. Tohoku Univ. D, 1(2): 47-77.
山本健吾・野田健兒	1952	馬鈴薯の塊莖形成肥大に對する環境要 素の影響に関する研究.	東北大農研彙報 4(1): 15-59.
山本健吾・野田健兒	1947	馬鈴薯の塊莖形成に関する研究 1. 塊 莖形成過程と地上部生育との關係.	日作紀 17(2): 16.
保井コノ	1946	ジャガタイモの萌芽の成育中に於ける 親薯の組織及び細胞内の變化から見た 新薯の役割並に細胞の自然死の問題に ついて.	生物 1: 113-116.
米田和夫	1974	ナス科作物の花芽分化・發育に関する研 究 VI. シザンサス,ホウズキ,ブロワリア,ペ チュニアならびにジャガイモの花芽分化 初期標徴について.	日大農獣医学報 32: 87-106.
吉原照彦・幸田泰則	1989	バレイショ塊莖形成物質の生理と化学.	化学と生物: 27(1): 53-58.
吉原照彦・幸田泰則	1989	バレイショ塊莖形成物質.	植物の化学調節 24(2): 147- 150.
吉崎徹磨・相沢 博・山 田 亀	1959	春, 秋作馬鈴薯に於ける体内養分の消 長.	中国農業研究 16: 35-36

520 増殖・栽培

521 組織培養・大量増殖

阿部正彦	2001	馬鈴しょ・マイクロチューバの開発と展望.	Techno innovation 11(1): 48-51.
Akemine, T., Kikuta, Y. and Tagawa, T.	1971	Respiratory changes during callus formation in potato tuber tissue cultured <i>in</i> <i>vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 56(3): 323-336.
Akemine, T., Kikuta, Y. and Tagawa, T.	1975	Effect of kinetin and nephthaleneacetic acid application on the respiratory metabolism during callus development in potato tuber tissue cultured <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 58(2): 247-261.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
AlMaarri, K., Massa, R. and AlBiski, F.	2012	Evaluation of some therapies and meristem culture to eliminate potato Y potyvirus from infected potato plants.	Plant Biotech. 29(3): 237-243.
秋元喜弘	1996	器内増殖に思う.	いも類振興情報 46: 21.
秋田 求・高山真策	1986	組織培養によるジャガイモ塊茎形成に関する研究 (第1報) 無菌培養系の確立と塊茎形成に關与する諸条件の検討.	園学要旨. 昭62秋: 264-265. (講要)
秋田 求・高山真策	1987	組織培養法によるジャガイモ塊茎形成に関する研究 (第2報) 液体培養法を用いた塊茎の形成.	園学要旨. 昭62秋: 266-267. (講要)
秋田 求・高山真策	1988	組織培養によるジャガイモ塊茎形成に関する研究 (第3報) 培養方法による塊茎形成部位の変化.	園学要旨. 昭63春: 228-229. (講要)
秋田 求・高山真策	1988	組織培養法によるジャガイモ塊茎形成に関する研究 (第4報) 塊茎形成に及ぼすホルモン条件の影響.	園学要旨. 昭63秋: 266-267. (講要)
秋田 求・高山真策	1989	組織培養法によるジャガイモ塊茎形成に関する研究 (第5報) 培養由来の塊茎の性状について.	園学雑 58(別1): 230-231. (講要)
Akita, M. and Takayama, S.	1993	Effects of medium surface level control on the mass propagation of potato tubers using a jar fermentor culture technique.	Plant Tissue Culture Letters 10(3): 242-248.
Akita, M. and Takayama, S.	1993	Resting period and the field performance of potato tubers propagated in a jar fermentor.	Plant Tissue Culture Letters 10(3): 255-259.
在原章公・熊谷利恵子・入倉幸雄	1991	バレイショ栽培品種のプロトプラストからの植物体再分化に及ぼす生長調節物質の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 32: 52-53. (講要)
在原章公・熊谷利恵子・原田千文・入倉幸雄	1993	ばれいしょ培養細胞由来植物にみられる変異.	育種・作物学会北海道談話会報 34: 100-101. (講要)
Ashikawa, I., Araki, S., Fukazawa, A., Murai, A., Kamada, H. and Koshi, M.	1992	Release of potato cyst nematode hatching stimulus from hairy root cultures of some Solanaceae plants.	Plant Tissue Culture Letters 9(2): 123-125.
伴 義之・小曾納雅則	2003	食料安全保障と種苗管理センターの役割 (1) 不測時における種ばれいしょの急速増殖法等について.	農及園 78(6): 641-645.
伴 義之・小曾納雅則	2003	食料安全保障と種苗管理センターの役割 (2) 不測時における種ばれいしょの急速増殖法等について.	農及園 78(7): 743-750.
富士原和宏・吉良修司・古在豊樹	1992	バレイショ培養体のCO ₂ 交換量の時間変化に及ぼす培地ショ糖濃度の影響.	農業気象 48(1): 49-56.
藤野介延・喜久田嘉郎・増田 清・岡澤養三	1985	馬鈴薯のプロトプラスト培養および再生個体について.	植物組織培養 2(別): 101. (講要)
福家 宏	2012	ミニチューバー (MnT) 作出技術と改善課題.	いも類振興情報 110: 7-11.
不破秀明・岩間和人	2011	バレイショの養液土耕におけるミニチューバーの収穫後の減耗防止方法.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 97-98. (講要)
不破秀明・郷家一広・岩間和人	2014	バレイショ水耕栽培での養分と日長が移植苗の初期生育に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 54: 77-78. (講要)
不破秀明・郷家一広・岩間和人	2013	養液栽培で生産したバレイショ・ミニチューバーの生育と収量.	育種・作物学会北海道談話会報 54: 101-102. (講要)
不破秀明・郷家一広・岩間和人	2015	バレイショ水耕栽培での養分と日長が移植苗の初期生育に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 55: 77-78. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
不破秀明・天野克幸・岩間和人	2016	ジベレリン処理したバレイショ・ミニチューバーの圃場での生育と収量.	育種・作物学会北海道談話会報 56: 60-61.(講要)
郷家一広	1999	マイクロチューバーを用いた種馬鈴しょの増殖について.	いも類振興情報 61: 15-18.
郭 華春・遠城道雄・林満	2000	ジャガイモにおけるsmall tuberを利用した種イモ生産並びにGA処理による休眠打破.	熱帯農業 44(3): 152-157.
Harada, T., Kikuta, Y. and Okazawa, Y.	1980	Effect of hormones on the increase and the subsequent decrease in NAD kinase in potato tuber slices.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 59(4): 380-391.
林 真紀夫・古在豊樹・渡辺一成・渡部一郎	1990	培養器外直接発根法においてCO ₂ 施用および高日射量がバレイショ小植物体の生長に及ぼす効果.	生物環境調節 28(4): 147-154.
林 真紀夫・古在豊樹・舘野 稔・富士原和宏	1993	明暗周期が光混合栄養培養条件下におけるバレイショ小植物体の生長および形態に及ぼす影響.	生物環境調節 31(3): 169-175.
林 真紀夫・古在豊樹・落合 学	1994	側方からの光照射がバレイショの培養小植物体の生長及び形態に及ぼす影響.	植物工場誌 6(1): 1-7.
平井 泰・白井滋久・酒井 昭	1998	バレイショ (<i>Solanum tuberosum</i> L.) 培養茎頂のビーズガラス化法による超低温保存.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 71-72.(講要)
五十嵐 敏・伊槻康成	1991	バレイショマイクロチューバーの栽培特性.	育種・作物学会北海道談話会報 30: 8.(講要)
飯本光雄・渡辺一正・富士原和宏	1996	磁束密度および磁界の向きがバレイショ培養小植物体の生長および二酸化炭素交換速度に及ぼす影響.	農機誌 56(別): 429-430. (講要)
石田光之・吉田 孝・土屋 實	2004	組織培養及び挿し木によるジャガイモ種苗の急速増殖.	園学雑 73(別2): 400.(講要)
伊槻康成・木下真寿美・菅原之浩・村上景子	1989	3段階培養法によるバレイショの塊茎形成について.	植物組織培養 6(別): 187.(講要)
Iwama, K., Hukushima, T., Yoshimura, T. and Nakaseko, K.	1993	Influence of planting density on root growth and yield in potato.	J. Japan Soc. Hort. Sci. 62(4): 628-635.
岩間和人	2011	バレイショの非生物的ストレス (1) 根系の調査方法.	北農 78(3): 8-13.
岩間和人	2011	バレイショの非生理的ストレス (2) 作物間および品種間での根系の差異.	北農 78(4): 7-13.
桂 直樹・岡沢養三・田川 隆	1967	馬鈴薯塊茎の組織培養における発根について.	育種・作物学会北海道談話会報 7: 18-19.(講要)
桂 直樹・岡沢養三・田川 隆	1970	馬鈴薯の組織培養に関する生理学的研究 第1報 Callus 形成および発根に及ぼす α -naphthaleneacetic acid および 2,4-dichlorophenoxyacetic acid の影響.	北大農邦文紀要 7(2): 301-306.
桂 直樹・岡沢養三・田川 隆	1970	馬鈴薯の組織培養に関する生理学的研究 第2報 発根過程における α -naphthaleneacetic acid およびkinetinの意義について.	北大農邦文紀要 7(3): 416-422.
Kawakaimi, J., Iwama, K., Hasegawa, T. and Nakaseko, K.	1998	Growth and yield performance of field-grown potato from micro-tubers.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 51-52.(講要)
Kawakaimi, J., Watanabe, T., Hasegawa, T. and Iwama, K.	1999	Varietal difference in growth and yield performance of field-grown potato from micro-tubers.	育種・作物学会北海道談話会報 40: 47-48.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Kawakami, J., Iwama, K., Hasegawa, T. and Jitsuyama, Y.	2000	Effects of soil water condition on the growth and yield performance of potato microtuber.	育種・作物学会北海道談話会報 41: 73-74. (講要)
Kawakami, J., Iwama, K., Hasegawa, T., Jitsuyama, Y. and Sugihara, K.	2001	Effects of soil water condition on the growth and yield performance of potato microtuber. The results for two years.	育種・作物学会北海道談話会報 42: 89-90. (講要)
Kawakami, J., Iwama, K. and Jitsuyama, Y.	2005	Effects of planting date on the growth and yield of two potato cultivars grown from microtubers and conventional seed tubers.	Plant Produc. Sci. 8(1): 74-78.
Kawakami, J. and Iwama, K.	2012	Effect of potato microtuber size on the growth and yield performance of field grown plants.	Plant Produc. Sci. 15(2): 144-148.
喜久田嘉郎・明峯哲夫	1969	ジャガイモのカルス形成のともなう呼吸の変動.	育種・作物学会北海道談話会報 9: 27. (講要)
喜久田嘉郎	1972	ジャガイモ組織培養における呼吸代謝.	植物組織培養シンポジウム(第3回)講演要旨, p.44. (講要)
喜久田嘉郎・幸田泰則・岡沢養三	1974	ジャガイモ組織培養におけるGloblar Nodulesの形成.	植物組織培養シンポジウム(第4回)講演要旨, p.6. (講要)
Kikuta, Y., Harada, T. and Okazawa, Y.	1980	Changes in cellular constituents during callus formation in potato tuber tissue cultured <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 59(4): 364-379.
Kikuta, Y. and Okazawa, Y.	1982	Shoot-bud formation and plantlet regeneration in potato tuber tissue cultured <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 61(1): 166-179.
Kikuta, Y. and Okazawa, Y.	1982	Development of microbodies and related respiratory metabolism in potato tuber tissue cultured <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 60(4): 289-311.
Kikuta, Y., Saito, W. and Okazawa, Y.	1984	Protoplast culture of potato. Changes in viability and initiation of cell division.	Plant Tissue Culture Letters 1(1): 18-21.
Kikuta, Y., Fujino, K., Saito, W., Masuda, K. and Okazawa, Y.	1986	Protoplast culture of potato. An improved procedure for isolating viable protoplasts.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 62(4): 429-439.
喜久田嘉郎	1991	馬鈴薯の組織培養.	植物組織培養 8(別): 264. (講要)
北宅善昭・新井雅子・酒見幸助・古在豊樹	1993	閉鎖系CO ₂ 施用装置を用いたバレイショ小植物体の光独立栄養培養.	植物組織培養 10(別): 133. (講要)
Koda, Y. and Okazawa, Y.	1983	Influences of enviromental, hormonal and nutritional factors on potato tuberization <i>in vitro</i> .	Jpn. J. Crop. Sci. 52(4): 582-591.
Koda, Y. and Okazawa, Y.	1983	Characteristic changes in the levels of endogenous plant hormones in relation to the onset of potato tuberization.	Jpn. J. Crop. Sci. 52(4): 592-597.
幸田泰則・岡沢養三	1985	茎断片培養法を用いたバレイショ塊茎形成物質の検索.	植物組織培養 2(別): 102. (講要)
Koda, Y. and Kikuta, Y.	2001	Effects of jasmonates on <i>in vitro</i> tuberization in several potato cultivars that differ greatly in maturity.	Plant Produc. Sci. 4(1): 66-70.
小玉泰生・大西 昇・森清文・福元伸一	2012	バレイショ‘トヨシロ’のマイクロチューバーを利用した年2作型による採取栽培体系の検討.	鹿児島農総セ研報 7: 25-38.
古在豊樹・小山保徳・渡部一郎	1988	光独立栄養生長促進によるバレイショ培養苗の無糖増殖法.	園学要旨. 昭63春: 226-227. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
古在豊樹・西村典明・富士原和宏・渡部一郎	1989	培養器内栽植密度が光独立増殖培養におけるバレイショ小植物体の生長と純光合成速度に及ぼす影響.	園学雑 58(別1): 244-245.(講要)
古在豊樹・田中幸治・渡部一郎・林真紀夫・富士原和宏	1990	植物組織培養器内湿度およびCO ₂ 環境がバレイショ培養小植物体の生長に与える影響.	園学雑 59(別1): 288-289.(講要)
古在豊樹・林真紀夫・落合 学	1991	側方からの光照射がバレイショ培養小植物体の生長および形態に及ぼす影響.	園学雑 60(別1): 228-229.(講要)
古在豊樹・串橋 直・久保田智恵利	1991	光独立栄養・CO ₂ 施用条件下のバレイショ培養小植物体の形態および生長に明期と暗期の気温差が及ぼす影響.	園学雑 60(別1): 230-231.(講要)
古在豊樹・串橋 直・久保田智恵利・富士原和宏	1992	明期と暗期の気温差および光合成有効光量子束がバレイショ培養小植物体のシュート長および生長に及ぼす影響.	園学雑 61(1): 93-98.
Kozai, T., Tanaka, K., Jeong, B.R. and Fujiwara, K.	1993	Effect of relative humidity in the culture vessel on the growth and shoot elongation of potato (<i>Solanum tuberosum</i> L.) plantlets <i>in vitro</i> .	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 62(2): 413-417.
Kozai, T., Jeong, B.R., Kubota, C. and Murai, Y.	1995	Effects of volume and initial strength of medium on the growth, photosynthesis and ion uptake of potato (<i>Solanum tuberosum</i> L.) plantlet <i>in vitro</i> .	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 64(1): 63-71.
前田智雄・原田 隆・八鍬利郎	1991	液体窒素中で凍結したジャガイモ培養体茎切片からの植物体再生.	園学雑 60(別2): 224-225. (講要)
増田 清・喜久田嘉郎・岡澤養三	1985	馬鈴薯組織の培養初期に合成されるサテライトDNAについて.	植物組織培養 2(別): 61.(講要)
Masuda, K., Kikuta, Y., Fujino, K. and Okazawa, Y.	1994	Preferential synthesis of mitochondrial DNA during the invital stage of tissue growth in potato explant cultures.	J. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 66,(1): 13-25.
松本 工	1981	バレイショのさし木繁殖による増殖と病害防除 [1].	農及園 56(11): 1399-1402.
松本 工	1981	バレイショのさし木繁殖による増殖と病害防除 [2].	農及園 56(12): 1449-1502.
三口雅人・鈴木裕志・津田昌吾・森 元幸	2000	バレイショのマイクロチューバーにおける器内生成能の品種間差異.	育種・作物学会北海道談話会報 41: 75-76.(講要)
三口雅人・津田昌吾・森 元幸	2001	バレイショのマイクロチューバーにおける器内生成条件の検討.	育種・作物学会北海道談話会報 42: 91-92.(講要)
三澤 孝	2010	種ばれいしょ供給からみたジャガイモシストセンチュウ侵入防止対策.	いも類振興情報 105: 11-14.
三澤 孝	2012	ミニチューバー (MnT) による種いも生産の現状と課題.	いも類振興情報 110: 2-6.
三十尾修司・高岡啓吾・淡野一郎・上島脩志・澤野 稔	1991	二ゲノム性半数体を利用した栽培バレイショと <i>Solanum acaule</i> 間の体細胞雑種育成.	植物組織培養 8(別): 84.(講要)
三十尾修司・山田哲也・金沢正尚・高岡啓吾・上島脩志	1993	細胞融合による栽培バレイショと近縁野生種 <i>Solanum acaule</i> 半数体間の体細胞雑種の作出.	植物組織培養 10(別): 56.(講要)
宮下好恵・木村友美・北宅善昭・古在豊樹	1993	バレイショ組織培養において移植に用いた単節片の採取元個体での節位と再生個体の生長の関係.	植物組織培養 10(別): 131.(講要)
宮下好恵・木村友美・北宅善昭・古在豊樹	1993	白色蛍光灯と赤色発光ダイオードを組み合わせた照明がバレイショ培養小植物体の生長および葉部クロロフィル含量に及ぼす影響.	植物組織培養 10(別): 132.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
森 元幸・高田憲和・小林 晃・小原(高田) 明子	1998	マイクロチューバを種いもとするバレイショ17品種の圃場生産性.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 55-56.(講要)
村井紀元・岡沢養三・田川 隆	1967	馬鈴薯の根端培養について.	育種・作物学会北海道談話会報 7: 18.(講要)
村井紀元・岡沢養三・田川 隆	1968	馬鈴薯の根端培養におよぼす塊茎抽出物の生育促進効果.	育種・作物学会北海道談話会報 8: 14.(講要)
村田 隆・田中 智	2001	隔離温室内での小馬鈴薯生産と後世代の生産力について.	育種・作物学会北海道談話会報 42: 99-100.(講要)
永島 聡・中西一泰・菅原之浩	1989	バレイショの塊茎形成に及ぼす糖組成の影響.	植物組織培養 6(別): 188.(講要)
永島 聡・菅原之浩	1989	バレイショの塊茎形成に及ぼす矮化剤類の効果.	育種39(別1): 80-81.(講要)
永島 聡・中西一泰・伊槻康成	1990	組織培養によるジャガイモマイクロチューバの培養方法の確立.	園学雑 59(別2): 328-329.(講要)
中谷 誠・幸田泰典	1992	バレイショ茎断片培養法を用いた数種塊根茎作物の抽出物の塊茎形成活性の比較.	日作紀 61(3): 394-400.
中山 衛・古在豊樹・渡部一郎	1989	培地中のショ糖および培養器の換気条件が培養器内バレイショ外植体の純光合成速度に及ぼす影響.	植物組織培養 6(別): 186.(講要)
中山 衛・古在豊樹・渡部桐絵	1991	培地中の糖の有無および培養器の換気方法がバレイショ外植体のCO ₂ 濃度-純光合成速度特性に及ぼす影響.	植物組織培養 8(2): 105-109.
小原明子・梅村芳樹・石川忠雄・石毛光雄	1995	ばれいしょ66品種・系統のマイクロチューバによる生産性.	育種・作物学会北海道談話会報 36: 132-133.(講要)
大西 昇	2012	マイクロチューバー(MT)の生産・流通の現状と課題.	いも類振興情報 110: 12-19.
岡沢養三	1955	馬鈴薯塊茎の形成機作に関する生理学的研究 第1報 無菌培養した馬鈴薯茎断片上に於ける塊茎の形成.	日作紀 23(4): 247-248.
岡沢養三	1955	馬鈴薯塊茎の形成機作に関する生理学的研究 第2報 培養基上に於ける塊茎形成に関する萌芽の特性に就いて.	日作紀 24(2): 132.(講要)
岡沢養三	1957	馬鈴薯塊茎の形成機作に関する生理学的研究 (第2報, 第3報) 抄報.	日作紀 26(1): 34-36.
岡沢養三	1958	無菌培養下に於ける馬鈴薯頂芽の塊茎形成に及ぼす 2・4-D の影響.	日作紀 27(1): 93-94.
岡沢養三	1959	馬鈴薯植物体内に於ける gibberellin と塊茎形成に及ぼすその影響について.	日作紀 28(1): 129-133.
Okazawa, Y.	1959	Physiological studies on the mechanism of tuberization in potato plants. Part2. On the physiological relationship between the habit of the sprout and the tuber formation of potato plant <i>in vitro</i> .	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 51(1): 180-190.
岡沢養三	1960	馬鈴薯の塊茎形成と gibberellin との関係について.	日作紀 29(1): 121-124.
岡沢養三	1966	馬鈴薯の塊茎形成. (生物コーナー)	化学と生物 4(3): 160-161.
Okazawa, Y.	1967	Physiological studies on the tuberization of potato plants.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 55(3): 267-336.
Okazawa, Y.	1968	Significance of native cytokinin in callus growth of potato tissue culture.	Proc. Crop Sci. Soc. Japan 37(4): 522-527.
岡沢養三	1968	馬鈴薯組織培養のカルス形成における体内サイトカイニンの生理的意義について.	日作紀 37(4): 522-527.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岡沢養三	1969	組織培養におけるジャガイモのカルス形成におよぼすRNA合成阻害剤の作用について.	日作紀 38(4): 622-626.
岡沢養三	1969	馬鈴薯塊茎のサイトカニンについて.	日作紀 38(1): 25-30.
岡沢養三・佐々木久視	1969	ジャガイモの塊茎形成と核酸, 蛋白質合成との関連性について.	日作紀 38(3): 419-424.
岡沢養三・佐々木久視	1969	ジャガイモ塊茎形成に及ぼすGibberellinとCCCとの相互作用.	育種・作物学会北海道談話会報 9: 26-27.(講要)
岡沢養三	1970	ジャガイモのCytokininについて.	育種・作物学会北海道談話会報 10: 34-35.(講要)
Okazawa, Y.	1970	Physiological significance of endogenous cytokinin occurred in potato tubers during their developmental period.	Jpn. J. Crop. Sci. 39(2): 171-176.
岡沢養三	1971	馬鈴薯塊茎の形成と生育.(植物栄養と栽培新説 特集)	農及園 46(1): 172-176.
Okazawa, Y.	1974	Autoradiographic observation on growth and differentiation of cultured potato tissues.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 57(4): 431-442.
Okazawa, Y.	1974	A relation between ethylene evolution and sprouting of potato tuber.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 57(4): 443-454.
岡沢養三	1975	馬鈴薯の生育とその調節.	日作紀 44: 123-129.
尾崎元扶	1961	CI-IPCによる貯蔵馬鈴薯の萌芽抑制	中国農業研究 21: 65-66.
白井滋久	1987	バレイショ「男爵いも」のプロトプラスト再生.	育種・作物学会北海道談話会報 27: 42.(講要)
種苗管理センター	1993	馬鈴しょのマイクロチューバー法増殖技術に関する研究.	種苗管理セ調査研報 3: 1-109.
種苗管理センター北海道中央農場	2009	ミニチューバーの導入によるばれいしょ原種の新たな生産体系への移行.	でん粉情報 23: 14-20.
宋 英凱・豊田秀吉・大内成志	1987	組織培養系による耐病性ジャガイモ系統の育成(第1報) ジャガイモのカルス誘導と植物体再生.	近畿大農紀要 20: 1-11.
菅原之浩・永島 聡・伊槻康成	1988	組織培養による馬鈴薯の塊茎形成について.	育種 38(2): 176-177.(講要)
鈴木慶次郎・佐藤 毅・玉掛秀人・松川 勲	1992	バレイショチューバーディスクからの効率的再分化.	育種・作物学会北海道談話会報 31: 8.(講要)
高田憲和・津田昌吾・小林 晃・小原(高田)明子・森 元幸	1998	マイクロチューバを種いもとするバレイショの生育経過.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 53-54.(講要)
高山真策・山口ゆかり・米良信昭	2012	ジャガイモのシュート培養における容器内ガス組成の変化と形態形成との関係.	植物環境工学 24(1): 38-41.
田中 智	1986	バレイショの急速増殖法.	農及園 61(12): 1403-1408.
田坂恭嗣・城真一郎・一町田紀子・澄川奈津子・松村 健	2008	閉鎖型植物工場におけるジャガイモの養液栽培技術の開発.	園学研 7(別2): 231.(講要)
田坂恭嗣・城真一郎・一町田紀子・松村 健	2010	閉鎖型植物工場におけるジャガイモ水耕栽培技術の開発(第2報)環境制御による塊茎形成誘導の検討および光強度が収量に与える影響.	園学研 9(別2): 202.(講要)
富田謙一・喜久田嘉郎・岡澤養三	1987	馬鈴薯プロトプラスト培養からの再生個体について.	植物組織培養 4(別): 109.(講要)
津田昌吾・高田憲和・小林 晃・小原(高田)明子・山縣真人・森 元幸	1998	マイクロチューバを種いもとするバレイショの形態的特徴.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 57-58.(講要)
津田昌吾・小林 晃・高田明子・森 元幸	1999	マイクロチューバを種いもとするバレイショの生育経過(2).	育種・作物学会北海道談話会報 40: 51-52.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
津田昌吾・小林 晃・高田明子・森 元幸	2001	マイクロチューバーによるバレイショと大樹町におけるバレイショの生育特性の比較.	育種・作物学会北海道談話会報 42: 93-94.(講要)
津田昌吾・小林 晃・高田明子・森 元幸	2002	バレイショのマイクロチューバー栽培における収量性に関わる要因解析.	育種・作物学会北海道談話会報 43: 117-118.(講要)
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・高田明子	2004	塊茎肥大特性がバレイショのマイクロチューバー栽培に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 45: 47-48.(講要)
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・高田明子	2005	ばれいしょマイクロチューバー栽培において熟期別に見た収量へ影響を及ぼす生育特性.	育種・作物学会北海道談話会報 46: 81-82.(講要)
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・向島信宏	2008	栽植密度がマイクロチューバーを種いもとする栽培に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 49: 77-78.(講要)
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・田宮誠司	2009	栽植密度がマイクロチューバーを種いもとするバレイショに及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 50: 87-88.(講要)
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・田宮誠司	2010	バレイショのマイクロチューバーを種イモとする栽培における栽植密度が収量形質に及ぼす影響.	作物学会講要集 230: 188-189.(講要)
Tsuda, S., Mori, M., Kobayashi, A. and Takada, A.	2010	Differences in tuber yield characters of plants grown from potato microtubers among 28 varieties and breeding parents used in Japan.	Jpn. J. Crop. Sci. 79(3): 262-267.
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・高田明子	2010	国内主要28バレイショ品種・系統を用いたマイクロチューバーを種イモとする圃場栽培における収量形質の品種間差異.	日作紀 79(3): 262-267.
津田昌吾・森 元幸・小林 晃・高田明子	2011	バレイショのマイクロチューバーを種イモとする圃場栽培における収量形質の品種間差異の作用機作.	日作紀 80(2): 165-173.
Tsuda, S., Mori, M., Kobayashi, A. and Takada, A., Takada, N., Nishinaka, M. and Asano, K.	2011	Effects of seed tuber size and planting density on the tuber number and the individual tuber weight of plants grown from potato microtubers in fields.	Jpn. J. Crop. Sci. 80(3): 292-301.
Vinterhalter, D., Savic, J., Stanisic, M., Jovanovic, Z. and	2016	Interaction with gravitropism, reversibility and lateral movements of phototropically stimulated potato shoots.	J. Plant Res. 129(4): 759-770.
和賀三郎	1999	マイクロチューバー(M.T.)による種いも生産 (1).	いも類振興情報 58: 8-13.
和賀三郎	1999	マイクロチューバー(M.T.)による種いも生産 (2).	いも類振興情報 59: 16-18.
渡辺丈洋・カワカミジャクソン・長谷川利祐・岩間和人	1999	マイクロチューバーと通常塊茎の種いもの大きさが圃場栽培したバレイショの生育・収量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 40: 49-50.(講要)
山本友英・中田和男	1997	培養容器内でのジャガイモの塊茎形成に及ぼすCCCとBAの影響.	日作紀 66(4): 663-668.
吉田 稔	2000	マイクロチューバーの問題点.	いも類振興情報 62: 1-6.
吉原照彦・松浦英幸・江口恭子・市原耿民	1997	バレイショマイクロチューバー形成物質による花芽形成誘導.	農化 71(別): 124.(講要)

522 栽培

阿部亥三・高橋昌一	1955	馬鈴薯畦間に大豆を間作した場合の微気象並に生育・収量.	農業気象 11(3): 103-106.
阿部亥三・高橋昌一	1956	馬鈴薯栽培方向の農業気象的研究 (予報).	農業気象 11(4): 127-129.
阿部亥三・高橋昌一	1957	馬鈴薯栽植方法の農業気象的研究.	農業気象 13(1): 33-36.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
阿部亥三・菅原 俐	1957	馬鈴薯の生育と地温との関係についての農業気象的、二の考察.	農業気象 13(2): 77-78.
阿部亥三・高橋昌一	1958	馬鈴薯の日長反応の品種間差異.	東北農試研報 14: 45-51.
阿部珠代・小宮山誠一・松永 浩	2012	23. エチレン雰囲気下で貯蔵した加工用バレイショに対するリコンディショニングの効果.	土肥要旨集 58: 245.(北海道支部講要)
安孫子孝一	1944	馬鈴薯多収穫上の注意事項.	農業 759: 15-24.
安孫子孝一	1950	秋馬鈴薯.	農業毎日 4(8): 18-19.
安孫子孝一	1951	じゃがいも栽培のこつ.	新しい農業 6(4): 41-44.
安孫子孝一	1951	馬鈴薯花の咲くまで.	農業毎日 5(5): 35-
安孫子孝一	1952	じゃがいもの浴光催芽.	農業毎日 6(2): 36-
安孫子孝一	1953	馬鈴薯の二期作どう作つたらよいか.	図解農業 5(5): 17-19.
安孫子孝一	1956	秋作ジャガイモの技術改善とその発展.	農業技術(創刊10周年記念号): 42-45.
安孫子孝一	1956	薬剤によるジャガイモの長期貯蔵.	農業技術(創刊10周年記念号): 45-46.
足立文彦・赤井康平・吉田晴香・松本真悟	2012	間作植物根系のスポンジ効果によるジャガイモの水利用改善.	作物学会講要集 234: 104-105.(講要)
安達真平・岩間和人・金子 正・井上哲也・中世古公男	1996	土壌水分条件がバレイショの光合成および蒸散速度に及ぼす影響 一根量の異なる接木個体間の比較一.	育種・作物学会北海道談話会報 37: 110-111.(講要)
会田英男	1951	ジャガイモの早熟栽培.	農耕と園芸 6(2): 24-25.
会田英男	1953	おんば薯による馬鈴薯の早熟栽培と収益.	農業技術研究 7(2): 14-16.
相原四郎	1950	「エチクロリン」処理に依る馬鈴薯秋作に就て.	育種と農芸 5(7): 18-21.
赤堀香苗	1946	秋馬鈴薯の手入から貯蔵まで.	農業世界 41(9): 38-
赤城仰哉・但野利秋・佐薙秀夫	1969	てん菜茎葉の鍬込みに関する試験 跡作馬鈴薯に対する養分供給と施与窒素用量について.	北農 36 (9):
赤司和隆・宮脇 忠・市川信雄	1993	4-15. 長期連作に伴うバレイショの土壌生物による生育阻害. (4. 土壌生物)	土肥要旨集 39: 38.(講要)
秋田謙司・吉田重喜・丸山正晴・飯尾恵二・三宅幹雄	1989	馬鈴薯の収量に及ぼす栽植密度並びに除けつの影響.	神戸大農場報告 2: 38-41.
秋元喜弘	1977	“秋作栽培”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.381-396.
秋山松太郎	1942	馬鈴薯並に芋種芋の浸水処理に就て.	白楊農誌 3(12): 372-376.
安藤正治	1892	馬鈴薯試作の失敗.	農業雑誌 17(12)(443): 189-190.
安藤隆夫・杉 颯夫	1952	馬鈴薯品種の生態的特性に関する研究(予報) 一生育並に塊茎形成に及ぼす日長時間の影響の品種間差異について.	中国四国農業研究 2: 32-33.
青木久一	1957	早期催芽による馬鈴薯増収法.	農業世界 52(3): 182-
新井 裕・栗原昌次	1990	秩父地域における桑園間作による体菜とジャガイモの栽培体系.	埼玉蚕試研報 63: 20-25.
荒川祐介・大津善雄・藤山正史	2008	19-26. 諫早湾干拓地における成分調整成型堆肥を利用したバレイショ栽培. (19. 肥料および施肥法)	土肥要旨集 54: 152.(講要)
荒木英晴・井村直樹・山下 茂	2012	バレイショ「スノーマーチ」における出荷後早期萌芽条件の特定(内生休眠期間が短縮する条件).	北農 79(3): 317-322.
荒木宏通・柴田洋一・嶋津光辰・片岡 崇・岡本博史	2011	バレイショ塊茎の肥大計測に関する研究 一計測方式の検討と装置の開発一.	農機誌 73(6): 380-386.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
荒木宏通・柴田洋一・片岡 崇・岡本博史	2012	塊茎肥大計測装置によるバレイショの生育特性解明.	農機誌 74(4): 318-324.
荒木 喬	1915	馬鈴薯豊産栽培法.	大日本農會報 410: 74-77.
浅間和夫	1966	根釰地方における気象と馬鈴薯の生育・収量との関係について.	北農 33(7): 14-18.
浅間和夫・伊藤 武・伊藤平一・村上紀夫	1970	ばれいしょの収量形質における地域適応性.	北農 37(1): 11-16.
浅間和夫	2002	野菜栽培入門 はじめて取り組むジャガイモ栽培.	農耕と園芸 57(2): 101-104.
浅見与七	1944	馬鈴薯増収に対するナフタリン酢酸処理の効果. (関東地域農事試験場連絡試験成績)	園学雑 15: 97-100.
浅野基三	1942	馬鈴薯の栽培法に就いて.	新潟園藝 4(4).
浅野満夫	1948	長崎県に於ける馬鈴薯の休眠催芽について.	九州農業研究 2: 5-6.
浅野満夫	1950	暖地馬鈴薯の緑化栽培について.	九州農業研究 6: 17-18.
浅沼興一郎・中 潤三郎・木暮 秩	1984	春作バレイショにおける乾物生産と栽植密度との関係.	香川大農報告 32(2): 53-59.
鮎涯耕夫	1890	馬鈴薯を安全に發芽せしむる法.	農業雑誌 15(30)(389) : 478.
Baten, M.A., Kon, H. and Matsuoka, N.	1996	Spatial variability in micrometeorology at soil surface below a potato canopy with two row orientations.	J. Agric. Meteorol. 52(4): 301-310.
カルビーポテト(株)	2003	葉柄汁液中の硝酸濃度と馬鈴薯生育の関係.	育種・作物学会北海道談話会報 44: 43-44.(講要)
茶谷正孝・泉 省吾・松尾和敏	1987	冬作マルチ栽培に用いる春作産種バレイショの冷蔵効果.	九州農業研究 50: 55.
茶谷正孝・小村国則	1991	春作マルチ栽培に用いる秋作産種バレイショの温蔵処理法と生産力.	九州農業研究 53: 44.
茶谷正孝・田渕尚一・小村国則	1993	緑肥作物の導入によるバレイショ連作畑の地力維持.	九州農業研究 55: 48.
茶谷正孝・田渕尚一	1994	火山活動に伴う積灰がバレイショの生育及び収量に及ぼす影響.	九州農業研究 56: 43.
知識敬道・北野保樹・佐田 満・田淵尚一	1969	暖地馬鈴しよの春秋作の生育相の比較について.	日作九支報 32: 103.(講要)
知識敬道	1974	長崎県における冬作ジャガイモの栽培法.	農及園 49(3): 434-436.
知識敬道	1976	暖地馬鈴しよ栽培技術の要点. (農地の高度利用技術と実例 <特集> 畑作編)	農及園 51(1): 225-230.
大後美保	1943	日本内地における馬鈴薯の豊凶持続性に就いて.	農及園 18(2): 181-182.
(大日本農會)	1887	爪哇薯試作の景況.	大日本農會報告 76: 62.
(大日本農會)	1920	一舉三徳馬鈴薯の間作. (長崎縣農會報)	大日本農會報 467: 33.
出口哲久・田子旭彦・Pema Wangchuk・納谷拓実・三浦由美子・岩間和人・実山 豊・市川伸次・河合孝雄	2008	バレイショ根優品種とコナフブキの根長密度が葉内水分圧と収量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 49: 65-66.(講要)
出口哲久・納谷拓実・伊藤瑛悟・松本 学・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2009	根量の異なるバレイショ2品種における新型土壌マトリックポテンシャルセンサーMPS-1を用いた吸水特性の評価.	育種・作物学会北海道談話会報 50: 79-80.(講要)
出口哲久・伊藤瑛悟・古川 恵・松本 学・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2010	バレイショ品種における乾燥逃避性に関連する特性.	育種・作物学会北海道談話会報 51: 41-42.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
出口哲久・ワンチュック P.・田子旭彦・三浦由美子・伊藤瑛悟・納谷拓実・古川 恵・松本学・小林 司・河合孝雄・市川伸次・岩間和人	2011	根量の異なるバレイショ4品種の根系分布におよぼす気象条件および土壌水分条件の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 91-92.(講要)
出口哲久・伊藤瑛悟・納谷拓実・古川 恵・松本学・小林 司・岩間和人	2012	根量の異なるバレイショ4品種の根系分布に気象条件および土壌水分条件が及ぼす影響.	作物学会講要集 233: 142-143.(講要)
出口哲久・伊藤瑛悟・納谷拓実・古川 恵・松本学・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2013	バレイショ根系の品種間差異が土壌深層からの水分吸収におよぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 85-86.(講要)
出口哲久・松本学・谷川 潤・岩間和人	2014	土壌水分処理および植え付け日の差異が根量の異なるバレイショ4品種の通導コンダクタンスにおよぼす影響.	作物学会講要集 236: 78.(講要)
出口哲久・伊藤瑛悟・古川 恵・松本学・岩間和人	2014	根量の異なるバレイショ4品種において土壌乾燥ストレスが葉の水ポテンシャル, 光合成速度, 生育および収量におよぼす影響.	作物学会講要集 238: 105.(講要)
出口哲久・岩間和人・Anton Haverkort	2016	バレイショ生育モデルLINTAL-POTATO-DSSを用いた北海道のバレイショ潜在収量の解析.	作物学会講要集 241: 87.(講要)
出口哲久・岩間和人・Haverkort Anton	2016	北海道の気象要因に基づくバレイショ潜在収量のモデル解析.	育種・作物学会北海道談話会報 56: 58-59.(講要)
Djazli, M. and Tadano, T.	1990	Comparison of tolerance to low phosphorus soils between sweet potato and potato.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 64(3): 190-200.
Djazli, M.	1991	Comparison of the nutritio-physiological characteristics between sweet potato and potato in relation to the tolerance to low nutrient and low pH conditions.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 64(4): 311-354
江部成彦・伊藤 武	1993	極早期培土におけるばれいしょの晩霜対策.	育種・作物学会北海道談話会報 34: 108-109.(講要)
江部成彦・伊藤 武	1995	ばれいしょの極早期培土効果.	北農 62(2): 144-148.
江頭和彦・中島征志郎・藤山正史	1990	作物収量と環境, 土壌, 管理要因の数量化分析 ー長崎県水稻, ばれいしょ, みかん収量の事例ー.	九大農・学芸雑誌 45(1・2): 9-21.
江川 了	1948	甘藷馬鈴薯栽培の諸問題. [甘藷馬鈴薯特輯]	農業 795: 3-10.
江口壽彦	1999	制御環境下で生育するジャガイモの塊茎体積日変化の計測.	園学雑 68(別2): 287.(講要)
江口庸雄・加陽徹生・鎌田延男	1944	台湾における馬鈴薯栽培並に種芋の自給.	農及園 19(4): 423.
遠藤沖吉	1948	種馬鈴薯の根本問題.	科学 18(9): 417-418.
遠藤沖吉	1952	促成栽培に関する一考察 (馬鈴薯).	日作紀 20(3・4): 239-240.
遠藤沖吉	1955	馬鈴薯自家種の収量維持の問題.	日作紀 24(2): 120.(講要)
遠藤沖吉	1956	馬鈴薯匍枝の生長に就いて.	日作紀 24(4): 342.(講要)
遠藤良吉	1956	馬鈴薯の二, 三期作について.	日作紀 24(4): 342-343.(講要)
遠藤沖吉	1956	匍枝生長点と加里との関係.	日作紀 25(1): 15-16.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Fonseka, H. and Asanuma, K.	1996	An analysis of some physiological and agronomical characteristics in relation to morphological traits of field - grown potato (<i>Solanum tuberosum</i> L.) cultivars.	Tech. Bull. Fac. Agr., Kagawa Univ. 48: 87- 95.
Fonseka, H.・浅沼興一郎	1996	バレイショ品種の生産生態と形態形質との関係.	香川大農報告 48(2): 87-95.
Fonseka, H.・浅沼興一郎	1996	バレイショ品種の生長発育過程におけるガス交換特性の変化.	香川大農報告 48(2): 97-102.
Fonseka, H.D., Asanuma, K., Kusutani, A., Ghosh, A.K. and Ueda, K.	1996	Growth and yield of potato cultivars in spring cropping. I. Plant morphology, growth, assimilate partitioning and yield under two planting densities.	Jpn. J. Crop. Sci. 65(2): 269-276.
Fonseka, H.D., Asanuma, K. and Ichii, M.	1997	Changes in nitrate reductase activity of leaf and nitrogen distribution with growth in potato plants.	Jpn. J. Crop. Sci. 66(4): 669-674.
笛木伸彦・波多野隆介・佐久間敏雄	1995	(3) バレイショ畑における土壌呼吸量 土壌間差と畦・畦間の土壌物理性の影響.	土肥要旨集 41: 266.(北海道支部講要)
笛木伸彦・澤本卓治・波多野隆介	1996	(29) バレイショ畑におけるCO ₂ 収支 土壌呼吸と根,微生物による呼吸.	土肥要旨集 42: 297.(北海道支部講要)
笛木伸彦・中村隆一・竹内晴信・渡部 敢	2010	(19-34) 塩化カリの施用がテンサイおよびジャガイモの生育および養分吸収に及ぼす影響. (19.肥料および施肥法)	土肥要旨集 56: 141.(講要)
笛木伸彦・斉藤克史・中津智史	2012	窒素減肥処理がバレイショ「メークイン」の収量と品質に及ぼす効果と土壌硝酸態窒素診断による適正窒素施肥量の推定法.	土肥誌 83(2): 165-168.
藤 喜代助・桂 勇	1953	馬鈴薯に対する培土の効果について.	東北農業 7(3): 68-73.
藤森良吉	1958	浴光式貯蔵種馬鈴薯の利用について.	日作紀 26(3): 234.(講要)
藤森信四郎・中村啓三	1949	泥炭地における馬鈴薯の緑肥間作効果.	北農 16(6): 159-161.
藤本 晃	1986	上北農場における緑肥作物鋤込みによる耕土培養について.	いも類振興情報 7: 22-26.
藤本虎喜	1942	水稻晩化栽培に伴ふ水田土地利用間作大豆並馬鈴薯栽培法.	農業 736: 1-9.
藤野介延・喜久田嘉郎・入宇田尚樹・幸田泰則・岡沢養三	1990	馬鈴薯茎断片培養系の塊茎形成過程における細胞壁構成成分の変化.	日作紀 59(別2): 185-186.(講要)
藤田昌子・木村文彦・長谷川利弘・岩間和人	1999	キャノピーアナライザーを用いたバレイショ群落の非破壊的推定.	育種・作物学会北海道談話会報 40: 53-54.(講要)
藤原正志・中嶋孝弘・中尾 敬・梅村芳樹	1994	ばれいしょ品種の高温乾燥年における栽培条件と品質.	育種・作物学会北海道談話会報 35: 46-47.(講要)
藤山正史・原 英雄	1987	バレイショ連作畑の耕盤破碎.	九州農業研究 50: 101.
藤山俊計	1989	ばれいしょ畑からの提言.	いも類振興情報 21: 14-16.
福井武治	1919	馬鈴薯の経済的使用.	日本農業雑誌 15(11): 58-60.
富士貞吉	1945	種いもは必ず採種圃から.	農及園 20(9): 371-372.
福嶋淑恵・梅村芳樹・岩間和人・中世古公男	1991	草型を異にするばれいしょ2品種の混植による生産性の変化.	育種・作物学会北海道談話会報 32: 32-33.(講要)
福嶋淑恵・吉村 徹・岩間和人・中世古公男	1992	栽植密度がばれいしょ根系の発達に及ぼす影響.	日作紀 61(別2): 165-166.(講要)
舟木久義・増田 繁	1954	蔬菜に於ける窒素肥料分施に関する研究 (第2報) 馬鈴薯.	園学雑 22(4): 244-248.
船越建明	1972	瀬戸内島嶼部地帯の秋馬鈴しょ畑における雑草防除に関する研究.	広島農試報告 31: 43-54.
船越建明・他	1972	瀬戸内島嶼部地帯の秋馬鈴しょ畑における雑草防除に関する研究.	新潟園芸 31: 43-54.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
船越建明・松浦謙吉・村上清則	1979	全粒種いも利用による秋作バレイショの安定生産技術 [1].	農及園 54(8): 1009-1012.
船越建明・松浦謙吉・村上清則	1979	全粒種いも利用による秋作バレイショの安定生産技術 [2].	農及園 54(9): 1139-1142.
船越建明・松浦謙吉・村上清則	1987	全粒種いも利用による秋バレイショの安定生産 第1報 種いものホルモン処理と大きさが生産力に及ぼす影響.	広島農試報告 50: 105-116.
舟本久義	1958	馬鈴薯における種薯に関する実験.	静岡大教育研報 9: 161-168.
古市孝雄	1955	馬鈴薯の早熟栽培.	農業世界 50(5): 124-
古川 恵・出口哲久・伊藤瑛悟・松本 学・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2010	根量の異なるバレイショ品種における吸水特性の評価.	育種・作物学会北海道談話会報 51: 43-44.(講要)
古川 恵・出口哲久・伊藤瑛悟・納谷拓実・松本 学・小林 司・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2011	根量の異なるバレイショ品種における吸水特性の年次間比較.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 89-90.(講要)
古川 恵・出口哲久・伊藤瑛悟・松本 学・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2011	根量の異なるバレイショ品種における吸水能力の評価.	作物学会講要集 231: 98-99.(講要)
古館明洋・市川信雄・前田 要	1991	(13) バレイショの品質向上に関する研究(第2報) 窒素施肥を異にしたバレイショのでん粉特性.	土肥要旨集 37: 225.(北海道支部講要, その2)
古館明洋・市川信雄・目黒孝司	1993	(9) バレイショの品質向上に関する研究(第3報) リン酸およびカリ施肥量がデンプン特性に及ぼす影響.	土肥要旨集 39: 235.(北海道支部講要)
古館明洋・目黒孝司	1995	(36) バレイショのでん粉価の違いが品質に及ぼす影響.	土肥要旨集 41: 282.(北海道支部講要)
古沢典夫・神山芳典・桎 文夫・畠山 保	1972	馬鈴薯マルチ栽培に関する研究 第2報 輪作改善上の意義と経済性.	東北農業研究 13: 156-159.
古田勝己・本田正市	1959	阿蘇地方における初秋作バレイショの導入に関する研究.	園学九州支部要旨. 1.
古田勝己・木田正市	1960	阿蘇準高知における初秋作馬鈴薯栽培法.	農及園 35(5): 825-828.
古田勝己・木田正市	1960	阿蘇地方における初秋作馬鈴薯に関する研究.	九州農業研究 22: 93-94.
Gao, Y., Jia, L., Hu, B., Alva, A. and Fan, M.	2014	Potato stolon and tuber growth influenced by nitrogen form.	Plant Produc. Sci. 17(2): 138-143.
Ghosh, S.C., Asanuma, K., Kasutani, A. and Toyota, M.	2000	Effects of moisture stress at different growth stages on the amount of total nonstructural carbohydrate, nitrate reductase activity and yield of potato.	Jpn. J. Trop. Agr. 44(3): 158-166.
Ghosh, S.C., Asanuma, K., Kusutani, A. and Toyota, M.	2001	Effect of salt stress on some chemical components and yield of potato.	Soil Sci. Plant Nutri. 47(3): 467-475.
Ghosh, S.C., Asanuma, K., Kusutani, A. and Toyota, M.	2002	Effects of shading on dry matter production, yield and nitrate reductase activity of potato under two levels of spacing.	Environ. Control in Biol., 40(3), 259-268
郷 謹之助	1950	馬鈴薯発育に関する調査.	東海近畿農業研究 1・2: 37-

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Gondwe, R., Sano, M., Suminoe, T., Uemura, H. and Tani, M.	2015	(5) Interaction between phosphate contents in soils and phosphorus concentration in potato tubers in Kamikawa and Tokachi Districts, Hokkaido.	土肥要旨集 61: 238.(講要)
ジャイゴパル・岩間和人・吹田 亘・実山 豊	2006	バレイショにおけるロウ・ワセリン層埋設ポットを用いた根貫通力評価法の確立.	育種・作物学会北海道談話会報 47: 101-102.(講要)
Gopal, J., Iwama, K. and Jitsuyama, Y.	2006	Root penetration ability in paraffin-vaseline discs as indicator of drought tolerance in potato.	Abstr. Meeting CSSJ 221: 198-199.(abs.)
後藤晶子・岩間和人・ペマ ワンチュック・出口哲久・佐藤正明・実山豊・市川伸次	2007	バレイショの乾燥抵抗性品種「根優」において土壌水分条件が光合成と収量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 48: 83-84.(講要)
五島一成・高木睦夫・小野末太	1971	暖地馬れいしょの施肥改善に関する研究(第1報) 土壌別の収量および養分吸収の特徴と施肥の実態.	九州農業研究 33: 137-138.
五島一成・真崎信之	1983	石こうの肥料的利用について 1 馬れいしょ連作畑への施用.	長崎総農試研報(農業) 9: 109-116.
郡司掛則昭・J.J. Neeteson	1993	(8-8) バレイショの収量及び窒素吸収に及ぼす窒素分施の影響のモデル解析.(8.畑・草地および園地土壌の肥沃度)	土肥要旨集 39: 109.(講要)
郡司掛則昭・J.J. Neeteson	1993	(17) バレイショの乾物生産および窒素吸収に及ぼす施肥窒素分施の影響.	土肥要旨集 39: 369.(九州支部講要, その2)
郡司掛則昭・J.J. Neeteson	1993	バレイショの乾物生産及び窒素吸収に及ぼす施肥窒素分施の影響.	九州農業研究 55: 62.
萩原 十・余吾卓也	1943	施肥方法が馬鈴薯の生育並に収量に及ぼす影響.	園学雑 14(3): 251-255.
萩原 十・余吾卓也	1943	馬鈴薯の冠水に関する実験.	園学雑 14(4): 314-316.
萩原雄真・小林 司・谷川 潤・出口哲久・市川伸次・岩間和人	2013	作土層におけるバレイショ根系の水分吸収パターン.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 87-88.(講要)
萩原雄真・谷川 潤・鈴木健太郎・出口哲久・市川伸次・岩間和人	2015	根量の異なるバレイショ2品種の作土層における水分吸収.	育種・作物学会北海道談話会報 55: 73-74.(講要)
萩原雄真・谷川 潤・鈴木健太郎・出口哲久・岩間和人	2015	バレイショ根系の品種間差異が作土層における土壌水分吸収におよぼす影響.	作物学会講要集 239: 100.(講要)
袴田正紀	1942	水田裏作馬鈴薯増収に関する研究.	農及園 17(4): 496-498.
浜島直巳	1950	菅平の火山灰土における馬鈴薯に対する燐肥の効果.	農及園 25(11): 1038.
花井雄次	1967	馬鈴薯を中心とした畑作物に及ぼす2,3の耕種改良法の効果について.	中国農業研究 35: 24-25.
花井雄次	1967	秋作馬鈴薯前作用大豆の品種選定について.	中国農業研究 35: 26-27.
原 秀雄	1947	ジャガイモ栽培上の実際問題に関する実験.	生物 2(2): 55-57.
橋本重久	1950	馬鈴薯と水稻代の肥培管理.	農産(家庭と農藝) 5(3): 14-15.
秦 多蔵	1940	有望なる馬鈴薯の二期作に就て(第2報).	農及園 15(8).
服部 弘	1954	知多の早出しジャガイモ栽培.	農耕と園芸 9(3): 23-25.
早川康夫・赤堀金平	1961	根室地方火山灰地の馬鈴薯に対する化成肥料ならびに有機質肥料の比較.	北農 28(8): 11-14.
早川康夫・赤堀金平	1963	根室地方火山灰地における馬鈴薯の窒素, リン酸, カリの肥効の推移.	北農 30(1): 11-14.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
早川康夫・赤堀金平	1963	生産地形成を前提とした根釧火山灰地根菜作物肥培法試験（第1報）馬鈴しょに対する三要素の肥効の変遷と肥培の要点.	北海道立農試集報 12: 37-45.
早崎正雄	1938	馬鈴薯除葉期が地上部並びに塊茎の発育に及ぼす影響.	農及園 13(10): 2233-2234.
林 茂樹・永井希隆・伊藤博武・吉田穂積・宮武勝美・山崎耕宇・小松輝行	2002	(17-16) 網走市における畑地生産力格差バレイショにおける土壌タイプ別の根系分布と収量性との関係. (17.畑地土壌肥沃度)	土肥要旨集 48: 112.(講要)
逸見彰男・小笠原 玉	1994	ジャガイモの生育に及ぼす人工ゼオライトとバーク堆肥の混合資材の施用効果.	農及園 69(3): 413-415.
賢理斯的墳 (ヘンリー・ステフェン), (後藤達三 譯)	1875	⑥馬鈴薯植付の事. (「農業問答(斯氏二」).	勸業寮, 東京, pp.12-14.
賢理斯的墳 (ヘンリー・ステフェン), (後藤達三 譯)	1875	⑨馬鈴薯を取り揚る事.「農業問答(斯氏三」).	勸業寮, 東京, pp.19-20.
千田尾松明	1887	寄書馬鈴薯栽培の説.	農業雑誌 12(1)(252): 9-10.
東田修司・佐々木利夫	1999	でん原用ばれいしょ品種「コナフブキ」に対する窒素追肥.	北海道立農試集報 77: 59-63.
東田修司・佐々木利夫	1999	馬鈴しょ品種「コナフブキ」の窒素追肥反応. (北海道支部講演会)	土肥学会講要集 45: 324.(講要)
東田修司・佐々木利夫	2006	羊蹄山麓地域におけるばれいしょ栽培法改善技術の実証 第2報 施肥改善の効果.	北農 73(1): 14-20.
東山広幸	2011	ジャガイモがゴロゴロとれる種イモの切り方と株間.	現代農業 90(3): 182-186.
東山啓三	1985	“バレイショ”,「北海道の野菜栽培技術<果菜・根菜編>」(八鍬利郎 編監修).	農業技術普及協会, 江別市, pp.302-318.
平 和男	2015	ジャガイモ培土談義 土壌水分とタイミングが命だ!	現代農業 94(4): 184-187.
平井義孝・市川信雄・長谷部俊雄	1970	(26) 畑地の有機物管理による生産力の向上に関する研究 第1報 2,3の作物の刈株およびばれいしょ茎葉が後作物に及ぼす影響.	土肥要旨集 16: 10.(北海道支部秋季講要)
平石勝善・岩田武司・栗山光春	1951	馬鈴薯の三要素適量試験 (第1報).	農及園 26(3): 371-372.
平野友五郎	1952	馬鈴薯の増収技術.	農業技術研究 6(2): 22-24.
広田知良	2010	気候変動(土壌凍結深変動)と野良イモの問題および対策.	いも類振興情報 103: 28-31.
広田知良	2013	土壌凍結深の制御による野良イモ対策技術の開発.	砂糖類・でん粉情報 14: 35-39.
堀切 学・岩間和人・鄭 虚・水上千春・寺内方克・実山 豊	2005	根量の異なるバレイショ2品種における土壌吸水量の推移.	育種・作物学会北海道談話会報 46: 75-76.(講要)
堀切 学・岩間和人	2005	バレイショにおける土壌含水率および根長密度を用いた吸水速度のモデル化.	育種・作物学会北海道談話会報 47: 99-100.(講要)
堀切 学・岩間和人・鄭 虚・水上千春・寺内方克・実山 豊	2006	根量の異なるバレイショ2品種における土壌吸水量の推移.	作物学会講要集 221: 200-201.(講要)
細田有造	1909	田地裏作としての馬鈴薯栽培実験.	農業雑誌 34(27)(1070): 427.
細井彌三郎・永井 喬	1942	馬鈴薯「男爵」種薯の国内自給を提唱すー(種薯更新に關する一考察).	白楊農誌 3(3): 87-92.
兵庫縣	1891	馬鈴薯. (「兵庫縣著名農産物栽培録」)	兵庫縣内務部, pp.56-57.
井邊秀男	1937	馬鈴薯の早熟栽培法.	農業世界 32(4): 121-

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
位田藤久太郎	1951	イモ類の発芽に及ぼす土壌条件に関する研究.	園学雑 20(2): 83-86.
井手宏和・泉 省吾	2003	春作バレイショ栽培における生分解性マルチの利用.	九州農業研究 65: 43.
家入 章・田中 保	1952	馬鈴薯の早植深値が早期収穫におよぼす影響.	九州農業研究 9: 75-76.
五十嵐 敏	1988	バレイショにおける窒素施肥反応と施用有機物の功罪.	育種・作物学会北海道談話会報 28: 23.(講要)
飯田次男・折目芳明	1949	十勝地方に於ける馬鈴薯肥料の窒素適量.	北農 16(3): 77-81.
池田 稔・小島勝次郎・前川 弘・塚本正男・楠原信行・知識敬道	1979	ジャガイモの乾燥(予措)法 …暖地ジャガイモの出荷前処理.	長崎総農試研報(農業) 7: 142-165.
池田 武・輪田 潔	1976	ジャガイモの匍枝の生長に関する研究 第1報 実生ジャガイモにおける腋芽の伸長方向について.	日作紀 45(2): 314-321.
池田 武・輪田 潔	1977	ジャガイモの匍枝の生長に関する研究 第2報 実生ジャガイモの腋芽の伸長方向と内生オーキシンとの関係.	日作紀 46(1): 125-130.
池田 武	1977	ジャガイモの匍枝の生長に関する研究 第3報 ジャガイモ植物の地上腋芽の匍枝化におよぼす生長調節物質の影響.	日作紀 46(2): 286-290.
池上 清	1950	馬鈴薯高度増収栽培法.	図解農業 2(11): 16-18.
育種談話会	1944	いも形成の機構からみた甘藷馬鈴薯の増収.	農及園 19(4): 447-450.
今井栄一・大高哲郎	1979	ばれいしょ「トヨシロ」の施肥量と収量.	東北農業研究 25: 71-72.
今村講平・辻 哲正・松本明彦・天野克幸・仁坂 悟・山田龍太郎・森元幸	2010	ジベレリン処理がバレイショの収量構成に及ぼす効果.	育種・作物学会北海道談話会報 51: 55-56.(講要)
今村講平・辻 哲正・鶴谷敏広・郷家一広・佐藤満福・森元幸 (誤植を訂正: 宏→広)	2011	ジベレリン処理によるバレイショ収量への効果.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 99-100.(講要)
稲見王郎・佐藤健吉	1939	馬鈴薯の生育各期における養分吸収利用状況.	農及園 14(7): 1733.
井上重陽・松浦正視	1952	爪哇薯苗の耐凍性.	日作紀 21(1・2): 140-141.
犬塚 正	1979	バレイショ若種いもの生産技術.	農及園 54(1): 49-52.
Ishibashi, K. and Hironaka, K.	1993	Effects of chemical date on the qual treatment and harvestity of potato tubers.	Res. Bull.Obihiro Univ. 18(3): 163-166.
石橋祐二・鶴内孝之・陣野久好・知識敬道	1979	ジャガイモの皮むけと緑化防止について(暖地ジャガイモの出荷前処理).	長崎総農試研報(農業) 7: 122-141.
石橋祐二・鶴内孝之・陣野久好	1979	ばれいしょの生育と皮むけ.	九州農業研究 41: 55.
(石田栄一・佐々木邦雄・加藤美文)	1960	種バレイショ検疫担当官のみた暖地2化性バレイショ増産上の4つの問題点.	神戸植物防疫情報 226: 125-136.
石田光之・村井一弘	2001	ジャガイモに見られる変異株の生育と塊茎形成特性.	園学雑 70(別2): 302.(講要)
石田茂樹	2011	バレイショのソイルコンディショニング栽培体系 石礫・土塊除去により収穫能率向上.(特集 野菜生産を省力化する)	機械化農業 3120(2011-05): 17-20.
石井哲士	1944	水田裏作馬鈴薯栽培の要訣.	農業 759: 8-14.
石井哲士	1946	馬鈴薯の水田裏作栽培法.(特輯 馬鈴薯の研究)	農及園 21(2): 59-63.
石井哲士	1950	“水田裏作馬鈴薯の栽培”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会編).	日本園芸中央会, pp.268-280.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
石川枝津子・石田茂樹・森 元幸	2006	除草剤をもちいたバレイショ早期培土栽培の雑草対策.	育種・作物学会北海道談話会報 47: 107-108.(講要)
石川瀧太郎	1917	馬鈴薯増収の一法.	農業世界 12(10): 112-
Ishimaru, K., Hirotsu, N., Kashiwagi, T., Madoka, Y., Nagasuga, K., Ono, K. and	2008	Overexpression of a maize SPS gene improves yield characters of potato under field conditions.	Plant Produc. Sci. 11(1): 104-107.
礒田昭弘・中世古公男・後藤寛治・西部幸男	1983	エネルギー利用効率から見たバレイショの乾物生産特性.	育種・作物学会北海道談話会報 23: 32.(講要)
礒田昭弘・村田 隆・居戸明利・中世古公男・後藤寛治	1984	バレイショの葉群構造と受光特性.	育種・作物学会北海道談話会報 24: 52.(講要)
Isoda, A., Nakaseko, K. and Gotoh, K.	1984	Some characteristics of two <i>Andigena</i> (<i>S. tuberosum</i> ssp. <i>andigena</i>) strains in terms of dry matter production and canopy structure.	Jpn. J. Crop. Sci. 53(4): 416-422.
礒田昭弘・中世古公男・後藤寛治	1985	バレイショ <i>Andigena</i> 系統 (W 553-4) の密度反応.	日作紀 54(4): 311-317.
礒田昭弘・中世古公男・後藤寛治・岩間和人・西部幸男	1985	バレイショ <i>Andigena</i> × <i>Tuberosum</i> 雑種集団の収量特性 .	日作紀 54(4): 387-392.
Isoda, A., Nakaseko, K., Gotoh, Iwama, K. and Nishibe, S.	1985	Performances of hybrid populations between <i>Andigena</i> and <i>Tuberosum</i> in potato.	Jpn. J. Crop. Sci. 54(4): 387-392.
礒田昭弘・中世古公男・後藤寛治	1986	バレイショ群落における受光態勢について.	日作紀 55(別2): 75-76.(講要)
礒田昭弘・中世古公男・後藤寛治	1987	バレイショにおける <i>Andigena</i> × <i>Tuberosum</i> 雑種系統の密度反応特性.	日作紀 56(別2): 161-162.(講要)
Isoda, A., Nakaseko, K., Gotoh, K. and Nishibe, S.	1987	Productivity of some hybrid strains between <i>Andigena</i> and <i>Tuberosum</i> in potato.	Jpn. J. Crop. Sci. 56(3): 379-386.
伊藤瑛悟・出口哲久・古川 恵・松本 学・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2010	圃場で栽培したバレイショ「コナフブキ」において主茎数が根形質に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 51: 45-46.(講要)
伊藤博武・八木史郎・宮武勝美・小松輝行	1998	ジャガイモの霜害からみた斜網地域の地形.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 69-70.(講要)
伊藤博武・宮武勝美・小松輝行	2005	1998年6月3日に北海道の斜網地域で発生したジャガイモの霜害から地形を読む.	日作紀 74(3): 364-368.
伊藤香織・岩間和人・実山 豊・長谷川利弘	2000	土壌水分条件がバレイショ栽培品種の根の形態に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 41: 71-72.(講要)
伊藤香織・蝦名恵利華・実山 豊・岩間和人・長谷川利弘	2001	バレイショ栽培品種における深さ別の根の量と活性.	育種・作物学会北海道談話会報 42: 103-104.(講要)
伊藤喜東太	1898	馬鈴薯に就て.	大日本農會報 197: 34.
伊藤正輔	1943	馬鈴薯の収量及熟期に及ぼす三要素の影響.	園学雑 14(1): 37- 44.
伊藤正輔・高橋総夫・桑原武司・匂坂昭吾・筒井 貢	1957	馬鈴薯の早期培土.	北農 24(2): 41-52.
伊藤 武	1991	バレイショの生育におよぼす浴光催芽期間中の気温の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 32: 34-35.(講要)
伊藤 武	1991	ばれいしょ収穫前の茎葉処理について.	いも類振興情報 29: 2-5.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
伊藤 武	1992	バレイショ植付時の催芽の脱落と生育収量.	育種・作物学会北海道談話会報 31: 10.(講要)
伊藤 武	1995	ばれいしょの培土について.	いも類振興情報 43: 22-24.
伊藤道秋	1985	バレイショの力学的性質に関する研究 (第1報) 外力と変形特性について.	北大農邦文紀要 14(3): 242-257.
伊藤道秋	1985	バレイショの力学的性質に関する研究 (第2報) 静荷重下での力学的性質.	北大農邦文紀要 14(3): 264-269.
井浦 徳 (司会)	1958	暖地の秋馬鈴薯栽培について. (討論会)	日作九支報 13: 54-56.
岩垣駛夫	1947	馬鈴薯種薯の Greensorouting に関する文献.	農及園 22(5): 252-254.
岩垣駛夫・岩間誠造	1948	馬鈴薯種薯の緑化の効果.	農及園 23(3): 185-186.
岩井 巖・池ヶ谷賢次郎・伊藤健蔵・衣斐慎司	1956	土壌の石灰及び加里飽和度が作物の収量並びに成分に及ぼす影響について (第2報) 馬鈴薯.	岐阜大農研報 7: 98-102.
岩間和人・中世古公男・後藤寛治	1977	バレイショにおける根系の研究 第1報 根乾物重の品種間差異.	育種・作物学会北海道談話会報 17: 29.(講要)
岩間和人・中世古公男・後藤寛治	1978	バレイショの根系に関する研究 第2報 根乾物重の生育における推移.	育種・作物学会北海道談話会報 18: 5.(講要)
岩間和人・中世古公男・後藤寛治	1979	根系の大小がバレイショの生育に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 19: 33.(講要)
岩間和人・中世古公男・後藤寛治	1979	バレイショ根系の塹壕法による観察.	育種・作物学会北海道談話会報 19: 34.(講要)
岩間和人・中世古公男・後藤寛治・西部幸男・梅村芳樹	1979	バレイショ根系の品種間差異と地上部の生育および塊茎収量との関係.	日作紀 48(3): 403-408.
岩間和人・日沖憲治・磯田昭弘・治後藤寛治	1980	遮光処理と施肥水準がバレイショの生育に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 20: 14.(講要)
岩間和人・中世古公男・後藤寛治・西部幸男	1980	バレイショにおける根系の地域間差異.	日作紀 49(3): 495-501.
岩間和人・桶 泰誠・後藤寛治	1981	バレイショ根系の土壌内分布.	育種・作物学会北海道談話会報 21: 11.(講要)
Iwama, K., Nakaseko, K., Isoda A., K., Gotoh, K. and Nishibe, Y.	1981	Relations between root system and tuber yield in the hybrid population of the potato plants.	Jpn. J. Crop. Sci. 50(2): 233-238.
Iwama, K., Nakaseko, K., Isoda A., Gotoh, K. and Nishibe, Y.	1981	Comparison of root systems among hybrid populations derived from different crosses in potato (<i>Solanum tuberosum</i>).	Jpn. J. Crop. Sci. 50(3): 365-372.
岩間和人・中世古公男・磯田昭弘・後藤寛治・西部幸男	1981	バレイショ交配分離集団における根系と塊茎収量との関係.	日作紀 50(2): 233-238.
岩間和人・中世古公男・磯田昭弘・後藤寛治・西部幸男	1981	異なるバレイショ交配分離集団間における根系の比較.	日作紀 50(3): 365-372.
岩間和人・中世古公男・後藤寛治・西部幸男	1981	バレイショ根系の施肥水準と遮光処理に対する反応.	北大農邦文紀要 12(3): 176-182.
岩間和人・中世古公男・後藤寛治・西部幸男	1984	バレイショにおける断根処理の生育・収量に及ぼす影響.	三重大教育研究紀要(自然科学) 35: 47-51.
Iwama, K. and Hasegawa, T.	1985	Relationships between respiration rate and morphological characters in potato roots.	Bull. Fac. Educ., Mie University (Natural science) 36: 123-129.
岩間和人・仲田昭一	1986	内視鏡によるバレイショの根の生態観察.	日作紀 55(別2): 223-224.(講要)
岩間和人	1987	バレイショの春作と秋作ならびに秋作年次間における根乾物量および根活力の差異と地上部および塊茎生長との関係.	日作紀 56(別1): 70-71.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岩間和人・西部幸男	1987	バレイショ根系育種の素材開発に関する研究 第1報 根重, 根重/葉重比および根活力における栽培種と近縁野生種との比較.	日作紀 56(別1): 72-73.(講要)
岩間和人・仲田昭一	1987	内視鏡によるバレイショ根の観察.	日作紀 56(3): 411-412.
岩間和人	1988	バレイショの根乾物量, 根形態, 根長および根活力におよぼす施肥量の影響.	日作紀 57(別2): 57-58.(講要)
Iwama, K.	1988	Difference in root growth of potato plants among years and cropping seasons.	Jpn. J. Crop. Sci. 57(2): 346-354.
Iwama, K.	1988	The effects of fertilizer rates on dry weight, morphology, length and activity in potato root.	Jpn. J. Crop. Sci. 57(4): 759-764.
Iwama, K. and Nishibe, S.	1989	Comparison of root characters among cultivated potatoes (<i>Solanum tuberosum</i>) and their wild relatives .	Jpn. J. Crop. Sci. 58(1): 126-132.
Iwama, K. and Nishibe, S.	1989	Comparison of yield characters among the hybrid populations of potato having different wild relatives in their ancestry.	Jpn. J. Crop. Sci. 58(3): 404-408.
岩間和人	1990	バレイショにおける根の窒素吸収と施肥量との関係.	日作紀 59(別1): 24-25.(講要)
岩間和人・高田 修・大波正寿・中世古公男	1992	バレイショにおける地上部および地下部生長の相互関係 一日長の変化に対する諸形質の反応.	日作紀 61(別1): 110-111.(講要)
岩間和人・中世古公男	1992	ダイナゲージによるバレイショの茎流速の測定.	日作紀 61(別2): 169-170.(講要)
岩間和人・高田 修・川島浩樹・中世古公男	1993	バレイショにおける茎流速の日変化 - ポット個体における土壌の乾燥区と適湿区の比較 - .	日作紀 62(別2): 201-202.(講要)
Iwama, K., Hukushima, T., Yoshimura, T. and Nakaseko, K.	1993	Influence of planting density on root growth and yield in potato.	Jpn. J. Crop. Sci. 62(4): 628-635.
岩間和人・茂木紀昭・市川伸次・川嶋浩樹・金子 正	1994	1994年の北大農場におけるバレイショ塊茎の2次生長と土壌水分条件との関係.	育種・作物学会北海道談話会報 35: 32-33.(講要)
Iwama, K., Takata, O., Ohnami, M. and Nakaseko, K.	1995	Effects of scion and stock on root growth of grafting plants between two potato varieties with different root mass.	Jpn. J. Crop. Sci. 64(1): 86-92.
岩間和人	1996	植物の根に関する諸問題 (33) バレイショの根系.	農及園 71(4): 515-522.
岩間和人・佐藤 肇・山口淳一・高柳 滋	1997	バレイショとサイトウにおける茎表面電位の測定.	育種・作物学会北海道談話会報 38: 36-37.(講要)
岩間和人・金子 正・安達真平・井上哲也・茂木紀昭・市川伸次	1997	バレイショ品種間の接木固体の塊茎の形に及ぼす穂木と台木, および土壌水分条件の影響.	北大農場研報 30: 21-30.
Iwama, K., Umemura, T. and Umemura, Y.	1998	A simple method for selection of potato lines with a higher root / total ratio at an early stage in the seedling generation.	Plant Produc. Sci. 1(4): 286-287.
Iwama, K.	1998	Development of nodal and lateral roots in potato under field conditions.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 68(1): 33-44.
岩間和人	2008	バレイショ根系の科学 ～乾燥抵抗性品種の育成～.	いも類振興情報 96: 8-11.
岩間和人	2011	バレイショの非生物的ストレス (1) 根系の調査方法.	北農 78(3): 252-257.
岩間和人	2011	バレイショの非生物的ストレス (2) 作物間および品種間での根系の差異.	北農 78(4): 372-379.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岩間和人	2011	北海道におけるばれいしょ栽培技術の新展開.	でん粉情報 47: 1-6.
岩松清四郎	1951	早掘り馬鈴薯.	近代農業 6(1): 20-21.
岩松清四郎	1952	馬鈴薯栽培の要領と上手なねらい.	近代農業 7(2・3): 20-21.
岩村優子	2014	ジャガイモ栽培におけるボカシ肥の効果.	三重大学フィールド研究・技術年報 13: 7-10.
岩佐倫希・三浦紗土・岩間和人・柏木純一・実山 豊・市川伸次	2008	FTSW手法を用いての乾燥条件下におけるバレイショの根吸水能力と気孔反応性の評価.	育種・作物学会北海道談話会報 49: 67-68.(講要)
岩佐倫希・三浦紗土・吉川亜紗子・市川伸次・柏木純一・実山 豊・岩間和人	2009	根量の異なるバレイショ品種間における蒸散特性の差異.	育種・作物学会北海道談話会報 50: 77-78.(講要)
岩佐倫希・三浦紗土・吉川亜紗子・柏木純一・実山 豊・岩間和人・市川伸次	2010	根量の異なるバレイショ品種における乾燥ストレスに対する蒸散反応性の比較 1. 飽差に対する反応.	作物学会講要集 229: 140-141.(講要)
岩佐倫希・三浦紗土・吉川亜紗子・柏木純一・実山 豊・岩間和人・市川伸次	2010	根量の異なるバレイショ品種における乾燥ストレスに対する蒸散反応性の比較 2. 土壌乾燥に対する反応.	作物学会講要集 229: 324-325.(講要)
岩田正利・田中 宏・森田 勇	1959	窒素供給期間の差異がバレイショの生育, 収量, 品質に及ぼす影響.	園学雑 28(1): 23-34.
岩田正利	1968	硫酸塩・塩化物がバレイショの生育・収量・品質に及ぼす影響.	農及園 43(12): 1889-1890.
Iwata, Y., Hirota, T., Yazaki, T., Iwasaki, A., Suzuki, T., Inoue, S. and Usuki, K.	2015	Effects of saturated hydraulic conductivity on volunteer potato (<i>Solanum tuberosum</i> L.) tuber survival.	Soil Sci. Plant Nutri. 61(2): 235-241.
泉 久司・山下米治・斉藤 隆・松尾信由・石本光明・塚野治夫・菅原清康	1980	異なる作業体系による農作物の生産性に関する調査 第1報 バレイショの生産性について.	新潟大農研報 32: 143-150.
泉 久司・山下米治・斉藤 隆・松尾信由・石本光明	1983	産地を異にするバレイショ種子の生産量に関する試験.	新潟大農研報 35: 85-90.
泉 省吾・沢畑 秀	1985	バレイショ種イモの予措の違いとマルチ栽培の収量について.	九州農業研究 47: 51.
泉 省吾・藤原帝見・靄内孝之	1987	春バレイショに対するメデルシートの適用性.	九州農業研究 50: 56.
泉 省吾	1989	ばれいしょ収量の年次変化と気象の関係について.	長崎総農試研報(農業) 15: 21-28.
泉 省吾・寺島正彦・田 渕尚一・宮 寄朋浩・鳥羽由紀子・寺井利久・永田浩久・森 憲昭・藤田章一郎・鳥居謙吾・入口義春	2001	重粘土畑地帯におけるバレイショを中心とした輪作体系および高性能省力機械化体系による栽培技術の実証と経営評価.	長崎総農試研報(農業) 27: 1-80.
神宮喜之助	1894	馬鈴薯試作成績.	農業雑誌 19(13)(516): 205.
角谷太郎	1944	馬鈴薯秋作栽培.	農業 759: 25-31.
角谷太郎	1946	二期作馬鈴薯の増収栽培法.(特輯 馬鈴薯の研究)	農及園 21(2): 64-66.
角谷太郎	1950	土壌の乾湿が馬鈴薯の生育並に収量に及ぼす影響について.	岡山農試臨時報告 47: 307-318.
鹿児島県農政部農産園芸課	2010	鹿児島県におけるばれいしょ生産の概要.(特集 ばれいしょ)	特産種苗 7: 24-26.
蠶農園(蚕農園)	1906	馬鈴薯栽培法.	農業雑誌 31(27)(962): 428.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
梶山 努	2012	“2節-(2)-3) 品質向上に向けた取組”, III章 ジャガイモの生産と普及,「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.195-198.
鎌田信昭・佐藤忠士・古沢典夫・大野康雄	1972	馬鈴薯マルチ栽培に関する研究 第1報 効果と問題点.	東北農業研究 13: 154-156.
古沢典夫・神山芳典・柁 文夫・畠山 保	1972	馬鈴薯マルチ栽培に関する研究 第2報 輪作改善上の意義と経済性.	東北農業研究 13: 156-159.
鎌田信昭・神山芳典・佐藤忠士	1975	バレイショマルチ栽培に関する試験 第3報 マルチ様式について.	東北農業研究 16: 131-133.
龜山友次	1928	馬鈴薯の栽培法.	農業世界 23(13): 54-
兼子忠平	1915	馬鈴薯の増収法.	日本農業雑誌 11(6): 50-55.
金子 正・川嶋浩樹・岩間和人・茂木紀昭・市川伸次	1995	土壌水分条件が根量の異なるバレイショ2品種の蒸散速度, 生長パラメータおよび塊茎収量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 36: 138-139.(講要)
金目武男	1961	早掘バレイショに関する試験 -2-	神奈川農試園芸分場研報 9: 79-82.
金目武男	1962	早掘バレイショに関する試験 -3-	神奈川園試研報 10: 71-76.
兼城友彰・岡田 薫・不破秀明・郷家一広・岩間和人	2015	バレイショ塊茎の打撲症状軽減を目的とした水溶性カルシウム剤の施与が塊茎内カルシウム含量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 55: 79-80.(講要)
鹿子木東郎	1943	馬鈴薯の増収栽培.	農業世界 38(4): 79-
笠原和輔・久保貞次郎・甘利賢輔・田中由之助	1888	馬鈴薯の再植法.	農業雑誌 13(27)(314) :430-431.
葛西久四郎・横井正治	1986	砂丘地におけるバレイショの早掘栽培法 第1報「ワセシロ」の7月上旬どり栽培.	東北農業研究 39: 265-266.
葛西久四郎・横井正治	1988	砂丘地におけるバレイショの早掘栽培法 第2報 施肥法とマルチ期間.	東北農業研究 41: 301-302.
笠井忠行	1941	秋作馬鈴薯の栽培と種薯の関係.	農及園 16(7): 1241.
柏木純一・岩間和人・長谷川利弘	2000	バレイショの実生世代における根長の表現型変異の環境条件に対する安定性.	日作紀 69(3): 332-336.
片山克己	1988	暖地バレイショの良品生産技術.	九州農業研究 50: 1.
片山俊雄・森 弘	1942	暖地馬鈴薯の種薯価値増進に関する研究.	農及園 17(11): 1385-1388.
加藤仁平	1950	馬鈴薯栽培に於ける一・二の問題.	農村 28(3): 14-15.
加藤仁平	1954	馬鈴薯の品種と種薯生産力.	農村 32(3): 11-12.
加藤仁平・那須恵二郎	1961	これからの用途別馬鈴薯品種の選定.	農及園 36(3): 513-518.
加藤行作	1934	七 馬鈴薯(ポテト・じやがいも). (「和洋蔬菜の栽培」)	東光社, 東京, pp.57-
加藤美雪・岩間和人・長谷川利弘・中世古公男	1998	土壌水分条件がバレイショの根呼吸速度に及ぼす影響 一栽培品種と根量選抜系統の比較一.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 61-62.(講要)
加藤 徹・福元康文・浜田岩男・森本 亨	1981	野菜の生育肥大に及ぼす石灰資材の影響について キュウリ・サツマイモ・ジャガイモ・タマネギについて.	園学中四国支部要旨. 20: 50.(講要)
加藤俊次郎	1946	馬鈴薯に重点を置く栽培.	農業世界 41(7): 34-
勝田長次	1934	水田二毛作としての馬鈴薯の催芽栽培.	石川県農會報 236号.
川岸幸男	1964	秋馬鈴薯栽培限界付近における水田裏作導入試験.	福井農事試報告 1: 105-113.
河合一郎	1949	エチクロによる馬鈴薯二期作栽培.	農及園 24(7): 491-494.
河合一郎	1950	再び秋作馬鈴薯の催芽について.	農業技術研究 4(8): 24-25.
川合貴雄・市川裕雄	1983	ジャガイモ栽培におけるプラスチックマルチの効果.	園学中四国支部要旨. 22: 31.(講要)
川上幸治郎	1939	岩手縣に於ける馬鈴薯の栽培 特に秋種の効果及生産.	農及園 14(1): 413-421.
川上幸治郎	1939	馬鈴薯の栽培及び利用.	大日本農学会, 東京.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
川上幸治郎	1940	酒精用馬鈴薯の増産要訣.	農及園 15(1): 401-410.
川上幸治郎	1946	種馬鈴薯選抜に関する知見.	農及園 21(3): 95-98.
川上幸治郎	1949	秋作ジャガイモの催芽技術.	農業日本 4(8): 28-30.
川上幸治郎	1949	馬鈴薯の栽培技術.	富民 21(3): 14-16.
川上幸治郎	1949	秋馬鈴薯の増収技術.	富民 21(8): 9-11.
川上幸治郎	1950	バレイショの収穫とその後の取扱い方.	富民 22(7): 48-49.
川上幸治郎	1950	バレイショの暖地採種の諸問題.	富民 22(9): 13-17.
川上幸治郎	1950	馬鈴薯の栽培法に関する研究.	農学 4(5): 16-17.
川上幸治郎	1950	ジャガイモ栽培にとりかかる人へ.	農業毎日 4(2): 20-
川上幸治郎	1950	馬鈴薯冬の貯蔵の急所.	農業毎日 4(11): 40-
川上幸治郎	1950	今準備すれば質のよいジャガイモを安く 作ることが出来る.	農耕と園芸 5(10): 30-31.
川上幸治郎	1951	春作馬鈴薯の退化防止.	東北農業 55: 2-16.
川上幸治郎	1951	春作馬鈴薯における種薯の退化現象.	東北農業 5(1-2): 2-16.
川上幸治郎	1952	バレイショ取扱いの要領.	富民 24(7): 61-63.
川上幸治郎	1952	“第6章 馬鈴薯の栽培”, 食用作物篇 い もの部, 菽穀の部, 「綜合作物学」.	地球出版社, 東京, pp.138- 158.
川上幸治郎	1953	おいしいジャガイモの品種と作り方.	農村文化 32(3): 25-29.
川上幸治郎	1953	有望な秋バレイショ経営.	富民 25(9): 54-58.
川上幸治郎	1954	バレイショ増収の設計と技術.	富民 26(2): 34-37.
川上幸治郎	1954	秋馬鈴薯の栽培と経営.	農及園 29(8): 995-998.
川上幸治郎	1954	安全多収田作ジャガイモの栽培.	農耕と園芸 9(2): 40-41.
川上幸治郎	1954	秋から冬にかけてのバレイショ取扱いの 急所.	農業世界 49(10): 128-130.
川上幸治郎	1954	馬鈴薯の栽培型と気象要素 (予報).	日作紀 23(2): 135. (講要)
川上幸治郎	1954	種馬鈴薯の選び方.	農及園 29(1): 19-22.
川上幸治郎	1955	春バレイショの田作りと経営.	富民 27(2): 24-26.
川上幸治郎	1955	暖地のバレイショ栽培の使命.	蔬菜 5(1):
川上幸治郎	1955	春バレイショの増収栽培.	農業世界 50(3): 114-
川上幸治郎	1955	秋バレイショの新品種と栽培上の注意.	農業世界 50(8): 70-
川上幸治郎	1956	春ジャガイモの新しい栽培技術.	農業世界 51(3): 85-
川上幸治郎	1956	他作物より利益の多い 秋ジャガイモの栽 培と輪作.	農業世界 51(8): 105-
川上幸治郎	1956	早稲跡の秋バレイショ栽培.	富民 28(7): 41-44.
川上幸治郎	1956	わが国馬鈴薯の作型と栽培改善.	農及園 31(1): 29-32.
川上幸治郎	1956	馬鈴薯切口に草木灰塗布の可否. (Q&A)	農及園 31(1): 100.
川上幸治郎	1956	秋作バレイショ進出の重要性 (1).	農及園 31(11): 1497-1500.
川上幸治郎	1956	秋作バレイショ進出の重要性 (2).	農及園 31(12): 1631-1635.
川上幸治郎	1956	季節からみたわが国バレイショの作型.	日作紀 24(4): 262-263.
Kawakami, K.	1956	Types of potato cultivation in Japan in view of its growing season.	Jpn. J. Crop. Sci. 24(4): 262- 263.
川上幸治郎	1956	バレイショ栽培と施肥.	農業昭和 60: 25-29.
川上幸治郎	1957	バレイショ栽培改善の問題点.	富民 29(6): 48-51.
川上幸治郎	1957	イネ早取跡の秋バレイショ栽培法.	農及園 32(7): 1022-1026.
川上幸治郎	1957	イネ早取跡の秋バレイショ栽培法.	農及園 32(8): 1175-1179.
川上幸治郎	1958	秋ジャガイモの増収と経営.	富民 30(7): 50-56.
川上幸治郎	1958	秋バレイショの増収技術 (1).	農及園 33(7): 1048-1052.
川上幸治郎	1958	秋バレイショの増収技術 (2).	農及園 33(8): 1197-1201.
川上幸治郎	1959	秋作バレイショ耕種改良の問題点 (1).	農及園 34(7): 1089-1092.
川上幸治郎	1959	秋作バレイショ耕種改良の問題点 (2).	農及園 34(8): 1224-1228.
川上幸治郎	1960	春夏作バレイショ改良の問題点.	農及園 35(2): 349-354.
川上幸治郎	1960	早とりジャガイモの栽培と経営.	農業世界 55(1): 75-

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
川上幸治郎	1966	種バレイショの加令に関する研究 (IV) 貯蔵温度による加令経過と生理性の変化.	日作紀 34(3): 345.(講要)
川又是好・安達一朗	1941	除莖茎挿木に依るバレイショ栽培.	農及園 16(5): 879.
川廷謹造	1952	覆土と土寄せを工夫した馬鈴薯の増収栽培法.	図解農業 4(2): 15-19.
川廷謹造・土屋敏夫・小林忠和	1952	馬鈴薯の生育特に地下部の発達に及ぼす覆土の影響.	園学雑 20(3・4): 223-230.
川廷謹造・北野茂夫・白沢義信	1959	畑作除草作業体系の確立に関する研究 第I報 平畦作りの馬鈴薯の収量に及ぼす雑草の影響.	日作紀 27(2): 252-254.
川嶋浩樹・岩間和人・中世古公男	1993	バレイショにおける気孔抵抗の生育にともなう推移.	育種・作物学会北海道談話会報 34: 106-107.(講要)
川嶋浩樹・岩間和人・正木庸子・中世古公男	1994	土壌水分条件が根量の異なるバレイショ2品種の生育と収量におよぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 35: 34-35.(講要)
川嶋浩樹・岩間和人・金子 正・正木庸子・中世古公男	1997	バレイショにおける葉の拡散抵抗の日変化, 生育に伴う推移ならびに葉の表裏面間および葉位間の差異.	日作紀 66(2): 235-241.
川嶋次夫・室田 昇	1964	(10) 秋まき馬鈴薯に対する塩基施用の効果.	土肥要旨集 10: 20.(九州支部講要)
木口忠彦・相馬ちひろ・藤田涼平・中山 輝	2013	ポテトチップ用バレイショ新品種「北育15号」における施肥量・栽植密度反応の地域間差異.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 99-100.(講要)
木原唯幸・田中茂雄・三好利臣・池田一徹	1991	(11) 玄武岩系畑土壌でのキャベツ, バレイショ連作における厩肥及びりん酸施用効果.	土肥要旨集 37: 357.(九州支部講要, その2)
木家正治	1938	馬鈴薯の霜除式早採り栽培.	農業世界 33(5): 164-
菊池健太郎・小林輝和・田中 拡・清水祐貴・三谷生雄・吉田穂積	2009	リン酸及びカリウム肥料無施肥による種バレイショ生産への影響.	東京農大網走寒冷地農場年報「トウフツ」 11: 7-11.
菊池健太郎・小林輝和・田中拡・池田拓真・中丸康夫・伊藤博武・笠島真也・吉田穂積	2012	淡色黒ボク土壌におけるリン酸・カリウム無施肥がバレイショの生育と収量及びジャガイモそうか病に与える影響.	日作紀 81(4): 404-413.
菊地庄兵衛	1890	馬鈴薯栽培法.	農業雑誌 15(6)(365): 90-91.
君島 崇・田中 明	1980	17. 馬鈴薯のsource-sink関係における葉と塊茎の方向性について.	土肥要旨集 26: 217.(北海道支部講要)
君島 崇・田中 明	1981	バレイショにおける塊茎のsink能.	土肥誌 52(5): 408-412.
木村文彦・岩間和人・長谷川利拡・中世古公男	1998	バレイショの気孔密度に関する研究 第1報 生育に伴う推移と土壌水分条件の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 63-64.(講要)
木村吉郎	1942	馬鈴薯の増収栽培法.	農業世界 37(3): 64-
木村吉郎	1953	馬鈴薯の収量と気温との関係.	日作紀 22(1・2): 121-122.
岸本博二	1955	バレイショの冬まき栽培.	富民 27(12): 36-39.
岸本邦義・久下志朗・橋爪浩和・保坂和良	1995	当地に適するバレイショ品種の栽培比較試験 (1) 1994年度試験成績.	神戸大農場報告 5: 1-3.
串崎光男・今村信子	1962	馬鈴薯の生育分析に関する考察.	北海道農試彙報 77: 11-14.
北見鎌吉	1892	馬鈴薯栽培法.	農業雑誌 17(15)(446): 235-236.
北野保樹・佐田 満・室園正敏	1965	馬鈴しよ亀裂いもの種いも価値について.	九州農業研究 27: 75.
北野保樹・佐田 満	1969	暖地馬鈴しよ品種の春作における萌芽促進と生育収量.	日作九支報 32: 102-103.(講要)
小林 茂	1963	馬鈴薯作における雑草防除試験 第1報.	北農 30(8): 16-18.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
小林 茂・外石 昇	1965	馬鈴薯作における雑草防除試験 第2報 DPAの生育期処理が除草効果並びに馬 鈴薯の生育収量に及ぼす影響につい て.	北農 32(7): 15-18.
小林 司・谷川 潤・出口 哲久・市川伸次・河合 孝雄・岩間和人	2012	日長時間および種イモの齢がバレイシ ョの塊茎および根の生育に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会 報 53: 35-36.(講要)
小林 司・谷川 潤・萩原 雄真・出口哲久・市川 伸次・河合孝雄・岩間 和人	2013	種イモの齢および植え付け時期がバレイ ショ品種の根および塊茎の生長に及ぼす 影響.	育種・作物学会北海道談話会 報 53: 91-92.(講要)
小島 誠・大津英子・石 田茂樹	2006	(10) ばれいしょ全粒種いも栽培における 品種間差.	土肥要旨集 52: 234.(北海道 支部講要)
小島 茂	1941	馬鈴薯種薯の節約方法に就て.	農及園 16(11): 1806.
小島 茂	1943	秋馬鈴薯の栽培.	農及園 18(2): 205-208.
小島 茂	1943	馬鈴薯の採種栽培について.	農及園 18(6): 667-668.
小島悠子・石本光明・ 伊藤道秋・関 外雄・金 野隆光	1999	(17-14) スラリーおよび厩肥の長期連用 土壌の特性 第1報 バレイショの生育・収 量と土壌の養分供給能. (17.畑地土壌肥 よく度)	土肥要旨集 45: 194.(講要)
小玉泰生・森 清文・福 元伸一	2009	バレイショ新品種「らんらんチップ」の暖地 における栽培特性.	九州農業研究発表会要旨集 72: 27.(講要)
匂坂昭吾	1955	馬鈴薯の電戟栽培について.	北農研究抄報 2: 77-78.
国分牧衛・朝日幸光	1983	施肥量がバレイショ品種の乾物生産と分 配に及ぼす影響.	東北農業研究 33: 93-94.
小松徹郎・須藤孝久	1952	馬鈴薯間の水稲直播試験成績.	東北農業 5(5・6): 177-179.
小村国則・沢畑 秀	1982	二期作馬鈴しよの生育経過型に関する研 究 第1報 生育経過型の品種間差異.	日作九支報 49: 73-76.
小村国則・沢畑 秀	1983	二期作馬鈴しよの生育経過型に関する研 究 第2報 生育経過型の春秋作間差異.	日作九支報 50: 67-70.
小村国則・沢畑 秀	1983	マルチ栽培が馬鈴しよの生育に及ぼす影 響.	九州農業研究 45: 32.
小村国則	1981	水田春作マルチ栽培の種馬鈴薯が秋作 での生産力に及ぼす効果.	九州農業研究 43: 48.
小村国則・沢畑 秀・西 山 登・池田 稔・田渕尚 一	1982	北海道産と暖地秋作産種馬鈴薯の春作 での比較.	九州農業研究 44: 45.
小村国則・沢畑 秀	1982	二期作馬鈴しよの生育経過に関する研究 第1報 生育経過型の品種間差異.	日作九支報 49: 73-76.
小村国則	1985	春作バレイショにおける秋作産種イモの 浴光ならびに温蔵処理効果.	九州農業研究 47: 50.
小村国則	1987	二期作バレイショ品種の貯蔵温度と休眠 期間.	九州農業研究 49: 70.
小村国則・泉 省吾・田 渕尚一	1987	バレイショ新品種「メイホウ」の生育特性に ついて 第1報 春作での生育特性.	九州農業研究 50: 54.
小村国則・泉 省吾・田 渕尚一	1989	バレイショ新品種「メイホウ」の生育特性に ついて 第2報 秋作での生育特性.	九州農業研究 51: 40.
小村国則・田渕尚一・ 茶谷正孝	1991	バレイショ栽培における強酸性土壌への 炭酸カルシウムの施用効果.	九州農業研究 53: 45.
小村国則	1993	バレイショの芽の伸長に及ぼす貯蔵温度 の影響.	九州農業研究 55: 46.
小村国則・茶谷正孝・ 田渕尚一・土井教至	1993	強酸性土壌への石灰質資材の施用が収 穫後のバレイショ種いもの芽の伸長に及 ぼす効果.	九州農業研究 55: 47.
小村国則	2012	“2節-(1)-2) 暖地春作, 3) 秋作”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事 典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.177- 179, 179-181.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
今 久・中山敬一	1993	バレイショ植被の成長が地温に及ぼす影響について.	千葉大園学報 47: 171-175.
今 久・中山敬一・松岡延浩	1996	バレイショ塊茎重に基づくマルチ施用による最適植付日に関するシミュレーション.	千葉大園学報 50: 161-167.
今 友親	1986	寒地 (バレイショ). (いも作雑草防除の現状と問題点)	雑草研究 31(4): 259-265.
河野 清	1960	バレイショに対するジベレリンの処理試験 (第1報) 処理濃度と時間について.	九州農業研究 22: 191.
河野 清	1960	バレイショに対するジベレリンの処理試験 (第2報) 品種間差異と処理時期について.	九州農業研究 22: 191-192.
河野照義	1946	暖地馬鈴薯品種と種薯自給.	農及園 21(10): 531-534.
越野郁夫	1961	暖地馬鈴薯栽培の改善.	農業技術 16(11): 525-527.
古宇田清平・小野正夫・五十嵐清平	1935	馬鈴薯発育相の研究と之が合理的栽培法 [1].	農及園 10(3): 775-780.
古宇田清平・小野正夫・五十嵐清平	1935	馬鈴薯発育相の研究と之が合理的栽培法 [2].	農及園 10(4): 963-975.
古宇田清平	1956	馬鈴薯秋作種薯の再利用に就いて (予報).	日作紀 24(4): 342. (講要)
小浦拓馬・市川伸次・岩間和人	2012	バレイショの有機栽培において根量が成育および収量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 31-32. (講要)
小浦拓馬・市川伸次・岩間和人	2013	バレイショの有機栽培において根量の増加が窒素吸収を促進した.	作物学会講要集 235: 120-121. (講要)
古宇田清平	1930	馬鈴薯栽培の一新法.	農業世界 25(13): 22-
小山睦寛	1985	“第Ⅵ章 早掘り栽培”, 北海道のジャガイモの栽培技術 - 食用・加工食品用編 - (砂田喜代志 編・監修).	農業技術普及協会, 江別市, pp.99-113.
小山忠男・吉田成春	1960	馬鈴薯の塊茎生産ならびに澱粉形成に及ぼす前作と施肥の影響.	帯大研報 (第1部) 3(2): 232-242.
久保 佐土美	1932	馬鈴薯の催芽栽培と無催芽栽培に於ける限界収穫期及び限界収量の比較.	農及園 7(9): 1685.
久保 佐土美	1932	有利なる馬鈴薯の催芽栽培法.	農及園 7(12): 2548.
久保 佐土美	1943	馬鈴薯栽培上の若干の注意.	長野縣農會報 371.
久次米邦蔵 (述), 大塚庄太郎 (記)	1904	(十) 馬鈴薯. (「園藝講話筆記」)	福井縣内務部, pp.79-82.
久木村 久市	1965	バレイショの葉面積指数と乾物生産におよぼす栽植密度と施肥水準の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 5: 10. (講要)
國本亜矢・加藤 拓・谷昌幸	2010	(4) 堆肥とリン酸肥料の混合施用がバレイショの収量と養分吸収に及ぼす影響.	土肥要旨集 56: 239. (北海道支部講要)
倉上要太郎	1921	馬鈴薯増収法.	日本農業雑誌 17(6): 41-43.
Kurihara, H., Kuroda, T. and Kinoshita, O.	1978	Morphological bases of shoot growth to estimate tuber yields with special reference to phytomer concept in potato plant.	Jpn. J. Crop. Sci. 47(4): 690-698.
栗原 浩・西川広栄	1960	馬鈴薯の生育相に関する研究.	東北農業研究 2: 110-111.
栗原 浩・大久保隆弘	1960	馬鈴薯の生育相に関する研究 第Ⅱ報 器官別生長について.	日作紀 29(1): 117-120.
栗原 浩・鈴木次男	1961	馬鈴薯の生育相に関する研究 第Ⅲ報 播種期の相違が地上部並びに地下部の生育に及ぼす影響.	日作紀 29(3): 362-364.
栗原 浩・西川広美	1961	馬鈴薯の生育相に関する研究 第Ⅳ報 施肥位置並びにその施用割合の相違が馬鈴薯の生育収量に及ぼす影響.	日作紀 30(1): 101-105.
栗原 浩・田端建司	1961	馬鈴薯の生育相に関する研究 第Ⅴ報 栽植密度・施肥量ならびに1株当りの茎数の相違と生育・収量との関係.	日作紀 30(3): 215-219.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
栗原 浩・大久保隆弘	1962	馬鈴薯の生育相に関する研究 第VI報 深耕条件下での施肥ならびに燐酸の多肥が馬鈴薯の生育および収量におよぼす影響.	日作紀 31(1): 65-68.
栗原 浩・黒田俊郎・木下 収	1978	Phytomer (植物単位)よりみたジャガイモの形態的規則性と塊茎収量.	日作紀 47(4): 690-698.
栗原 浩・西川広栄・田畑建司・大久保隆弘	1963	馬鈴薯の栽培条件と生育との関係に関する解析的研究.	東北農試研報 28: 143-200.
栗原 浩・西川広栄	1963	機械化深耕条件下における馬鈴薯の追肥の合理化に関する研究 1. 馬鈴薯の施肥位置及びその割合の相違が生育収量に及ぼす影響.	東北農試研究速報 1: 26-29.
栗原 浩・田端建司・大久保隆弘	1964	栽培の理論に基づいたばれいしょの計画栽培について 一食用, 種いも用, 飼料用ばれいしょおよびそさい地帯向秋作自家採種栽培法一.	東北農試研究速報 2: 13-15.
栗原 浩・大久保隆弘	1964	ばれいしょに対する有機物並びに燐酸施用の栽培学的意義に関する研究 第1報 深耕条件における堆肥ならびに燐酸の多施がばれいしょの生育および収量におよぼす影響.	東北農試研究速報 2: 17-21.
栗原 浩・大久保隆弘	1964	ばれいしょに対する有機物並びに燐酸施用の栽培学的意義に関する研究 第2報 深耕条件における堆肥ならびに燐酸の多施がばれいしょの体内成分におよぼす影響.	東北農試研究速報 2: 23-28.
栗原 浩	1967	バレイショ栽培の機械化とその問題点.	農及園 42(1): 33-36.
栗原勝藏	1933	水田裏作 馬鈴薯の早採法.	農業世界 28(1): 81-
黒田俊郎・宗友義美	1980	バレイショ徒長個体の外部形態的観察.	岡山大農場報告 3: 32-33.
黒田俊郎・宗友義美	1980	バレイショの秋作栽培導入に関する基礎試験.	岡山大農場報告 3: 34-36.
黒田俊郎・宗友義美・佐藤和正	1983	岡山地方におけるバレイショ多収栽培に関する基礎的研究 第1報 栽培年次・施肥量・栽植密度による収量形質の変動.	岡山大農場報告 5: 28-31.
黒田俊郎・宗友義美・多田正人	1984	岡山地方におけるバレイショ多収栽培に関する基礎的研究 第2報 収量形質に及ぼす品種・栽植密度・施肥量の相互作用.	岡山大農場報告 7: 31-34.
黒田俊郎・宗友義美・多田正人	1985	岡山地方におけるバレイショ多収栽培に関する基礎的研究 (第3報) 低収量年における収量形質の特徴.	岡山大農場報告 8: 24-27.
黒田俊郎・工藤久美寿・多田正人	1986	岡山地方におけるバレイショ多収栽培に関する基礎的研究 (第4報) 高収量年における収量形質の特徴.	岡山大農場報告 9: 20-24.
黒田俊郎・小寺将之・松浦次郎	1989	岡山地方におけるバレイショ多収栽培に関する基礎的研究 (第5報) 低収年(1986年)と高収年(1987年)の比較.	岡山大農場報告 11: 23-27.
黒澤喬一	1912	馬鈴薯種塊切断面塗末剤及萌芽に就て. [雑纂]	大日本農會報 369: 83-84.
串崎光男	1953	馬鈴薯の生育過程について (第1報) 無機四要素の吸収利用.	土肥誌 23(4): 325.(講要)
串崎光男	1955	(40) 馬鈴薯の生育過程に就いて (第3報) 澱粉含有率の高い品種の生育経過.	土肥要旨集 1: 10.(講要)
串崎光男・五十嵐孝典	1956	馬鈴薯の生育に対する無機要素の関連.	日作紀 25(1): 47.(講要)
串崎光男・五十嵐孝典・星 忍	1957	(138) KCl, K ₂ SO ₄ が馬鈴薯の生育に及ぼす影響.	土肥要旨集 3: 32.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
串崎光男・今村信子	1962	馬鈴薯の生育分析に関する考察.	北海道農試彙報 77: 11-14.
桑原亙平・岩佐倫希・ 三浦紗土・吉川亜紗 子・市川伸次・署間和 人	2010	バレイショ根量の品種間差におけるポット 栽培と圃場栽培との比較.	育種・作物学会北海道談話会 報 51: 49-50.(講要)
桑原亙平・岩佐倫希・ 三浦紗土・吉川亜紗 子・高橋陽平・市川伸 次・岩間和人	2011	バレイショ根量の品種間差におけるポット 栽培と圃場栽培との比較.	育種・作物学会北海道談話会 報 52: 81-82.(講要)
桑鶴紀充・永田茂徳・ 別府誠二	2007	ジャガイモにおける土層改良が生育・品 質・収量に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 70: 198.(講要)
Li Li, Qin, Y.L., Liu, Y.C., Hu, Y.C. and Fan, M.S.	2012	Leaf positions of potato suitable for determination of nitrogen content with a SPAD meter.	Plant Produc. Sci. 15(4): 317- 322.
前田勝四郎	1897	馬鈴薯, 甘藷, 菊芋ノ栽培法並貯蔵食用 法.(救荒作物,「救荒新策 一名 饑饉の 用心」)	日新園, 堀越村(新潟県), pp.27-31.
前田光藏	1928	作り易い馬鈴薯.	農業世界 23(14): 43-
前田信壽・太田俊逸・ 藤原彰夫	1949	傾斜地土壤に関する研究(第2報) 馬鈴 薯に関する施肥法に就て.	東北大農研彙報 1(2): 86-93.
米田 勉・森 元幸・梅村 芳樹	1992	病害回避のためのバレイショ早期栽培.	育種・作物学会北海道談話会 報 31: 9.(講要)
米田 勉・森 元幸・那須 千一郎	1992	バレイショ品種の徒長による品質低下.	育種・作物学会北海道談話会 報 31: 12.(講要)
丸山健次・北川 巖	2009	カッティングドレーン工法による無材暗 きよの施工とてん菜およびばれいしょ栽培 への効果.	でん粉情報 25: 13-19.
丸山健次	1010	有材心土改良耕のてん菜及びばれいしょ 栽培への効果.	でん粉情報 32: 35-40.
Matli, P.I., Aoki, M., Ozawa, Y., Hideshima, Y., Nakayama, H. and Maruy, S.	2002	Characterization of canopy photosynthetic CO ₂ flux and leaf stomatal conductance responses of potato crop to changing field meteorological conditions in Hokkaido.	J. Agric. Meteorol. 58(3): 115- 122.
松原茂樹	1943	馬鈴薯の生育に及ぼす土壤反応に就 て.	園学雑 14(4): 306-310.
松原茂樹	1948	積雪地帯水田裏作馬鈴薯の栽培.	農及園 23(1): 85-89.
松原茂樹	1948	馬鈴薯の秋作に就て.	農業 790: 17-22.
松原茂樹	1949	馬鈴薯増収上の諸条件と之れが改善方 法.	農業技術研究 3(3): 12-15.
松原茂樹	1950	馬鈴薯の植付と甘藷の育苗.	新園芸 3(3): 60-63.
松田清明・宮本啓二・ 佐藤禎稔	1986	除礫がバレイショおよびテンサイの収穫に 及ぼす効果.	帯大研報(第1部) 14(4): 365- 371.
松本 太・福岡義隆	2001	バレイショの植付期に基づく北海道の季 節学的な気候区分.	日本生気象学会雑誌 38(1): 33-42.
松本 学・出口哲久・伊 藤瑛悟・納谷拓実・古 川 恵・小林 司・市川伸 次・河合孝雄・岩間和 人	2011	根量の異なるバレイショ品種における植 物の通導コンダクタンスの評価.	育種・作物学会北海道談話会 報 52: 85-86.(講要)
松本松美	1933	収益の多い馬鈴薯の早熟栽培.	農業世界 28(2): 78-
松尾恒喜・立野喜代太	1982	萌芽性の遅速とジャガイモ塊茎の収量に ついて.	九州大農農場研究資料 6: 7- 9.
松尾良満・進藤幸広・ 井上萬次・山口一三	1987	春作マルチバレイショの栽培に関する研 究 第1報 マルチの種類, 植付け深さ, 畦の高さの影響.	九州農業研究 50: 57.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
松尾良満・山下修司・山本平三	1983	冬作バレイショの栽培に関する研究 第1報 品種別生育経過と植付時期の影響.	九州農業研究 45: 223.
松尾良満・山下修司・山本平三	1982	冬作バレイショの栽培に関する研究 (第1報) 品種別生育経過と植付時期の影響.	園学九州支要旨 (第22回): 62. (講要)
松岡匡一・谷口長則・川上剛志	1955	馬鈴薯栽培におけるIPCの除草効果.	農及園 30(7): 991-992.
松山知美・坂上さゆみ・田淵雅和・富濱毅・小川哲治・池永誠・境 雅夫	2015	(13) ジャガイモ塊茎表皮の細菌群集構造に及ぼす土壌および生育段階の影響.	土肥要旨集 61: 291. (九州支部講要)
松永 浩	2012	“2節-(2)-1) -ア 種いも, イ 畑の準備”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.181-182, 182-183.
目黒緑二	1964	“技術改善状の問題点 5. 馬鈴薯作の改善”, 農業省力技術の現況, 畑作.	農業 964: 4-5.
三澤武雄	1941	馬鈴薯の除莖利用栽培試験.	農及園 16(11): 1831.
三井榮三	1946	甘藷と馬鈴薯の増収法.	農業世界 41(6): 23-
三井榮三	1948	甘藷, 馬鈴薯の作り方.	農業世界 43(3): 30-
三浦紗土・岩佐倫希・桑原亘平・吉川亜紗子・市川伸次・Visser R・岩間和人	2010	バレイショC×Eマップ集団における根形質の年次間相関.	育種・作物学会北海道談話会報 51: 47-48. (講要)
宮原万芳	1953	馬鈴薯の自然結実未熟顆中種子の発芽力に関して(予報).	九州農業研究 12: 85-86.
三宅一喜	1944	馬鈴薯増収上の一実験.	農業世界 39(2): 76-
宮本健太郎	1960	沖縄における冬作馬鈴薯の改善.	農業技術 15(8): 349-351.
宮本健太郎・松沢正知	1949	馬鈴薯の初期生育中に於ける種いも澱粉の消費について.	中国四国農学大会講演集(広島農業特別報告), pp.14-17.
宮本健太郎・松沢正知	1949	馬鈴薯に於ける覆土及び土寄せの影響について.	中国四国農学大会講演集(広島農業特別報告 2), pp.17-21.
宮本健太郎・池田定男・宮原万芳・藤山俊計	1956	種薯の予措による暖地産秋馬鈴薯の生産力向上について.	九州農業研究 17: 84-85.
宮本健太郎	1958	暖地に於ける秋作馬鈴薯について.	日作九支報 13: 7-12.
宮本健太郎・中村盛三・池田定男・相川英雄	1958	暖地に於ける馬鈴薯の澱粉収量について.	日作九支報 14: 46-49.
宮本健太郎	1959	秋作馬鈴薯の栽培法.	農及園 34(1): 209-212.
宮崎文治郎	1898	爪哇薯栽培に就て.	大日本農會報 200: 40.
宮崎 孝・五島一成	1984	ばれいしょのマルチ栽培下における土壌養分状態.	九州農業研究 46: 94.
三善重信	1971	春作早掘バレイショの栽培改善策.	農及園 46(9): 1333-1338.
三善重信・吉鹿正三	1971	早掘バレイショの栽培法改善に関する試験.	九州農業研究 32: 259.
持田秀之	2014	バレイショを主軸作物とする輪作体系における緑肥作物を利用した土壌管理. (特集 土壌の生物性と土づくり<連作障害対応>)	土づくりとエコ農業 46(1): 22-27.
持留信雄・森 清文・上妻道紀	2000	青果用バレイショの栽植密度の違いによる収量特性 第1報 早掘り作型における栽植密度と収量特性.	九州農業研究 62: 22.
持留信雄・森 清文・上妻道紀	2000	青果用バレイショの栽植密度の違いによる収量特性 第2報 普通掘り作型における栽植密度と収量特性.	九州農業研究 62: 23.
桃野 寛	2002	経営・技術 茎葉枯凋剤に頼らない馬鈴しょ茎葉処理のポイント.	農家の友 54(9): 80-82.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
門馬孝之・間宮幹士・大西 昇・戸栗敏博・加藤秀正	2008	(76) バレイショ(キリン社導入・普及品種: シンシア)の生長と肥料反応.	土肥要旨集 54: 292.(関東支部講要)
門馬孝之・間宮幹二・大西 昇・加藤秀正	2010	(9-25) ジャガイモ(品種: シンシア)の生長と肥料投入量の関係 2 シンシアと男爵薯を比較して. (9.植物の多量栄養素)	土肥要旨集 56: 62.(講要)
森 一幸・向島信洋・中尾 敬	2005	施肥量と栽植密度がバレイショ「アイユタカ」の収量, 品質に与える影響.	九州農業研究 67: 26.
森 一幸・中尾 敬	2012	バレイショ「西海31号」の商品重量が高い春作マルチ栽培法.	九州農業研究発表会要旨集 75: 25.(講要)
森 一幸	2012	“2節-(3) 暖地における栽培・管理”, III 章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.198-209.
森 一幸・中尾 敬	2013	春作マルチ栽培におけるバレイショ品種「西海31号」の標品重量が高い栽培法.	長崎総農試研報(農業) 4: 51-72.
森 清文・持留信雄・上妻道紀・黒瀬行男	2000	加工用バレイショの高品位安定生産技術の確立 第1報 加工用バレイショ栽培の現状と問題点.	九州農業研究 62: 24.
森 清文・持留信雄・上妻道紀	2001	青果用バレイショの生育経過特性解明 第1報 早掘作型における生育経過特性.	九州農業研究 63: 28.
森 清文・西 八束・露重美義・上妻道紀	2003	鹿児島県におけるバレイショのそうか病抵抗性品種の適応性.	九州農業研究 65: 42.
森 清文・露重美義	2005	加工用バレイショの収量・品質に及ぼす植付時期および生育期間の影響.	九州農業研究発表会要旨集 68: 29.(講要)
森 清文・露重美義	2005	加工用バレイショの収量・品質に及ぼす栽培要因の解明.	九州農業研究発表会要旨集 68: 30.(講要)
森 清文・原田昭夫・露重美義	2006	暖地加工用バレイショの適正施肥量.	九州農業研究発表会要旨集 69: 34.(講要)
森 清文・古江広治	2007	バレイショ輪作体系化における地力維持線虫対抗作物の効果.	九州農業研究発表会要旨集 70: 61.(講要)
森 清文・渋川 洋・古江広治	2008	バレイショ産地の土壌実態と生育障害の原因究明 第1報 バレイショ産地土壌実態調査.	九州農業研究発表会要旨集 71: 69.(講要)
森 清文・古江広治	2008	(7) バレイショ輪作体系化における地力維持線虫対抗作物の効果.	土肥要旨集 54: 323.(九州支部講要, その2)
森 清文・渋川 洋・古江広治	2009	(13) バレイショ産地の土壌実態と生育障害の原因究明 第1報 バレイショ産地土壌実態調査.	土肥要旨集 55: 319.(九州支部講要, その3)
森 清文・露重美義	2009	暖地加工用バレイショの収量, 品質に及ぼす栽培要因の解明.	鹿児島農総セ研報(耕種部門) 3: 23-31.
森 清文・西 裕之・古江広治	2011	加工用バレイショ塊茎腐敗発生ほ場の土壌実態.	九州農業研究発表会要旨集 74: 61.(講要)
森 清文・西 弘之・古江広治	2012	(20) 加工用バレイショ塊茎腐敗発生ほ場の土壌実態.	土肥要旨集 58: 310.(九州支部秋季講要)
森 元幸	2011	バレイショ. (「北海道における2009年多雨・寡照による農作物の被害解析」報告書)	北海道農研セ研究資料 68: 25-32.
森 要太郎	1891	第四十一 馬鈴薯ノ比重ヲ計リテ其乾物及ビ澱粉ノ含量ヲ知ル表., 第四十二 馬鈴薯ノ損失. (「袖珍農事之友」増訂2版)	有隣堂, 東京, pp.184-187.
森 要太郎	1897	第十四 馬鈴薯ノ比重ヲ計リテ其乾物及澱粉ノ含量ヲ知ル表., 第十五 馬鈴薯ノ貯蔵減量割合., 「袖珍農事之友」(増訂3版)	有隣堂, 東京, pp.73-75.
諸隈正裕・東江 栄・豊田正範・楠谷彰人	2014	水田裏作ジャガイモ栽培が水稻有機栽培に及ぼす影響.	作物学会講要集 238: 77.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
向島信洋・石橋祐二・中尾 敬・森 一幸	2004	バレイショ品種の作型, 種いもの齡の違いによる生育特性.	九州農業研究 66: 42.
向島信洋・小林晃・津田昌吾・森 元幸	2006	深植え栽培におけるジャガイモの塊茎分布.	育種・作物学会北海道談話会報 47: 105-106.(講要)
宗 正雄	1931	爪哇薯種薯の發芽数に就て.	農及園 6(7): 1039-1042.
宗友義美・佐藤和正・黒田俊郎	1982	春作バレイショの施肥量試験.	岡山大農場報告 4: 48-51.
村井長五郎	1941	秋馬鈴薯の作り方.	農業世界 36(11): 18-
村井信仁	2001	“転作畑におけるバレイショ栽培技術”, 作物別経営研究(8) バレイショ.	農業経営者 9(3): 42-45.
Murakami, N. and Ito, T.	1975	Varietal differences in the seasonal stability of tuber number, tuber size and starch value of potato plants.	Proc. Crop Sci. Soc. Japan 44(3): 229-235.
村上紀夫	1992	“第5章 馬鈴薯”, 北海道の新・作物管理全書.	ニューカントリー (1992増刊号), pp.131-150.
村上紀夫	2012	“2節 栽培・貯蔵 [節の概説], (1)-1 春作, (2)-1-カ 収納・選別”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.174, 177-181, 190-192
村松嘉和	1994	馬鈴薯の品質向上.	農業技術研究 48(2): 47-49.
室田 昇・川嶋次夫	1965	馬鈴薯に対するCL肥料及びSO ₄ 肥料の比較試験.	九州農業研究 27: 198-200.
室田 昇・川嶋次夫	1965	(23) 馬鈴薯に対するCI肥料及びSO ₄ 肥料の比較試験.	土肥要旨集 11: 39.(九州支部講要)
野田昌也	1943	馬鈴薯の施肥 (一).	農業 749: 16-31.
野田昌也	1943	馬鈴薯の施肥 (二).	農業 750: 1-13.
永井威三郎	1948	第3章 じゃがたらいも. (「實驗作物栽培各論 第2巻」)	養賢堂, 東京, pp.298-
永井頴雄	1895	馬鈴薯に就て.	大日本農會報 166: 18-19.
永井 喬・細井彌三郎	1942	馬鈴薯「男爵」の退化に就て 種薯の更新に關する一考察 (第二報).	白楊農誌 3(2): 37-42.
永尾嘉孝	1974	暖地馬鈴薯の育種に關する研究 第8報 2, 3形質の相關々係について.	九州農業研究 36: 70.
永尾嘉孝	1987	土壤および作物体の無機成分バランス 第2報 バレイショの石灰欠乏対策としての局所処理の検討.	九州農業研究 49: 98.
永尾嘉孝	1987	土壤および作物体の無機成分バランス 第3報 バレイショ連作畑におけるマンガンの挙動.	九州農業研究 49: 99.
永尾嘉孝	1988	ジャガイモの貯蔵条件と品質の変化 第1報 春作ジャガイモの貯蔵条件と品質の変化.	九州農業研究 50: 221.
永尾嘉孝	1989	2-クロロエチルホスホン酸液の葉面散布がバレイショの収量・品質に及ぼす影響.	九州農業研究 51: 87.
永尾嘉孝	1990	土壤及び作物体の無機成分バランス 第5報 石膏施用と石灰質資材のバレイショに対する葉面散布効果.	九州農業研究 52: 89.
永尾嘉孝	1990	(32) 土壤および作物体の無機成分バランス 第5報 石こう施用と石灰質資材のばれいしょに対する葉面散布効果.	土肥要旨集 36: 221.(九州支部講要, その2)
永尾嘉孝	1993	(5-42) 土壤および作物体の無機成分バランス 第8報 ばれいしょに対する石灰施用が石灰, マンガン吸収と品質に及ぼす影響. (5. 植物の無機栄養および養分吸収)	土肥要旨集 39: 73.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
永尾嘉孝	1993	(22) 土壌および作物体の無機成分バランス 第7報 ばれいしょ澱粉価に及ぼす加里の影響.	土肥要旨集 39: 357.(九州支部講要, その1)
永尾嘉孝	1995	(21) 土壌および作物体の無機成分バランス 第12報 ばれいしょに対する石灰質資材の葉面散布効果.	土肥要旨集 41: 408.(九州支部講要, その2)
永尾嘉孝	1995	ばれいしょの施肥管理と収量, 品質.	長崎総農試研報(農業) 21: 19-48.
永尾嘉孝	1995	土壌及び作物体の無機成分バランス 第12報 ばれいしょに対する石灰質資材の葉面散布効果.	九州農業研究 57: 74.
永尾嘉孝	1996	(5) 土壌および作物体の無機成分バランス 第13報 緩効性石灰の施用がばれいしょの収量・品質に及ぼす影響.	土肥要旨集 42: 373.(九州支部講要, その1)
永尾嘉孝	1996	(19) 土壌および作物体の無機成分バランス 第14報 ばれいしょ跡作ゆりの生理障害.	土肥要旨集 42: 394.(九州支部講要, その2)
永尾嘉孝	1996	土壌および作物体の無機成分バランス 第14報 ばれいしょ跡作ゆりの生理障害.	九州農業研究 58: 73.
永尾嘉孝	1998	(9) 暖地バレイショに対する石灰窒素の施用効果.	土肥要旨集 44: 345.(九州支部講要, その2)
永尾嘉孝	1998	暖地バレイショに対する石灰窒素の施用効果.	九州農業研究 60: 50.
永尾嘉孝	2001	土壌および作物体の無機成分バランス 第19報 重焼燐の施肥がバレイショの収量・品質に及ぼす影響.	九州農業研究 63: 62.
永尾嘉孝	2001	(15) 土壌および作物体の無機成分バランス 第20報 緩効性肥料を用いたバレイショに対する施肥量の節減.	土肥要旨集 47: 286.(北海道支部講要)
永尾嘉孝	2001	(12) 土壌および作物体の無機成分バランス 第19報 重焼燐の施肥がバレイショの収量・品質に及ぼす影響.	土肥要旨集 47: 389.(九州支部講要, その2)
長瀬清五郎	1885	馬鈴薯蔓挿植の景況.	大日本農會報告 51: 30-31.
永田茂穂・江口 洋	2003	熊毛地域における早掘りジャガイモの肥効調節型肥料による全量基肥栽培.	九州農業研究 65: 181.
永田利男・那須 千一郎	1958	馬鈴薯品種の秋作適応性に関する試験.	北農 25(9):
永山忠夫・馬場 知・菅野 正	1979	バレイショのフィルムマルチ栽培に関する研究.	福島農試研報 18: 75-84.
内藤正志	1956	水田裏作馬鈴薯の栽培法に関する研究.	宮城農試報告 22: 85-94.
中川勝八	1958	最近の馬鈴薯増産を分析する.	農業技術 13(3): 115-117.
中川祥治・橋本正光・井川幸一・清水幸一	2016	有機栽培ジャガイモにおけるサイズ流通規格外および無選別品の品質と消費者の購入意識に関する検討事例.	農及園 91(7): 695-705.
中馬克己・陣野久好	1957	水稻早期栽培跡の秋馬鈴薯栽培.	農及園 32(9): 1317-1319.
中島三郎・田口 達	1936	馬鈴薯の二期作に於ける種薯の催芽處理法に関する調査(豫報).	日作紀 8(3). 419-428.
中丸康夫・柴崎 哲・柴田 卓・鈴木辰吾・山井智裕	2011	(1) 網走地域の輪作体系におけるリン・カリ減肥試験 1(速報) 輪作2年目のバレイショ収量への影響.	土肥要旨集 57: 286.(北海道支部講要)
中本 洋・藤倉潤治	2015	(1) 上川地域における加工用バレイショの生育, 収量に及ぼす窒素施肥の影響.	土肥要旨集 61: 237.(北海道支部講要)
中村英司	1962	ジベレリンの葉面散布によるバレイショ種イモの休眠短縮.	滋賀県立短大学術雑誌 3:
中村元四郎	1934	馬鈴薯除莖の利用栽培.	農及園 9(2): 505-510.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
中村元四郎・諸石亀一	1937	秋作馬鈴薯の種薯生産方法と収量.	農及園 12(11): 2882-2890.
中村 浩	1944	馬鈴薯の聯續三期作.	農及園 19(12): 1061-1062.
中村誠助	1938	馬鈴薯の發育相と葉部の損傷が収量に及ぼす影響.	農及園 13(4): 1015-1022.
中村誠助・梅林俊成	1955	馬鈴薯の施肥の位置と増収度.	農及園 30(3): 433-435.
中村享靖	1956	馬鈴薯の多収穫栽培法.	養鶏世界 186(1956-06):
中根 壽(編)	1886	第一章 馬鈴薯. (蔬菜栽培篇,「新撰農業書」卷之2)	文學社, 東京, pp.1-2.
仲野貴之	2015	培土改良・排水性改善による馬鈴薯品質向上の取り組み. (特集 土層改良と作物生育)	土づくりとエコ農業 47(3): 40-45.
中尾 敬・高田明子・向島信洋・森 一幸	2005	暖地産バレイショ塊茎の打撲耐性.	九州農業研究 67: 24.
中世古公男・由田宏一・吉田 捻	1970	光とばれいしょの乾物生産との関係について.	育種・作物学会北海道談話会報 10: 26. (講要)
中田利兵衛	1915	馬鈴薯の二度作り法.	日本農業雑誌 11(11): 92-94.
中谷長次郎	1952	ジャガイモ秋作準備.	中央園芸 (559): 21-23.
中谷真也・村松 実	1952	ウスプルン処理が馬鈴薯の萌芽に及ぼす影響について.	東北農業 5(5・6): 114-118.
中山 輝・大波正寿	2013	でん粉原料用バレイショ「コナユキ」のくずいも数に及ぼす催芽日数の影響.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 97-98. (講要)
中山敬一・羽生寿郎・今 久	1984	馬鈴薯畑のアルベドの特性.	農業気象 39(4): 289-295.
中山高威	1959	寒冷地における馬鈴薯栽培の改善.	農業技術 14(5): 208-210.
中沢文男	1992	馬鈴薯の育成に及ぼす酵素の影響.	明治大農研報 94: 25-27.
並河 功	1933	馬鈴薯の生育と環境.	教育農藝 2(8).
納谷拓実・出口哲久・伊藤瑛悟・古川 恵・松本 学・小林 司・市川伸次・河合孝雄・岩間和人	2011	根量の異なるバレイショ2品種における群落構造および光利用効率と塊茎の早期肥大性との関係.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 87-88. (講要)
練尾一雄	1942	秋馬鈴薯の作り方.	富民 14(8): 38-39.
仁紫宏保・古賀野完爾	1971	(5-36) 畑作物の窒素栄養における硝酸態窒素の意義について (第1報) - 小豆, てん菜, 馬鈴薯の生育と体内成分濃度に及ぼす影響-. (5.植物の無機栄養および養分吸収)	土肥要旨集 17: 73. (講要)
西林 幸	1956	水稻の早植で馬鈴薯の導入.	農業世界 51(1): 122-
西部幸男・森 元幸・礒田昭弘・中世古公男	1984	エネルギー利用効率から見たバレイショの乾物生産特性 II.	育種・作物学会北海道談話会報 24: 53. (講要)
西部幸男・森 元幸・礒田昭弘・中世古公男	1987	気象条件の異なる年次におけるバレイショの生育経過の差異.	日作紀 56(1): 1-7.
西部幸男・岩間和人・中世古公男	1987	バレイショ生長の年次変異と気象条件の関係 第1報 茎葉生重における年次変異の発現過程と日射量, 気温および降水量との関係.	日作紀 56(3): 293-301.
西部幸男・岩間和人・中世古公男	1988	バレイショ生長の年次変異と気象条件との関係 第2報 塊茎澱粉重における年次変異の発現過程.	日作紀 57(3): 505-511.
西部幸男・佐藤正人・森 元幸・礒田昭弘・中世古公男	1989	バレイショにおける受光量および生長パラメータに及ぼす気象要因の影響.	日作紀 58(2): 171-179.
西田弘夫	1939	馬鈴薯催芽の簡易化.	農及園 14(11): 2603-2606.
西潟高一・飯田次男	1955	土壌侵蝕防止の研究 第4報 馬鈴薯収穫跡地の管理による侵蝕の抑制.	北海道農試彙報 68: 45-48.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
西潟高一・串崎光男・星 忍	1959	(241) 施肥位置の差が馬鈴薯の生育におよぼす影響。(肥料および肥効試験)	土肥要旨集 5: 46.(講要)
西入恵二・桂 勇	1963	馬鈴薯萌芽抑制剤の実用的処理と効果について.	東北農試研究速報 1: 51-54.
西川広栄・栗原 浩	1962	馬鈴薯の施肥による生育調節に関する研究 I. 施肥法と施肥量の差異による馬鈴薯の期待生育に関する研究.	日作紀 31(1): 31-36.
西川広栄	1964	機械化深耕条件下における馬鈴薯施肥の合理化に関する研究 第2報 施肥法および施肥量と馬鈴薯の期待生育との関係.	東北農試研究速報 4: 55-58.
西川広栄	1964	深耕条件下における馬鈴薯施肥の合理化に関する研究 第3報 馬鈴薯の播種期と施肥法の関係.	東北農試研究速報 4: 59-63
西川広栄	1965	異なる土壌基盤における馬鈴薯施肥の合理化と生育相.	東北農試研究速報 5: 37-40.
錦織重實	1939	馬鈴薯栽培法.	日本園藝雑誌 51(7).
西村政芳・東山啓三・糊沢定信・中原哲雄・河野嗣男・沢田久一	1983	“精農家のジャガイモ栽培技術”(分担執筆),「野菜全書 10.マメ類, イモ類, レンコン」.	農山漁村文化協会, 東京, pp.681-725.
西尾順一郎	1900	馬鈴薯栽培法.	農業世界 2(22): 427-429.
西尾隆雄	1957	馬鈴薯に対する施肥量の多寡と細胞生理的反応.	鳥取農試研報 2:
西尾隆雄	1957	馬鈴薯に対する萌芽前培土の効果.	鳥取農試研報 2:
西浦珠央・梅田 周・市川伸次・岩間和人	2015	2倍体バレイショC×Eマップ集団における開花期での地上部形質と早期肥大性との関係.	育種・作物学会北海道談話会報 55: 75-76.(講要)
西浦珠央・成影沙紀・林 百々・市川伸次・岩間和人	2016	2倍体バレイショC×Eマップ集団における早期肥大性と開花期までの積算受光量および光利用効率との関係.	育種・作物学会北海道談話会報 56: 26-27.(講要)
野田昌也	1946	馬鈴薯の施肥技術.(特輯 馬鈴薯の研究)	農及園 21(2): 67-70.
野田定市	1920	水田馬鈴薯栽培法.	日本農業雑誌 16(2): 55-56.
野田高弘・津田昌吾・森 元幸・鈴木達郎・瀧川重信・遠藤千絵・山内 宏	2014	ばれいしょ塊茎生育時における気温の年次変動がでん粉特性に与える影響.	北農 81(3): 231-235.
野田西松	1896	馬鈴薯栽培法.	大日本農會報 173: 20-21.
野口彌吉	1946	馬鈴薯増収の基調.(特輯 馬鈴薯の研究)	農及園 21(2): 51-54.
沼尻勝人	2013	野菜づくりの苗半作! (第11回) ジャガイモ サトイモ.	農耕と園芸 68(11): 44-47.
小田島 守・高橋幸一・三枝正彦・渋谷暁一・阿部篤郎	1991	肥効調節型被覆尿素肥料を用いたバレイショの全量基肥栽培.	東北大川渡農場報告 7: 49-51.
小笠原秀雄・中谷真也	1949	エチクロ処理による馬鈴薯秋作.	農及園 24(7): 500.
小笠原秀雄	1953	馬鈴薯秋種の緑化処理効果.	農業技術 8(12): 28-29.
小笠原秀雄	1954	馬鈴薯の早熟栽培を行う場合の注意.	農及園 29(11): 1389-1391.
緒方幹男	1948	馬鈴薯塊茎比重と形及び大きさとの関係並に品種別塊茎比重について.	九州農業研究 3:29.
小川林治郎(述)	1893	馬鈴薯栽培法.(「岩村翁農事講話記」)	高橋 保, 大富村(新潟県), p.26.
大桁農場主	1905	稲刈跡の馬鈴薯作に就て.	農業雑誌 30(34)(933): 539-540.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
大井義弘・平田憲二・小川哲治	2010	(14) 酸性下土壌でのバレイショ栽培における被覆硝酸カルシウムを用いた施肥改善.	土肥要旨集 56: 295.(九州支部講要, その1)
大井義弘	2015	強酸性バレイショ圃場における被覆硝酸カルシウムを用いた施肥改善.(特集 カルシウムと作物生育)	土づくりとエコ農業 47(6): 29-32.
大井上 康	1947	加里及石灰の馬鈴薯及甘藷の蓄積生長期に於ける増産効果に就いて.	園学雑 16(1-2): 16-20.
大石顕一・九渡祐司	1999	(21-18) 使用済脱硫剤およびカルシウム肥料の施用がジャガイモの品質と収量に及ぼす影響.(21.土壌改良資材)	土肥要旨集 45: 238.(講要)
大石顕一・九渡祐司・牛木 純	1999	(22) 石炭灰利用脱硫装置副産物(使用済脱硫剤)の施用がジャガイモの品質改善に及ぼす影響.	土肥要旨集 45: 329.(北海道支部講要)
大泉久一	1959	大豆・馬鈴薯を根幹とする畑作の改善.(特集:畑作の改善と栽培実例)	農及園 34(1): 182-186.
大泉久一・西入恵二・桂 勇	1960	馬鈴薯萌芽抑制剤としてのC1-IPCの使用方法に関する試験.	東北農業研究 2: 111-112.
岡 啓	1968	馬鈴薯増収の要点と機械化栽培上の問題点.	農及園 43(2): 349-353.
岡 啓	1969	十勝地方におけるばれいしょの生産性向上に関する研究 第1報 ばれいしょ品種の生育と三要素の吸収過程に関する一考察.	北海道農試彙報 95: 46-52.
岡 啓	1969	十勝地方におけるばれいしょの生産性向上に関する研究 第2報 磷酸多施条件下におけるN用量とばれいしょの生育反応.	北海道農試彙報 95: 53-64.
岡 啓	1969	ばれいしょ畑の雑草とその防除.	農薬 16(2): 47-51.
岡 啓・広川文彦	1972	株間距離の変動が畑作物の収量に及ぼす影響 ー馬鈴しょ, てん菜(移植)ー.	日作紀 41(別1): 123-124.(講要)
岡 啓	1977	十勝地方におけるばれいしょの生産性向上に関する研究 第3報 ばれいしょの生育, 収量に及ぼす窒素分施及び緩効性窒素の影響.	北海道農試研報 117: 57-74.
岡 啓・松井重雄	1983	ばれいしょの欠株時期と株間補償.	育種・作物学会北海道談話会報 23: 36(講要)
岡 啓・松井重雄	1986	バレイショの株当り茎数と収量形質の変動.	育種・作物学会北海道談話会報 26: 16.(講要)
岡部彦左衛門	1894	北海道産爪哇薯試作結果.	大日本農會報 148: 17-18.
岡部善次郎・倉田久男	1947	馬鈴薯増収に関与する二・三の特性.	農及園 22(4): 179-180.
岡田昌宏・津田昌吾・森 元幸・三浦秀穂	2013	ジャガイモの生育及び収量特性に及ぼす早期培土の影響.	作物学会講要集 235: 118-119.(講要)
岡田昌宏・三浦秀穂・津田昌吾・森 元幸	2005	深植え栽培におけるジャガイモの生育特性の解析.	育種・作物学会北海道談話会報 46: 79-80.(講要)
岡田昌宏・西中未央・森 元幸・三浦秀穂	2010	2008年から2010年におけるジャガイモ生育の年次変異.	育種・作物学会北海道談話会報 51: 51-52.(講要)
岡田昌宏・津田昌吾・森 元幸・三浦秀穂	2011	ジャガイモ早期培土と播種深度のストロン生長への影響.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 95-96.(講要)
岡田昌宏・津田昌吾・森 元幸・三浦秀穂	2013	2005年から2012年における早期培土がジャガイモ収量に及ぼす効果の年次変異.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 93-94.(講要)
岡田篤治	1886	馬鈴薯栽培ノ説.	愛知縣勸業雑誌 13: 83-111.
岡田 悠・堀切 学・岩間和人・寺内方克・実山 豊	2004	根量の異なるバレイショ品種間における土壌吸水量の差異.	育種・作物学会北海道談話会報 45: 49-50.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
小此木栄治・城田和夫	1935	肥料の種類と馬鈴薯の収量品質との関係.	農及園 10(12): 2775-2780.
小此木栄治	1941	埼玉縣に於ける水田裏作の馬鈴薯栽培.	農及園 16(2): 293-297.
大久保隆弘・栗原 浩	1966	ばれいしょの生育と土壌条件との関連に関する研究 第2報 作付体系の相違による土壌条件の差の収量規制度について.	日作紀 34(3): 345.(講要)
大久保隆弘・ホタモフ・ゾキロフ・シャリボフ・ムハマドフ・長谷川繁弥	2002	関東北部地域における秋作馬鈴薯栽培技術.	農業技術 57(11): 502-506.
奥田 東・下瀬 昇	1950	作物の窒素代謝について 馬鈴薯切片による窒素の吸収.	土肥誌 21(2): 418.(講要)
大熊光雄	1940	馬鈴薯の秋作栽培に於ける発芽促進の一方法.	農及園 15(8): 1721-1723.
大熊 靖	1955	春馬鈴薯の作り方.	蔬菜4(3):
大熊 靖	1954	馬鈴薯の品種の採り上げ方と栽培.	蔬菜 4(2): 30-32.
大熊 靖	1955	秋作馬鈴薯栽培について.	蔬菜 5(2):
奥村俊勝・竹内史郎・上嶋 篤	1987	ジャガイモとサツマイモに対する基肥窒素効果の種間差.	日作紀 56(別2): 63-64.(講要)
奥村俊勝・竹内史郎・平松政弘	1989	ジャガイモに対する基肥位置の違いが施肥窒素利用と生育収量に及ぼす影響.	日作紀 58(別2): 53-54.(講要)
奥野 俊	1949	低温処理による馬鈴薯増収の研究.	低温科学 2: 205-218.
大波正寿・鈴木 剛・稲野一郎・前野眞司	2005	バレイショ早期培土栽培における栽植密度反応.	育種・作物学会北海道談話会報 46: 77-78.(講要)
大波正寿	2006	馬鈴しょの萌芽前培土栽培法.	農家の友 58(10): 74-76.
大波正寿・松永 浩・鈴木 剛	2008	でん粉原料用品種を用いたバレイショ培土簡易化栽培の生産性.	育種・作物学会北海道談話会報 49: 75-76.(講要)
大波正寿	2009	馬鈴しょソイルコンディショニング栽培の体系化技術.	農家の友 61(9): 96-98.
大波正寿	2010	ばれいしょソイルコンディショニング栽培体系について.	でん粉情報 33: 36-40.
大波正寿	2012	“2節-(2)-1)-ウ 植付, エ 管理作業”, III 章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.183-186, 186-187.
大波正寿	2013	馬鈴しょ萌芽不良の発生要因と対策.	農家の友 65(11): 41-43.
大波正寿	2013	ポテトチップス用ジャガイモの栽培方法と留意点.	いも類振興情報 115: 21-24.
小野丈夫	2007	馬鈴しょ新栽培システム導入(斜里町).	農家の友 59(1): 40-42.
小野寺政行	2015	でん粉原料用ばれいしょ「コナユキ」の安定多収栽培法.	砂糖類・でん粉情報 38: 41-49.
大沼 彪・藤橋嘉一郎	1971	県内産種ばれいしょの生産力について.	東北農業研究 12: 123-125.
織部幸五郎	1952	種薯の自給と合理的栽培 - 馬鈴薯栽培の問題点一.	農業技術研究 6(8): 19-20.
織部幸五郎	1954	馬鈴薯早採りの経済的な方法.	農業技術研究 8(2): 21-28.
織部幸五郎	1956	馬鈴薯栽培と品種.	農業技術研究 10(2): 48-49.
逢坂憲政・柳田雅芳・松田石松	1978	バレイショ早掘栽培の2, 3の考察.	東北農業研究 21: 131-132.
大崎 満・小松里香・田中 明	1988	バレイショの茎葉から塊茎への物質転流に伴う炭素・窒素化合物の再編成.	土肥誌 59(3): 266-271.
大崎 満・田中 明	1989	バレイショの各器官の生長経過からみた個体生長の解析.	土肥誌 60(5): 406-412.
大崎 満・中村卓司・但野利秋	1989	(6-28) 追肥窒素がバレイショの収量および収量構成要素におよぼす影響. (6.植物の代謝および代謝成分)	土肥要旨集 35: 101.(講要)
大崎 満	1989	(6-29) バレイショの葉・塊茎における窒素化合物の集積経過. (6.植物の代謝および代謝成分)	土肥要旨集 35: 102.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
大崎 満・小柳 淳・信濃 卓郎・田中 明	1991	バレイショの生育各時期に各葉から同化 した ¹⁴ Cの各器官への転流.	土肥誌 62(3):274-281.
大崎 満・吉村 明・田中 明	1991	登熟中における炭素・窒素化合物の挙動 のトウモロコシとバレイショ間比較.	土肥誌 62(3):282-290.
大崎 満・相良和彦・田 中 明	1992	バレイショの各器官の生長におよぼす窒 素施与の影響.	土肥誌 63(1): 46-52.
Osaki, M., Nakamura, T. and Tadano, T.	1993	Production efficiency of nitrogen absorbed by-potato plant at various growth stages.	Soil Sci. Plant Nutri. 39(4): 583- 593.
Osaki, M., Yoshida, M., Nakamura, T. and Tadano, T.	1993	Accumulation of ribulose-1,5-bisphosphate carboxylase /oxygenase in potato plants and nitrogen distribution in each organ during growth in relation to productivity.	Soil Sci. Plant Nutri. 39(4): 595- 603.
大崎 満・中村卓司・但 野利秋	1994	バレイショの生育各時期に吸収した窒素 の生産効率.	土肥誌 65(1): 102.(抄録)
大崎 満・吉田実香・中 村卓司・但野利秋	1994	バレイショの生産性に関連したribulose- 1,5-bisphosphate carboxylase / oxygenaseの集積と各器官への窒素分 配.	土肥誌 65(1): 102.(抄録)
Osaki, M.	1995	Ontogenetic changes of N, P, K, Ca, and Mg contents in individual leaves and tubers of potato plants.	Soil Sci. Plant Nutri. 41(3): 417- 428.
Osaki, M., Shirai, J., Shinano, T. and Tadano, T.	1995	¹⁵ N-allocation of NH ₄ -N and ¹⁵ NO ₃ -N to nitrogenous compounds at the vegetative growth stage of potato plants.	Soil Sci. Plant Nutri. 41(4): 699- 708.
Osaki, M., Shirai, J., Shinano, T. and Tadano, T.	1995	Effects of ammonium and nitrate assimilation on the growth and tuber swelling of potato plants.	Soil Sci. Plant Nutri. 41(4): 709- 719.
大崎 満・白井 淳・信濃 卓郎・但野利秋	1996	バレイショの生育および塊茎肥大におよ ぼすアンモニアと硝酸の影響.	土肥誌 67(1): 91-92.(講要)
大崎 満・白井 淳・信濃 卓郎・但野利秋	1996	バレイショの栄養生長期における ¹⁵ NH ₄ - Nと ¹⁵ NO ₃ -Nから窒素化合物への ¹⁵ Nの分 配.	土肥誌 67(1): 92.(講要)
太田勝美・宮脇弘三	1957	秋作馬鈴薯生育相追跡に関する調査 (第1報) 農林1号の生育経過について.	農及園 32(12): 1801-1802.
太田勝美・宮脇弘三	1958	秋作馬鈴薯生育相追跡に関する調査 (第2報) 植付期の早晚が生育相に及ぼ す影響.	農及園 33(2): 378-380.
太田勝美・宮脇弘三	1958	秋作馬鈴薯生育相追跡に関する調査.	香川農試研報 4:1-10.
太田勝美	1967	秋馬鈴薯の合理的栽培法.	農及園 42(8): 1211-1215.
太田勝美・石田喜一郎	1969	早掘り馬鈴薯の栽培.	農及園 44(3): 504-508.
太田敏郎・長南信雄・ 川原治之助	1962	BCB (bromoclioline bromide)に関する研 究 (第2報) 馬鈴薯およびタバコの生育に およぼす影響.	茨城大農学術報告 9: 7-10.
大谷寿一・池羽正晴	2013	(21) 家畜ふんたい肥を併用栽培したジャ ガイモ3品種の可食部元素組成.	土肥要旨集 59: 267.(関東支 部講要)
大友養之助	1902	爪哇薯栽培法に就て.	大日本農會報 255: 27-28.
大津英子	2010	加工用バレイショの新しい栽培体系.	特産種苗 7: 33-37.
大津善雄	2008	(16) 生ごみ混合牛ふん堆肥の成分特性 と春バレイショ, 秋冬ダイコン及び冬ニン ジンへの施用効果.	土肥要旨集 54: 319.(九州支 部講要, その1)
大津善雄・石井研至	2008	バレイショ, ニンジン規格外品混合堆肥お よび生ごみ混合堆肥の特性と根菜類にお ける施用効果.	長崎総農試研報(農業) 34: 39-51.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
大津善雄・永田浩久・里脇岩男	2011	廃棄バレイショ炭化物の特性とバレイショ・レタスおよびダイコンへの施用効果.	長崎農技セ研報 2:63-78.
大槻貞夫・太田七郎・戸倉幸三	1978	馬鈴薯に関する肥料試験.	八岳馬鈴薯原原種農場, 15p. (タイプ印刷)
大杉佳世・大久保直樹・村上汎司・三島博美・秋好広明	1996	ジャガイモのタネイモの大きさの違いが収量に及ぼす影響.	愛媛大農農場報告 17: 59-64.
Pachepsky, L.B., Muschak, M., Acock, B., Koßmann, J., Blechschmidt-Schneider, S., Willmitzer, L. and Fisahn, J.	1998	Calculating leaf boundary layer parameters with the two-dimensional model 2DLEAF comparing transpiration rates of normal (cv. Desiree) and transgenic (sucrose transport antisense) potato plants.	BIOTRONICS. 27: 41-52.
Rykaczewska, K.	2013	Assessment of potato mother tuber vigour using the method of accelerated ageing.	Plant Produc. Sci. 16(2): 171-182.
Saha, U.K., Hye, M.A., Haider, J. and Saha, R.R.	1997	Effect of rice straw mulch on the water use and tuber yield of potato grown under different irrigation schedules.	Jpn. J. Trop. Agr. 41(3): 168-176.
埼玉縣大里郡新會村農會	1920	馬鈴薯増収栽培法に關する試験成績.	大日本農會報 466: 28-32.
斉藤伝七	1936	美深地方に於ける澱粉用馬鈴薯收穫上の注意.	北農 3(9): 352-354.
斉藤栄賢・中嶋東吾・日野原喜六・鈴木 功・町田庄一郎	1972	早掘りバレイショの經濟性.	群馬農試報告 11: 20-30.
斉藤元也・安田 環・金森哲夫・西宗 昭	1980	(18) でん粉廃液散布下における施肥法について 粗粒火山性土畑(斜網地区)における例.	土肥要旨集 26: 217. (北海道支部講要)
斉藤元也・金森哲夫・西宗 昭・安田 環・宮沢数雄	1983	乾性火山灰土壌畑におけるでん粉工場廃液散布下の合理的施肥法.	北農 50(6): 24-53. (号内のページ)
斉藤克史・笛木伸彦・加藤宗孝・中津智史	2005	(19-4) 土層内(0~60cm)硝酸性窒素診断を活用した, 生食用ジャガイモ「メイクイン」における施肥対応. (19.肥料および施肥法)	土肥要旨集 51: 138. (講要)
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・向島信洋・田宮誠司・草原典夫・中尾 敬	2014	バレイショ春作マルチ栽培における生育・収量特性と気象条件との関係.	九州農業研究発表会要旨集 77: 45. (講要)
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・松尾祐輝・尾崎哲郎・中尾 敬	2015	バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定技術 ー第1報: 種いも貯蔵条件 による休眠明け促進対策ー.	九州農業研究発表会要旨集 78: 26. (講要)
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・松尾祐輝・尾崎哲郎・中尾 敬	2015	バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定技術 ー第2報: 種いもの切断面の乾燥処理による腐敗軽減対策ー.	九州農業研究発表会要旨集 78: 27. (講要)
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・松尾祐輝・尾崎哲郎・中尾 敬	2015	バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定技術 ー第3報: 植付け後の灌水による種いも腐敗軽減対策ー.	九州農業研究発表会要旨集 78: 37. (講要)
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・向島信洋・田宮誠司・草原典夫・中尾 敬	1015	バレイショ春作マルチ栽培における生育・収量特性と気象条件との関係.	日作九支報 81: 37-38.
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・松尾祐輝・尾崎哲郎・茶谷正孝	2016	バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における増収および品質向上技術.	九州農業研究発表会要旨集 79: 21. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
坂本 悠・森 一幸・渡邊 亘・松尾祐輝・尾崎哲郎・茶谷正孝	2016	バレイショ新品種候補「ながさき黄金」の秋作普通栽培における増収および品質向上技術.	九州農業研究発表会要旨集 79: 22.(講要)
坂下泰葉・村山大樹・谷 昌幸・山内宏昭・小 嶋 浩	2014	2Ba3 カルシウム施肥による加工用馬鈴薯のミネラル含量の変化.	日食工学会講演集 61: 77.(講要)
坂下泰葉・村山大樹・中田一慎・谷 昌幸・山内宏昭・小 嶋 浩	2015	3Fp10 施肥条件が加工用馬鈴薯の貯蔵性に与える影響.	日食工学会講演集 62: 150.(講要)
佐久間義隣	1890	馬鈴薯を肥大に作る法.	農業雑誌 15(1)(360): 11.
櫻井道彦・新村昭憲・青木元彦・中辻敏朗	2010	(7) 各種市販鶏ふんの窒素無機化特性とばれいしょに対する施用効果.	土肥要旨集 56: 240.(北海道支部講要)
櫻井道彦・中辻敏朗・日笠裕治	2013	特別栽培農産物(バレイショ)における窒素代替資材としての鶏ふん堆肥の利用.	土肥誌 84(1): 53-57.
櫻井道彦・坂口雅己・日笠裕治	2016	北海道における有機栽培タマネギ・バレイショの窒素施肥対応.	土肥誌 87(3): 205-208.
作山一夫	1985	岩手県中北部におけるバレイショの生育特性.	東北農業研究 37: 107-108.
佐野真緒・住ノ江 努・植村弘之・谷 昌幸	2014	(6-2-12) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究(第2報) 塊茎のカルシウム濃度と打撲黒変および内部障害.(6-2 畑地土壤肥沃度)	土肥要旨集 60: 105.(講要)
佐野真緒・Rodney Gondwe・住ノ江 努・植村弘之・谷 昌幸	2015	(6-2-2) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究(第6報) 塊茎の元素組成と内部品質の実態.(6-2 畑地土壤肥沃度)	土肥要旨集 61: 114.(講要)
佐野真緒・住ノ江 努・植村弘之・谷 昌幸	2015	(4) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究(第4報) 十勝地域におけるカルシウム施肥試験.	土肥要旨集 61: 238.(北海道支部講要)
佐野真緒・Rodney Gondwe・住ノ江 努・植村弘之・谷 昌幸	2015	(6-2-2) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究(第6報) 塊茎の元素組成と内部品質の実態.(6-2 畑地土壤肥沃度)	土肥要旨集 61: 114.(講要)
佐々木篤太	1956	大豆並びに馬鈴薯に対する灌水試験.	北農研究抄報 3: 15-16.
佐田利行・泉 省吾	1995	重粘土壤への石炭灰の施用がバレイショの品質・収量に及ぼす影響.	九州農業研究 57: 47.
佐藤源左衛門	1890	早熟馬鈴薯栽培法.	農業雑誌 15(24)(383): 381-382.
佐藤 庚	1981	気温と地温の組合わせがバレイショの生育に及ぼす影響.	日作紀 50(3): 267-275.
佐藤喜代助・桂 勇	1953	馬鈴薯に対する培土の効果について.	東北農業 7(3): 68-73.
佐藤喜代助・工藤純・大泉久一	1959	馬鈴薯に対する加里増施効果の品種間差異.	東北農業研究 1: 69-71.
佐藤正明・出口哲久・ペマワンチュック・後藤晶子・岩間和人・実山豊・市川伸次	2007	土壤水分条件が北海道大学農学部附属農場で栽培したバレイショの吸水量に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 48: 85-86.(講要)
佐藤正人・岡 啓	1985	茎葉枯凋処理がばれいしょ塊茎の品質に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 25: 38.(講要)
佐藤 亮・伊藤正輔	1977	“栽培”,「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記監修).	グリーンダイセン普及会,札幌, pp.337-379.
佐藤康男	1954	三浦特産「おんば薯」の栽培と出荷.	農及園 29(12): 1523-1526.
沢畑 秀	1982	バレイショ二期作栽培法.	農業技術研究 36(8): 42-44.
関岡 行・江原 薫	1961	甘藷および馬鈴薯の生育並びに物質蓄積に及ぼす温度の影響.	日作紀 29(2): 316-317.(講要)
千田長二・松田昭雄	1960	バレイショ間作による青刈り作物の栽培.	東北農業研究 2: 120.
澁谷 茂・門野一雄	1948	馬鈴薯種薯の節減方法.	農及園 23(11): 637-638.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
澁谷 茂	1948	秋馬鈴薯栽培の急所.	富民 20(8): 25-26.
渋谷 茂・他	1956	秋馬鈴薯の栽培に関する研究.	滋賀県立農業短大学術報告 1部8号: 1-.
澁谷 茂	1958	水田地における秋作馬鈴しょの栽培.	農及園 33(9): 1395-1396.
澁谷紀起・羽根田栄四郎	1956	馬鈴薯冬播栽培の基礎的研究.	山形農林学会報 10: 3-4.
繁村 親	1950	“二期作馬鈴薯の栽培”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(飯島 茂 編).	日本園芸中央会, 長野県社村, pp.281-304
島袋正雄	1960	ジャガイモの手入れ.	琉大農家便り 61: 4-10.
嶋田永生・武井昭夫・早川岩夫	1973	路地そ菜の省力施肥に関する研究(第2報) 肥料形態,量およびポリマルチの有無がバレイショ, スイートコーンの生育に及ぼす影響.	愛知農総試研報(B, 園芸) 5: 15-23.
島田実幸	1980	バレイショ及びタマネギの損傷に関する研究.	北海道立農試報告 33: 1-95.
清水マスヨ	2015	バレイショ栽培における緑肥の地下水への硝酸態窒素負荷低減効果.	九州農業研究発表会要旨集 78: 44.(講要)
清水 強・中村 寛	1952	馬鈴薯の地上部生育量と収量との関係(第2報) 剪葉が収量に及ぼす影響.	中国四国農業研究 5・6: 52-53.
清水 強・中村 寛	1955	暖地馬鈴薯の豊凶判定試験.	農業技術 10(7): 325-326.
塩見 乾	1946	馬鈴薯の種薯自給について.	農及園 21(2): 90.
下森榮次郎	1893	馬鈴薯栽培及調理法.	農業雑誌 18(5)(472): 75-76.
白旗雅樹・田中英彦・渋谷幸平・竹中秀行・稲野一郎	2010	ばれいしょ栽培におけるストーンクラッシュの活用技術.	北農 77(1): 18-23.
白井 淳・大崎 満・但野利秋	1990	(4) バレイショの塊茎肥大に及ぼす硝酸態窒素とアンモニア態窒素の影響.	土肥要旨集 36: 82.(北海道支部講要)
白井 淳・大崎 満・但野利秋	1991	(7) バレイショの塊茎肥大におよぼす $\text{NO}_3\text{-N}$ と $\text{NH}_4\text{-N}$ の影響.	土肥要旨集 37: 222.(北海道支部講要, その2)
白井建史・北川隆徳・安原貴臣	2014	酵母抽出物含有液体肥料(CW1)がバレイショ塊茎形成および収量に及ぼす影響.	園学研13(別2): 484.(講要)
白石延太郎・池田照三郎	1888	馬鈴薯は水田の裏作として利あり.	農業雑誌 13(35)(322): 555-556.
白尾 史・富濱 毅・井上健一・上蘭一郎・長友誠・古江広治	2015	米ぬか施用量の違いがバレイショ生育及び土壌微生物性に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 78: 49.(講要)
東海林繁治	1933	馬鈴しょの作り方.	教育農藝 2: 999.
東海林繁治	1935	馬鈴薯の地中主莖上に於ける節數並に側枝と塊莖發育との關係.	園学雑 6(1): 145-157.
東海林繁治	1936	馬鈴薯種薯栽培上肥料要素の多少が翌年度の生産力に及ぼす影響.	園学雑 7(1): 185-193.
東海林繁治	1936	馬鈴薯種薯の更新に就て.	教育農藝 4(11).
東海林繁治	1940	馬鈴薯の莖植付栽培に関する實驗.	教育農藝 9(5): 46-
東海林繁治	1940	馬鈴薯栽培に関する試験成績.	宮城農試彙報 14.
東海林繁治	1942	馬鈴薯栽培に関する技術的検討.	農及園 17(5): 622-626.
首藤春雄	1934	収量と收穫期に大影響を及ぼす馬鈴薯の植付期の研究.	農業世界 29(15): 63-
進藤幸広・松尾良満	1987	春作マルチバレイショの栽培に関する研究 第2報 $\text{N} \cdot \text{P}_2\text{O}_5 \cdot \text{K}_2\text{O}$ の施肥量の影響.	九州農業研究 50: 58.
早田隆典・矢野文夫	1984	ばれいしょ連作畑における土壌改良資材および有機物施用の効果について.	長崎総農試研報(農業) 10: 43-50.
早田隆典・矢野文夫	1986	ばれいしょ畑土壌の微生物相に及ぼす有機物施用および陽熱処理の影響.	長崎総農試研報(農業) 12: 59-70.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
相馬 暁・川原祥司・目黒孝司	1986	農業団地の実態解明と改善対策 II 八雲町におけるバレイショ畑土壌の実態と養分吸収状況からみた、肥培管理への二、三の提言.	北農 53(6): 24-43. (号内のページ)
相馬 暁・山田 宏・目黒孝司	1987	農業団地の実態解明と改善対策 第3報 渡島中部地区バレイショ畑の実態とライマン価.	北農 54(9): 27-40. (号内のページ)
相馬 暁・目黒孝司・川原祥司	1987	(22) 施肥・栽培条件がバレイショのライマン価に及ぼす影響.	土肥要旨集 33: 235. (北海道支部講要)
菅野七郎	1943	馬鈴薯の秋栽培.	教育農藝 12(9): 44-47.
菅原清康	1960	機械化に伴う畑作雑草防除体系の確立に関する研究 第2報 馬鈴しよの生産収量に対する雑草の影響および除草時期について.	新潟大農学術報告 12: 43-57.
菅原清康	1961	機械化に伴う畑作雑草防除体系の確立に関する研究 第3報 馬鈴しよの生産収量に対する畦内一部雑草の影響および除草時期について.	新潟大農学部農林研究 13: 27-35.
菅原清康	1962	機械化に伴う畑作雑草防除体系の確立に関する研究 第5報 雑草の種別が馬鈴しよの収量におよぼす影響.	新潟大農学部農林研究 14: 53-61.
菅原清康	1962	機械化に伴う畑作雑草防除体系の確立に関する研究 第6報 馬鈴薯における除草作業体系.	新潟大農学部農林研究 14: 63-74.
菅原清康・泉 久司・山下米治	1968	ポテトスピナーによるイモ類の掘残し量とこれに関与する諸要因との関係 第1報 バレイショの掘取り.	農作業研究 33: 20-35.
菅原友太	1939	馬鈴薯塊茎の生産量形状及び炭水化合物の蓄積に及ぼす加里の影響.	土肥誌 13(12): 829-839.
菅原友太	1941	馬鈴薯塊茎の呼吸作用酵素力及びアスコルビン酸含有量に対する加里の影響に就て.	土肥誌 15(3): 153-164.
菅原友太	1942	馬鈴薯の生育・収量に及ぼす硼素の影響.	農及園 17(6): 769-771.
菅原友太	1944	作物の生育に対する土壌通気の影響 (第一報) 土壌空気中に於ける酸素及び炭酸瓦斯濃度と馬鈴薯の生育・収量との関係に就て.	土肥誌 18(4-5): 185-190.
杉 頌夫	1950	暖地二期作馬鈴薯栽培に対するエチクロリン処理の実用性.	農業技術 5(10): 34-38.
杉 頌夫・安藤隆夫	1953	馬鈴薯の塊茎肥大に及ぼす気温並に地温の影響 (予報).	日作紀 22(1・2): 123-124.
杉 頌夫	1954	暖地馬鈴薯栽培の改善.	農業技術 9(4): 5-9.
杉田文三	1897	第一節 馬鈴薯. (第九章 塊茎類及び需根類其他栽培篇, 「実用農業新書」)	大河村農会, 大河村 (埼玉県), pp.99-100.
杉戸智子・大友 量・信濃卓郎・岡 紀邦	2013	(P7-1-8) アーバスキュラー菌根菌活用による春コムギ, バレイショ栽培でのリン酸減肥の可能性. (ポスター, シンポジオン, 7-1 肥料および施肥法)	土肥要旨集 59: 139. (講要)
杉戸智子・君和田健二・信濃卓郎	2013	(20) リン酸減肥がバレイショの収量・品質に及ぼす影響.	土肥要旨集 59: 244. (北海道支部講要)
杉戸智子・大友 量・岡 紀邦	2014	(P7-1-2) 春コムギ, バレイショ栽培でのアーバスキュラー菌根菌宿主作物による前作効果の年次間差. (ポスター, 7-1 肥料および施肥法)	土肥要旨集 60: 130. (講要)
杉浦 綾	2016	画像による圃場作物の生長計測.	作物学会講要集 243: 237. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
鈴木清史	2002	馬鈴しょ収穫時の茎葉処理と茎葉枯凋剤「デシカン乳剤」の上手な使い方。(経営・技術)	農家の友 54(6): 76-78.
鈴木正昭	2008	土と肥料とジャガイモ.	いも類振興情報 96: 4-7.
鈴木農園	1906	馬鈴薯栽培に就て.	農業雑誌 31(8)(943): 121.
鈴木孝之	1936	馬鈴薯の早熟栽培上に於ける諸注意.	農及園 11(12): 2967-2971.
鈴木 剛・松永 浩	2001	播種床造成によるバレイショの高度生産性作業システム.	北海道立農試集報 81: 53-56.
鈴木 剛	2003	バレイショ播種床造成栽培法における収量性の向上と適応土壌型.	北海道立農試集報 85: 21-24.
鈴木 剛	2012	“2節-(2)-1) -オ 収穫”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.187-190.
田畑建司・栗原 浩	1962	馬鈴薯の生育相に関する研究 第Ⅶ報 馬鈴薯の栽植密度決定に関する生態的研究.	日作紀 31(3): 293-296.
田畑建司・栗原 浩	1963	馬鈴薯の生育相に関する研究 第Ⅷ報 作季の移動に伴う適栽植密度の決定に関する研究.	日作紀 32(4): 293-296.
田畑建司・栗原 浩	1965	雑草々種の差異と馬鈴薯の生育・収量との関係.	育種・作物学会北海道談話会報 5: 10-11.(講要)
田畑建司・高瀬 昇	1967	馬鈴薯の収量に対する莖の伸長の意義.	育種・作物学会北海道談話会報 7: 21-22.(講要)
田畑建司・高瀬 昇	1968	窒素・リン酸多肥がばれいしょの生育・収量に及ぼす影響.	北海道農試彙報 92: 1-20.
田畑建司・高瀬 昇・栗原 浩	1969	ばれいしょの第1花梗着生部位の高低と収量との関係について.	日作紀 38(1): 53-59.
田端建司	2000	小粒(全粒)種いもの生産について.	いも類振興情報 64: 1-4.
田渕浩康・山之内智子・仁王以智夫	1997	(6-30) 栽培管理の違いが畑地土壌の根圏微生物相に及ぼす影響 環境保全型農業におけるジャガイモ根圏の微生物フロアの一例. (6.土壌生物)	土肥要旨集 43: 49.(講要)
田渕浩康・内藤智子・小杉明子・仁王以智夫	1998	(6-7) 栽培管理の違いが畑地土壌の根圏微生物相に及ぼす影響(第2報) ジャガイモ根圏の細菌及び糸状菌フロアの比較. (6.土壌生物)	土肥要旨集 44: 38.(講要)
田渕浩康・内藤智子・小杉明子・仁王以智夫	2000	栽培管理の異なるジャガイモの根部に生息する微生物相の特徴.	土と微生物 54(1): 41-49.
田渕尚一・小村国則・茶谷正孝・篠田教一	1990	バレイショ新品種「メイホウ」の生育特性について 第3報 密植栽培が生育収量に及ぼす影響.	九州農業研究 52: 41.
田渕尚一	1991	暖地秋作ばれいしょ生産技術の改善.	農業技術 46(1): 14-18.
田渕尚一・小村国則・茶谷正孝・藤山俊計	1993	良品バレイショ生産に及ぼす輪作の効果.	長崎総農試研報(農業) 19: 77-87.
田渕尚一	1994	暖地バレイショの作り方と連作問題.	いも類振興情報 38: 9-13.
立花寛治	1895	馬鈴薯. (「穀菜栽培便覧」改正3版)	立花寛治, 柳河城内村(福岡県), pp.36-37.
田口啓作	1951	寒冷地における馬鈴薯栽培の問題点.	農業技術 6(6): 24-27.
田口啓作	1946	馬鈴薯の増産と品種問題. (特輯 馬鈴薯の研究)	農及園 21(2): 55-58.
田口啓作	1950	“馬鈴薯増産に対する技術的根底”. 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(飯島 茂 編).	日本園芸中央会, 長野県社村, pp.245-267.
田口啓作	1950	東北地方に於ける水田裏作と裏作馬鈴薯に就て.	東北農業 4(2): 16-22.
田口啓作	1953	馬鈴薯の浴光催芽栽培法.	農及園 28(1): 79-82.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
田口啓作	1955	ベルビタンK 利用による冷涼地帯における馬鈴薯の夏秋作.	農及園 30(12): 1569-1572.
田口啓作・佐藤喜代助・工藤 純	1956	肥料用量の相違が馬鈴薯品種の生育相に及ぼす影響 (第1報) 加里施用量と地上部生育並びに塊茎収量との関係.	日作紀 25(1): 47.(講要)
田口啓作・吉田 稔・中世古公男・由田宏一	1969	ばれいしょの生育に及ぼす地温の影響について.	育種・作物学会北海道談話会報 9: 24.(講要)
田口啓作・吉田 稔	1969	ばれいしょの塊茎内でんぷん分布の品種間差異.	育種・作物学会北海道談話会報 9: 24-25.(講要)
田口啓作	1977	“栽培上の基本的な考え方”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.325-335.
田口 達	1935	南鮮地方に於ける水田裏作として有利なる馬鈴薯の栽培について.	農業 658: 59-78.
谷口新吉	1919	代用食馬鈴薯の栽培に就て.	日本農業雑誌 15(12): 38-42.
平 直樹・中村誠二・高倉朋宏・菅谷 博・竹中眞・下田星児	2016	野良イモの着生と低温条件における腐敗の検証.	北農 83(4): 340-345.
高田 實	1947	馬鈴薯栽培の数学的考察.	農及園 22(6): 330.
高田 修・大波正寿・岩間和人・中世古公男	1992	根量を異にするバレイショ品種の相反接木植物における水ストレスの影響.	日作紀 61(別2): 167-168.(講要)
高木睦夫・小野末太	1966	(8) 馬鈴薯栽培適地条件に関する調査研究.	土肥要旨集 12: 23.(九州支部講要, その1)
高木睦夫・小野末太	1967	(30) 土壌の種類と形態別窒素含量について (第2報) 土壌条件と馬鈴薯の品質に関する解析的研究.	土肥要旨集 13: 62.(九州支部講要, その2)
高橋淳根・田中清明・山田一徳	2008	DB菌堆肥・液状コーティング剤と馬鈴薯栽培への影響.	畜産の研究 62(3): 375-379.
高橋洋幸・梅村芳樹	1995	自然日長を利用した早生ばれいしょの遅植え多収栽培の試み.	育種・作物学会北海道談話会報 36: 136-137.(講要)
高橋洋幸・梅村芳樹	1996	自然日長を利用した早生ばれいしょの遅植多収栽培の試み (続報).	育種・作物学会北海道談話会報 37: 120-121.(講要)
高橋 昇・田畑建司	1966	馬鈴薯の施肥量に関する試験 第1報 窒素およびリンの施用量と生育・収量との関係. (赤字は誤植を訂正)	日作紀 34(3): 345.(講要)
高瀬 昇・田畑建司・岡啓・吉田 稔・由田宏一・上野賢司・浅間和夫・久木村 久・山本貞一・折目芳明・畑山幸一	1974	ばれいしょ栽培条件に対する生育反応の地域差に関する研究.	北海道農試報告 109: 1-17.
高山昭康・酒井辰夫	1954	秋作馬鈴薯の発芽促進処理に対する種薯の選択及び切断法.	日作紀 23(1): 63.(講要)
高山昭康	1955	兵庫県における馬鈴薯の退化現象.	農業技術 10(4): 183-184.
建部雅子・米山忠克	1992	カンショ・バレイショのアスコルビン酸含有率に対する窒素および遮光処理の影響.	土肥誌 63(4): 447-454.
建部雅子・細田洋一・笠原賢明・唐澤敏彦	1998	(12-7) バレイショ等畑作物の栄養条件と汁液の無機成分濃度. (12.農産物の品質・成分)	土肥要旨集 44: 116.(講要)
建部雅子・笠原賢明・唐澤敏彦	1999	(12-11) バレイショ栄養診断のための汁液の特性と診断指標. (12.農産物の品質・成分)	土肥要旨集 45: 151.(講要)
建部雅子・古賀伸久・笠原賢明・唐澤敏彦	2000	(12-5) バレイショの汁液診断における試料採取部位およびリンの簡易分析法の検討. (12.農産物の品質・成分)	土肥要旨集 46: 113.(講要)
建部雅子・細田洋一・笠原賢明・唐澤敏彦	2001	バレイショの葉柄汁液を用いた栄養診断.	土肥誌 72(1): 33-40.
武田武一	1954	農村論壇・端境期の馬鈴薯増産対策.	農村 32(2): 32.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
武川満夫・中沢要一	1946	馬鈴薯の抑制栽培.	農及園 21(5): 220-221.
竹村 紘・市川伸次・岩間和人	2014	有機栽培および慣行栽培におけるバレイショの収量と地上部生育の比較.	作物学会講要集 238: 29.(講要)
竹村 紘・鈴木若菜・市川伸次・岩間和人	2015	バレイショの地上部生育および収量における有機栽培と慣行栽培の比較.	育種・作物学会北海道談話会報 55: 69-70.(講要)
竹村 紘・鈴木若菜・市川伸次・岩間和人	2016	バレイショの有機栽培と慣行栽培における葉の厚さの差異が乾物生産に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 56: 56-57.(講要)
竹内晴信・宮脇 忠・松中照夫	1992	(8-14) バレイショの生育に伴う土壌水分消費量の推移. (8. 畑・草地および園地土壌の肥沃度)	土肥要旨集 38: 121.(講要)
竹内晴信・宮脇 忠・松中照夫	1992	(1) バレイショの収量・品質に及ぼすかん水時期の影響.	土肥要旨集 38: 239.(北海道支部講要)
竹内晴信・市川信雄	1993	(1-10) バレイショに対する最適かん水量の検討 土壌水分環境に及ぼす培土の影響. (1.土壌物理)	土肥要旨集 39: 5.(講要)
竹内 鼎	1930	春植爪哇薯の種薯予措に就て.	農及園 5(2): 241-243.
竹内 鼎	1931	爪哇薯早熟に對する種薯予措に就て.	農及園 6(3): 473-475.
竹内 鼎	1936	水田裏作爪哇薯の栽培.	農業 664: 54-58.
田村 元・中津智史	2005	(10) 十勝管内における食用ばれいしょの有機栽培事例と問題点.	土肥要旨集 51: 236.(北海道支部講要)
田村 元・渡邊祐志	2015	2. 十勝地域における生食・加工用バレイショ品種の窒素施肥反応.	土肥要旨集 61: 237.(北海道支部講要)
田村 元・中津智史・竹内晴信・加藤 淳 □	2015	北海道における有機栽培ばれいしょの安定生産技術 2. 有機質肥料の施肥方法.	北農 82(3): 274-278.
田村市太郎	1946	馬鈴薯切断面に對する塗灰と無塗灰.	農及園 21(10): 539-541.
田中絵利子・古橋 卓・大竹正枝・鈴木 卓・大澤勝次	2004	ジャガイモの定植と散歩における作業後の副交感神経活動の相違.	園学雑 73(別2): 506.(講要)
田中英彦・竹中秀行・六辻芙美子・鈴木 剛・大波正寿・加藤 淳・田村 元・江部成彦・白井滋久・柳沢 朗・森 久夫・五十嵐龍夫・五十嵐強志・入谷正樹・三浦 周・田中静幸・藤田涼平・中村隆一	2009	加工用ばれいしょにおけるソイルコンディショニング栽培の体系化技術.	北農 76(4): 431-437.
田中 智	1999	高品質加工原料馬鈴しょの生産.	いも類振興情報 60: 1-5.
田中正一・古江広治・森田重則	2004	(19-55) 成分調節型肥料による春作ジャガイモ栽培. (19. 肥料および施肥法)	土肥要旨集 50: 158.(講要)
田中俊憲・富永重敏・永尾嘉孝・太田孝彦	1997	(26) 西南暖地バレイショ栽培における有機物の施用効果.	土肥要旨集 43: 421.(九州支部講要,その1)
谷 昌幸・佐野真緒・住ノ江 努・植村弘之	2014	(6-2-11) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究 (第1報) 土壌中のカルシウムとリン酸の実態. (6-2 畑地土壌肥沃度)	土肥要旨集 60:105.(講要)
谷 昌幸・佐野真緒・Rodney Gondwe・住ノ江 努・植村弘之	2015	(6-2-1) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究 (第5報) 三要素施肥と塊茎の収量および品質との関係. (6-2 畑地土壌肥沃度)	土肥要旨集 61: 114.(講要)
谷 昌幸・佐野真緒・住ノ江 努・植村弘之	2015	(3) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究 (第3報) 上川地域におけるカルシウム施肥試験.	土肥要旨集 61: 237.(北海道支部講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
谷 昌幸・佐野真緒・Rodney Gondwe・住ノ江 努・植村弘之	2015	(6-2-1) 北海道の加工用バレイショ栽培における施肥に関する研究(第5報) 三要素施肥と塊茎の収量および品質との関係. (6-2 畑地土壌肥沃度)	土肥要旨集 61: 114.(講要)
谷 智博	2012	北海道で広がるジャガイモの早期培土.	現代農業 91(5): 152-155.
谷川 潤・小林司・萩原雄真・出口哲久・岩間和人・市川伸次	2013	バレイショの根通導コンダクタンスに影響する根系形質の解析.	育種・作物学会北海道談話会報 54: 83-84.(講要)
谷川 潤・萩原雄真・鈴木健太郎・出口哲久・市川伸次・岩間和人	2015	ポットで栽培したバレイショ品種の初期生育および根通導コンダクタンスに及ぼす土壌乾燥ストレスの影響.	育種・作物学会北海道談話会報 55: 71-72.(講要)
谷口健雄・大崎玄佐雄	1986	畑作物の品質向上に対する土壌肥料的検討(第3報) - 食品加工用馬鈴しょの品質に及ぼす土壌養分と施肥の関係 -.	土肥講要集 32: 217.(講要)
谷口健雄・沢口正利	1988	(3) 畑作物の品質向上に関する土壌肥料的検討 第5報 バレイショに対する前作の影響.	土肥要旨集 34: 216.(北海道支部講要)
谷口健雄	1990	加工用ばれいしょの肥培管理改善による品質向上.	農業技術 45(4): 150-155.
谷口健雄	1992	加工用バレイショの肥培管理と品質.	土肥誌 63(6): 723-727.
谷水 澄	1888	馬鈴薯栽培法.	農業雑誌 13(5)(292): 78.
立石静男・中馬克己・陣野久好	1958	水稻早期栽培跡の秋馬鈴薯栽培.	日作九支報 13: 12-15.
蓼内さおり・三枝正彦・鈴木和美	2006	好酸性作物, バレイショの生育・収量に対するアシドロコンポストの施用効果.	複合生態フィールド教育研究センター報告(東北大院農学研究科) 22: 25-29.
立野喜代太・柳川正雄・田原 稔	1997	ジャガイモの土寄せの効果.	佐賀大農農場報告 1: 16-18.
寺元信幸・三宅俊秀・辻 雅文・石井博之・塚本清音	2006	羊蹄山麓地域におけるばれいしょ栽培法改善技術の実証 第1報 土壌の物理性が変形いも長谷氏に及ぼす影響.	北農 73(1): 8-13.
寺沢保男	1921	馬鈴薯種薯の切斷に就て.	農學會報 221号.
照本 勲	1951	貯蔵馬鈴薯塊茎の過冷却について.	低温科学 8: 177-178.
手塚光明	1983	水田転換畑における馬鈴しょの導入に関する試験 1.「男しゃくいも」の畦幅60cm高畦栽培について.	育種・作物学会北海道談話会報 23: 34.(講要)
戸田節郎	1951	馬鈴薯収量予測方式の研究.	農及園 26(6): 675-676.
東京府農事試験場	1901	馬鈴薯ノ部. (「東京府農事試験場夏作一覽」)	東京農事誌, 瀧野川町(東京府), pp.30-33.
藤間 充・渋谷暁一・三枝正彦	1994	(8-34) 石膏類特にリン酸石膏の農業的利用に関する研究 第2報 ジャガイモに対する施用効果. (8.畑地,草地および園地土壌の肥沃度)	土肥要旨集 40: 144.(講要)
藤間 充・三枝正彦・渋谷暁一	1995	ジャガイモに対するリン酸石膏の施用効果.	土肥誌 66(3): 264-266.
富濱 毅・森 清文・西八東・白尾 吏・池田成志	2015	(S3-2-12) 米ぬか施用によるジャガイモそうか病の抑制と土壌微生物群集の変化. (ミニシンポジウムS3-2 土壌微生物研究を農業にどう役立てるか-基礎研究から実用化への展開, 3-2 土壌生物の応用と制御)	土肥要旨集 61: 46.(講要)
鳥潟博高	1946	種馬鈴薯の老化防止.	農業朝日 1(8).
鳥居 嵩	1950	馬鈴薯の茎葉とその肥料的価値.	若い農業 5(8): 32-33.
鳥生誠二・近藤武由・久保博文	1982	ジャガイモ「デジマ」の秋作への利用.	園学中四国支部要旨. 21: 41.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
鳥生誠二・近藤武由・久保博文	1985	新規造成畑における秋作ジャガイモ「デジマ」の栽培特性.	愛媛農試研報 24: 8-12.
富山農事試	1922	稲の前作としての馬鈴薯栽培試験.	大日本農會報 492: 17-20.
豊岡治平・佐久間知己	1942	種薯節約馬鈴薯の一芽栽培.	農及園 17(9): 1173-1174.
豊岡治平	1947	山崎保平氏の圃場に於ける水田高度輪作の試験成績.	農及園 22(4): 123-132.
豊岡治平	1955	岡山県の馬鈴薯二期作について.	農業技術研究 9(7): 23-26.
豊岡治平・秋山昌弘	1957	瀬戸内沿岸における二期作馬鈴薯栽培から出荷まで.	農及園 32(3): 455-458.
豊岡太郎	1946	馬鈴薯の一芽栽培.	農業世界 41(3): 36-
戸沢英男・池田正昭	1987	ばれいしょ矮化剤としてのCCCの効果.	育種・作物学会北海道談話会報 27: 7.(講要)
戸沢英男・池田正昭	1989	馬れいしょにおける生育調節剤実用化と品種間差異.	育種・作物学会北海道談話会報 29: 34.(講要)
土屋一成・塩崎尚郎	1987	(3) バレイショの生育に及ぼす土壌水分の影響.	土肥要旨集 33: 305.(中部支部講要, その1)
土屋一成・塩崎尚郎	1988	土壌の水分環境とバレイショ生育.	北農 55(3): 34-44.
津田昌吾・高田明子・小林 晃・森 元幸	2002	十勝地方におけるばれいしょの生育特性.	北農 69(2): 140-144.
津田昌吾・岡田昌宏・田宮誠司・西中未央・浅野賢治	2011	バレイショにおけるジベレリン処理の塊茎数への影響.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 101-102.(講要)
津田昌吾・岡田昌宏・田宮誠司・西中未央・浅野賢治	2012	異なる培土条件におけるバレイショのジベレリン処理が塊茎数へ及ぼす影響の品種間差異.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 39-40.(講要)
辻 博之・臼木一英・根本英子・津田昌吾	2013	広畝多条栽培におけるバレイショの増収の可能性.	作物学会講要集 235: 122-123.(講要)
辻 博之・根本英子・尾崎英樹・国立卓生	2014	バレイショにおける千鳥植え栽培の収量性.	作物学会講要集 237: 108-109.(講要)
辻 博之・杉浦 綾	2014	UAVを用いた植被率調査から推定したバレイショの受光日射量と収量との関係.	作物学会講要集 238: 30.(講要)
辻 岩次郎	1892	第十六章 馬鈴薯. (「實驗農業書」)	辻薫芳堂, 山添村(奈良県), p.28.
津野幸人	1977	光合成作用と呼吸作用からみた馬鈴薯の乾物生産.	鳥取大農研報 29: 96-102.
鶴内孝之・陣野久好	1986	ジャガイモの短期輪作に関する研究 1 輪作年数と収量およびそうか病との関係.	長崎総農試研報(農業) 12: 11-17.
内野 宙・杉浦恵理・岩間和人・寺内方克・実山 豊	2006	バレイショとトウモロコシの有機栽培においてカバークロップが雑草抑制と土壌微生物活性に及ぼす影響.	作物学会講要集 221: 44-45.(講要)
上田秋光	1947	馬鈴薯の温床苗移植法による促成栽培.	北農 14(3).
植田幸輔・田浦種城	1930	爪哇薯種薯に対する数種の豫措法が其の發芽生育並に生産物の品質數量に及ぼす影響に就て(第1報).	日作紀 2(1): 21-31.
上野賢司・浅間和夫・村上紀夫・金子一郎	1968	機械化栽培のための小粒種いもの生産に関する試験.	北農 35(5): 6-13.
上野正市	1957	馬鈴薯の収量の推定について.	日作紀 26(2): 126-127.
植野佐平治	1886	瓜哇薯栽培の景況.	大日本農會報告 61: 2-3.
氏原光二・西尾敏男	1948	高冷地における馬鈴薯の水田裏作と稲作との綜合増産.	農及園 23(4): 247-250.
梅村芳樹・平田秀幸	1994	バレイショ無(低)農薬多収栽培技術の開発および適品種の選定.	育種・作物学会北海道談話会報 35: 44-45.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
海野佑介・信濃卓郎・南澤 究・池田成志	2014	(S3-1-17) ジャガイモ根圏では主要な施肥成分の制限により <i>Rhizobium</i> 属細菌が寡占化する.(ミニシンポジウム S3-1,3-1 土壌生物の生態と機能)	土肥要旨集 60: 34.(講要)
漆崎末夫・一ノ瀬靖則・遠藤千絵	1995	栽培条件によるばれいしょ剥皮黒変の抑制.	北農 62(2): 149-153.
牛木 純・近藤 史・三木信夫・大石顕一・内藤繁男	1999	(23) 追肥および石炭灰利用脱硫装置副産物の施用がジャガイモ品種「サクラフブキ」の貯蔵中陥没症状に及ぼす影響.	土肥要旨集 45: 330.(北海道支部講要)
牛木 純・近藤 史・嘉島芳井・福田 豊・上田 実	2001	(11-20) カルシウムおよびホウ素の施用がジャガイモ次代塊茎の発芽におよぼす影響.(11.植物の栄養生態)	土肥要旨集 47: 114.(講要)
臼木一英・岩田幸良・廣田知良	2007	十勝地方における土壌凍結が野良生えイモの生存に及ぼす影響.	作物学会講要集 224: 240-241.(講要)
臼木一英・廣田知良	2014	寒地における野良いも発生を防止するための圃場管理技術.	いも類振興情報 121: 34-41.
臼木一英・津田昌吾・根本英子・辻 博之	2015	窒素分施がバレイショの葉色および収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 239: 166.(講要)
臼木一英	2016	ジャガイモシストセンチュウ対抗植物 <i>Solanum peruvianum</i> の高刈りが再生に及ぼす影響.	作物学会講要集 242: 72.(講要)
臼木一英・小川健一	2016	グルタチオン配合肥料がバレイショの生育および収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 243: 153.(講要)
van Loon, C.D.・Müller, K. (五島一成 訳)	1985	馬鈴しょの栄養価に及ぼす土壌と施肥の影響 (1).	農及園 60(5): 647-653.
van Loon, C.D.・Müller, K. (五島一成 訳)	1985	馬鈴しょの栄養価に及ぼす土壌と施肥の影響 (2).	農及園 60(6): 768-774.
和田福三郎	1944	馬鈴薯の一芋植増収栽培.	農業世界 39(1): 56-
和田友則・柴田洋一	2011	バレイショの植え付け向きによる収量の違いについて.	育種・作物学会北海道談話会報 52: 93-94.(講要)
若林勝史・石田茂樹・大津英子	2012	てんさい直播とばれいしょソイルコンディショニングを核とする新生産体系の経営的評価.	北農 79(2): 174-179.
若林勝史	2016	てん菜直播, ばれいしょソイルコンディショニングを核とする新体系の導入効果.	砂糖類・でん粉情報 43: 46-52.
若澤秀幸・鈴木則夫・大城 晃・福島 務	1999	(10) 豚ふん堆肥連用下における施肥窒素削減がキャベツとバレイショの収量及び土壌化学性に及ぼす影響.	土肥要旨集 45: 420.(中部支部講要)
脇田永生・武井昭夫・早川岩夫	1973	(11) 露地そ菜の省力施肥に関する研究(第3報) ポリマルチ・肥料の形態および量がバレイショの生育に及ぼす影響.	土肥要旨集 19: 70.(中部支部講要)
渡部 一郎	1958	馬鈴薯の発芽に及ぼす電撃の效果に就いて - 馬鈴薯休眠塊茎の発芽促進 (1).	電研月報 3(4): 8-12.
徐会連・秦斐斐・徐啓聡・談俊益	2010	植物生産における早生生理学の応用 - 根系部分乾燥による馬鈴薯の成長改善.	園学研 9(別1): 361.(講要)
矢田憲吉	1941	馬鈴薯の増産と種薯の更新.	農及園 16(4): 695.
山田 盾・岩田岩保・田中滋郎	1986	畑地高度利用のための作付方式の開発 4. サトイモ・ジャガイモの秋期植付時期と萌芽.	日作紀 55(別2): 61-62.(講要)
山口辰一郎・男沢良吉・須賀忠夫	1955	根釧地方の麦類・馬鈴薯及び飼料用根菜類.	北農 22(8): 270-275.
山岩肯哉	1950	秋作馬鈴薯の催芽 - 季節の技術 -.	新園芸 3(8): 46-47.
山木正五	1965	馬鈴薯の交互畦別生育不動の一事例(予報).	育種・作物学会北海道談話会報 5: 9.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
山本正五	1967	馬鈴薯における堆肥の施用時期について.	育種・作物学会北海道談話会報 7: 20.(講要)
山道弘敬	2014	イモが変わる! ジャガイモに硝酸カルシウム. (Q&A)	現代農業 93(5): 182-185.
山本平三	1998	秋作バレイショ産地復活の誓い.	いも類振興情報 55: 9-12.
山本平三・石橋哲也・中山敏文・中島正明	2002	春バレイショにおける施肥窒素削減 第1報 局所施肥位置の違いと生育および収量.	九州農業研究 64: 182.
山本健吾・野田健児	1944	馬鈴薯種薯の節約.	農及園 19(12): 1059.
山本健吾・大泉久一	1949	馬鈴薯の塊茎形成に及ぼす土壌組成差異の影響.	農及園 24(7): 464-466.
山本貞一・及川邦男・久木村 久	1972	ばれいしょ小粒いもの生産方法とその栽培についての試験.	北農 39(1): 28-37.
山本友英・中田和男・小峰 豊	1988	バレイショの <i>in vitro</i> tuber形成に及ぼすCCCの影響.	日作紀 57(別1): 229-230.(講要)
山島由光	1992	“3-5 馬鈴しょの収穫、貯蔵の課題”, (ポストハーベストの現状と今後の課題. 3. 畑作物の品質向上と加工適性)	北農 59(4): 391-393.
山下義幸・鳥倉弘文	1992	分割種バレイショの収量性.	明治大農研報 93: 43-46.
山時隆信	1920	岸式馬鈴薯栽培法.	大日本農會報 468: 30-31.
山崎肯哉	1950	神奈川県の前掘り甘藷・馬鈴薯.	新園芸 別冊(1950-05): 237-239.
山崎肯哉・芳賀昭世・加藤 昭	1950	甘藷・馬鈴薯の発育と施肥試験〔第1報〕.	育種と農芸 5(10): 37.
山崎肯哉	1950	馬鈴薯の収穫と貯蔵 一季節の技術一.	新園芸 3(6): 66-67.
山崎肯哉	1953	馬鈴薯の早出し栽培法.	農及園 28(1): 83-85.
山崎俊次	1935	馬鈴薯収穫上の注意.	北農 2(9).
山崎俊次	1937	北海道に於ける工業原料用としての馬鈴薯増収法.	農業 685: 58-65.
柳田雅芳・熊谷憲治・横井正治	1978	緑肥鋤込土壌におけるバレイショの生育、収量.	東北農業研究 21: 129-130.
矢野文夫・永尾嘉孝・早田隆典	1979	ばれいしょ連作地の土壌管理の実態.	九州農業研究 41: 109-110.
矢野文夫・永尾嘉孝・早田隆典	1984	ばれいしょ連作栽培の畑土壌について.	長崎総農試研報(農業) 10: 35-42.
吉川省子・藤井義晴・藤原伸介・村上敏文・花野義雄・吉田正則	2005	(16-6) ヘアリーベッチを用いた低投入型バレイショ栽培. (16.畑地土壌肥よく度)	土肥要旨集 51: 128.(講要)
安田慎一・三上晃一郎	2008	収穫時期が加工用馬鈴しょ品種「きたひめ」の品質に及ぼす影響.	育種・作物学会北海道談話会報 49: 71-72.(講要)
安田慎一・中畠正之・坂野 綾・道端沙織	2009	加工用馬鈴しょの貯蔵およびリコンディショニング条件. (平成21年度年次講演会一般講演)	育種・作物学会北海道談話会報 50: 83-84.(講要)
矢崎玄八	1899	爪哇薯の種薯に就て.	大日本農會報 212: 6-9.
余吾卓也	1954	準高冷地一作産馬鈴薯の薯種価値.	農業技術 9(12): 28-29.
余吾卓也	1954	愛媛県における早掘馬鈴薯の栽培と種薯.	農及園 29(10): 1273-1275.
余吾卓也	1957	愛媛県準高冷地に於ける一作産馬鈴薯の種薯利用.	農及園 32(10): 1474-1476.
余吾卓也・秋川久樹・篠原 潔	1962	秋馬鈴薯の種いも植え付け時の腐敗防止に関する研究.	園学中四国支部要旨 1: 6.
横堀 潤・丹羽勝久・清野伸孝・野口 伸	2005	ヘリコプタースリモートセンシングを利用した馬鈴薯生育のばらつきの解析と対策.	農業情報研究 14(1): 1-10.
横山偉和夫	1945	馬鈴薯跡地に於ける秋播小麦の簡耕省力栽培.	北農 12(6).

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
由田宏一	1971	ばれいしょにおける ¹⁴ C-同化産物の分布.	育種・作物学会北海道談話会報 11: 35.(講要)
吉田邦彦・梶山 努	2016	バレイショ早期培土栽培における栽植指標の現地実証.	北海道立農試集報 100: 82-87.
吉田 稔	1970	ばれいしょの生理生態学的研究 第5報 茎部組織内に見出されるでんぷん粒について.	北大農邦文紀要 7(2): 209-216.
吉田 稔	1970	ばれいしょの生理生態学的研究 第6報 花房分化について.	北大農邦文紀要 7(4): 529-538.
吉田 稔・中世古公男	1971	ばれいしょの生理生態学的研究 第7報 塊茎数, 塊茎重および塊茎比重の推移について.	北大農邦文紀要 8(1): 49-58.
吉田 稔	1972	ばれいしょの生理生態学的研究 第8報 塊茎内のでんぷんの分布について.	北大農場報告 18: 7-20.
吉田 稔	1972	ばれいしょの株当莖数と塊茎重量分布について.	育種・作物学会北海道談話会報 12: 35.(講要)
吉田 稔	1972	ばれいしょにおける地上部の段階的生長量について.	育種・作物学会北海道談話会報 12: 36.(講要)
吉田 稔	1974	ばれいしょの生理生態学的研究 第10報 株当莖数と塊茎重量分布について.	北大農場報告 19: 16-22.
吉田 稔	1974	ばれいしょの生理生態学的研究 第11報 茎葉部の次位別成長について.	北大農場報告 19: 23-40.
吉田 稔	1977	バレイショの生理生態学的研究 第12報 植附の深さと塊茎着生分布.	北大農場研報 20: 32-41.
吉田 稔・渡辺春雄・白井和栄	1979	ばれいしょの生理生態学的研究 第13報 莖数調整した群落の生産力について.	北大農場研報 21: 18-28.
吉田 稔	1979	ばれいしょの生理生態学的研究 第14報 小全粒種いもの生産力について.	北大農邦文紀要 11(3): 309-322.
吉田 稔	1983	ばれいしょの生理生態学的研究 第15報 不規則な株間が生育収量に及ぼす影響.	北大農場研報 23: 29-39.
吉田 稔	1984	耕地雑草としてのバレイショ種子. (外国文献抄録)	農及園 59(11): 1364.
吉田 稔	1985	バレイショの生理生態学的研究 第19報 株別比重別収量分布.	育種・作物学会北海道談話会報 25: 39.(講要)
吉田 稔	1985	“第Ⅲ章 いもの品質と規格”, “第Ⅳ章 種いも半作論”, “第Ⅴ章 ほ場の準備土”, 「北海道のジャガイモの栽培技術－食用・加工食品用編－」(砂田喜代志 編・監修).	農業技術普及協会, 江別市, pp.49-98.
吉田 稔	1985	“第Ⅶ章 植付け”, “第Ⅷ章 施肥”, “第Ⅸ章 生育診断法”, “第Ⅹ章 中耕・除草・培土”, 「北海道のジャガイモの栽培技術－食用・加工食品用編－」(砂田喜代志 編・監修).	農業技術普及協会, 江別市, pp.114-162.
吉田 稔	1985	“第Ⅻ章 枯凋処理・収穫・貯蔵”, 「北海道のジャガイモの栽培技術－食用・加工食品用編－」(砂田喜代志 編・監修).	農業技術普及協会, 江別市, pp.215-224.
吉田 稔	1985	21世紀に向けてのいも作り(前編).	いも類振興情報 5: 2-7.
吉田 稔	1986	21世紀に向けてのいも作り(その2).	いも類振興情報 6: 2-6.
吉田 稔	1986	21世紀に向けてのいも作り(その3).	いも類振興情報 7: 2-7.
吉田 稔	1986	21世紀に向けてのいも作り(最終回).	いも類振興情報 8: 6-10.
吉田 稔	1987	ポテト談義 Q&Aより.	いも類振興情報 12: 8-11.
吉田 稔	1987	ポテト談義 Q&Aより(その2).	いも類振興情報 13: 13-18.
吉田 稔	1987	バレイショの生理生態学的研究 第20報 無肥料栽培の生育と収量.	育種・作物学会北海道談話会報 27: 6.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
吉田 稔	1987	バレイショの生理生態学的研究 第19報 株別比重別いも重分布.	北大農場研報 25: 1-12.
吉田 稔	1988	生育診断が技術を高める(Ⅰ).	いも類振興情報 17: 6-10.
吉田 稔	1989	生育診断が技術を高める(Ⅱ).	いも類振興情報 18: 6-10.
吉田 稔	1989	生育診断が技術を高める(Ⅲ).	いも類振興情報 19: 6-10.
吉田 稔	1989	生育診断が技術を高める(Ⅳ-完).	いも類振興情報 20: 2-6.
吉田 稔	1989	バレイショの生理生態学的研究 第21報 規格別計画生産法.	北大農場研報 26: 1-15.
吉田 稔	1990	バレイショの品質評価法(その1).	いも類振興情報 25: 8-15.
吉田 稔	1991	バレイショの品質評価法(その2).	いも類振興情報 26: 6-10.
吉田 稔	1992	牛歩のいも作り技術.	いも類振興情報 30: 12-17.
吉田 稔	1992	生食用バレイショの品質評価歴.	いも類振興情報 33: 2-8.
吉田 稔	1993	今なぜ前進栽培か(1).	いも類振興情報 37: 1-5.
吉田 稔	1994	今なぜ前進栽培か(2).	いも類振興情報 38: 1-5.
吉田 稔	1996	でん原用から加工・生食用への転換問題 (その1).	いも類振興情報 47: 1-7.
吉田 稔	1996	でん原用から加工・生食用への転換問題 (その2).	いも類振興情報 48: 1-8.
吉田 稔	1997	『21世紀』のその後(1).	いも類振興情報 52: 1-6.
吉田 稔	1997	『21世紀』のその後(2).	いも類振興情報 53: 1-5.
吉田 稔	1998	『21世紀』のその後(3).	いも類振興情報 54: 1-5.
吉田 稔	1999	馬鈴薯の「発育段階説」(1).	いも類振興情報 58: 1-7.
吉田 稔	1999	馬鈴薯の「発育段階説」(2).	いも類振興情報 59: 1-4.
吉田 稔	2000	2S種芋の効用とその生産技術.	いも類振興情報 63: 1-7.
吉田 稔	2000	〈提言〉北海道産馬鈴しょへの期待と課題 (1) 良品多収技術確立に向けて.	農家の友 52(7): 48-50.
吉田 稔	2000	〈提言〉北海道産馬鈴しょへの期待と課題 (2) 低でん粉価で特産地が泣いている.	農家の友 52(8): 41-43.
吉田 稔	2001	ジャガイモ美味多収への道(1) とれるジャ ガイモ, とれないジャガイモの姿とは?	現代農業 80(10): 214-217.
吉田 稔	2001	ジャガイモ美味多収への道(2) うまさの秘 けつ, デンプン価を上げるには?	現代農業 80(12): 220-223.
吉田 稔	2002	ジャガイモ美味多収への道(4) イモ数を2 倍にする方法.	現代農業 81(1): 174-177.
吉原照彦・村井信二	2008	セオブロキッドによるバレイショ増収に関 する研究.	旭川大女子短大紀要 38: 63- 69.
吉原照彦・安村希文・ 川島靖宏	2009	セオブロキッドによるバレイショ増収に関 する研究(第2報) バレイショ品種北海50 号への増収効果.	旭川大女子短大紀要 39: 33- 35.
吉原照彦・安村希文・ 川島靖宏	2009	セオブロキッドによるバレイショ増収に関 する研究(第3報) 経時的効果.	旭川大女子短大紀要 39: 37- 40.
吉岡真一	1977	“施肥”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.397-411.
吉崎徹磨・原田哲夫	1952	馬鈴薯の土寄について.	中国四国農業研究 2: 30-31.
吉崎徹磨・岡田正行・ 相沢 博・山田 亀・中川 一幸	1964	暖地馬鈴薯の肥培に関する研究 -瀬戸 内海花崗岩畑地帯における秋馬鈴薯の 施肥について.	広島農試報告 17: 1-43.
吉崎徹磨・他	1966	暖地馬鈴薯の種いもに関する研究 -1・2-	広島農試報告 23: 1-37.
—	1880	馬鈴薯を秋植に麥の利益.	農業雑誌 97: 13-15.
—	1891	馬鈴薯を健全に作る法.	農業雑誌 16(14)(409): 223- 224.
—	1908	馬鈴薯の増収.	日本農業雑誌 1908-10: 179- 182.
—	1940	馬鈴薯の生産量其の他に及ぼす加里の 影響.	教育農藝 9(2): 88-
—	1951	馬鈴薯の二化性栽培.	農業世界 46(11): 80-